

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安永 宣雅
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
身だしなみや挨拶の大切さを理解しホスピタリティ業界で活躍できる立ち居振る舞いができるようになる 神社や寺院などの見学や歴史を知ることによって日本の文化を学び接客に活かせる知識を身に付ける。 ※実務経験 当校キャリアセンターとして就職指導の実績を持つ。前職はホテルマンとしてマネジメント業務を行なう。							
【到達目標】 身だしなみや挨拶など社会人としてのマナーを身に付けることができる。 福岡の歴史ある神社や寺院などの知識を身につけることができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	挨拶の大切さを学ぶ
第3回	第一印象の大切さや身だしなみ（スーツの着こなしや清潔感ある人になる）
第4回	立ち方や座り方、歩き方を学ぶ
第5回	報告・連絡・相談の大切さを学ぶ
第6回	時間のマナーの大切さを学ぶ
第7回	前半のまとめ
第8回	櫛田神社の歴史など学ぶ
第9回	櫛田神社見学
第10回	承天寺の歴史を学ぶ
第11回	承天寺見学
第12回	博多祇園山笠について学ぶ
第13回	東長寺の歴史を学ぶ
第14回	東長寺見学
第15回	授業のレポート(まとめ)
準備学習 時間外学習	スーツ着用
評価方法	レポート提出60点、出席率40点で評価
受講生へのメッセージ	誰からも好印象を持てる人になるように頑張りました。 福岡にある歴史など楽しく学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
パソコン	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。 ※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。							
【到達目標】 ・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。 ・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション(学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など)
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life(日常生活編)、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life(日常生活編)、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life(日常生活編)、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life(学校生活編)
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life(学校生活編)
第7回	マナー教育
第8回	学園祭について(次年度自分たちが行う立場を意識して)
第9回	学園祭振り返り(個人ワーク・グループワーク)
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション(夏季休暇の過ごし方・課題・補講など)
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて(補講・特別講義など)
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出 100%
受講生へのメッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができよう本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布 Hand-Book of Life	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に付けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。 ※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。							
【到達目標】 ・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。 ・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。 ・自分が目指す業界について基礎知識を身に付けることができる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション(後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など)
第2回	Hand-Book of Life(社会生活編)、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life(日常生活編)、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第9回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第10回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション(冬季休暇の過ごし方・課題・補講など)
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出 100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができるよう本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布 Hand-Book of Life	

科目名 (英)	コミュニケーション Communication	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人として必要なコミュニケーション力を身に着け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。 またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。							
※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。							
【到達目標】 ・コミュニケーションスキルを身に着け、実践できるようになる。 ・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション(自己紹介)
第2回	第1章 コミュニケーションとは(コミュニケーションの定義、3領域、種類)
第3回	第2章 基本的対話スキル(話す)
第4回	第2章 基本的対話スキル(聴く)
第5回	第2章 基本的対話スキル(グループでの会話)
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章 自己表現スキル(挨拶、自己紹介)
第8回	第3章 自己表現スキル(言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張)
第9回	第3章 自己表現スキル(報連相、会議、ミーティング)
第10回	第3章 自己表現スキル(アンガーマネジメント)
第11回	第4章 社会的スキル(基本的な社会スキル)
第12回	第4章 社会的スキル(対人行動、文書作成)
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定 実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験 100%
受講生への メッセージ	コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。
【使用教科書・教材・参考書】	
コミュニケーションスキルアップ検定テキスト(JESC)	

科目名 (英)	ベーシックスタイリング	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈
	Basic Styling	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	月曜日2時限
【授業内容】 ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。 ※実務経験 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【到達目標】 自分自身の体型の特徴を理解することができる。 歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック: 骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	事例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。(普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ)
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。正しい姿勢の状態で歩くことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に着けることができるようになる。 ※汗をかいても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト:筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える:個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践:正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト:筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生へのメッセージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づけるよう講義を行ってまいります。
【使用教科書・教材・参考書】 授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。	

科目名 (英)	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Asspciate Hospitality Coordinator	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。							
実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。							
※※実務経験：藤田観光株式会社小倉ウシントンホテルにて4年半フロント課勤務。ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章 日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章 ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章 サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章 ホスピタリティの定義
第6回	第5章 ホスピタリティの5領域
第7回	第6章 組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章 組織と社員(従業員)のホスピタリティ
第9回	第8章 ホスピタリティの実践
第10回	第9章 各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	課題提出について
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生へのメッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会 その他内容に応じてプリント等配布。	

科目名 (英)	セルフスタイリング Self styling	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
メイクの必要性を理解し、技術者としての心構えを持てるようになる。モデルに似合ったフルメイクを施せるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	メイクの必要性、道具の使い方を理解し、技術者の心構えを持てるようになる。
第2回	自分の顔(顔型・パーツバランス・プロポーションなど)を分析できるようになる。
第3回	自分の顔(カラーバランスなど)を分析できるようになる。
第4回	基本的なベースメイクの作り方を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第5回	基本的なアイブロウの描き方を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第6回	基本的なアイメイクの方法を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第7回	基本的なリップ、チーク、ハイライト、ローライトの入れ方を知り、実践できるようになる(セルフメイク)
第8回	中間テスト 自分に似合うフルメイクを完成できるようになる。
第9回	相モデルでキュートなイメージでメイクを仕上げることができるようになる。
第10回	相モデルでクールなイメージでメイクを仕上げることができるようになる。
第11回	相モデルでエレガントなイメージでメイクを仕上げることができるようになる。
第12回	相モデルでTPOに合わせたメイクを仕上げることができるようになる。
第13回	モデルに似合うイメージを考え、メイクを仕上げることができるようになる。
第14回	定期テスト モデルに似合うメイクを施す
第15回	苦手部分の克服 克服できるようになる。
準備学習 時間外学習	興味を持って、想像しながら、楽しんで臨むこと。
評価方法	中間テスト、定期テスト 総合的に評価します。 基本的なテクニックや、分析力、似合わせのテクニックなどを審査します。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。人の顔は一人一人違います。まずは、顔をよく分析してみましょう。気づきや発見があると、大きな知識となって吸収されると思いますので、興味を持って、楽しんで参加してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
メイク道具一式、筆記用具、消耗品など	

科目名 (英)	コンピューター演習 Computer exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	宗田 浩輔
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。 経営に係る業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。 講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。							
【到達目標】							
Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション:学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎 起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎 用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎 図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎 実践:送り状作成
第7回	Word基礎 レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎 起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎 文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎 セルの分割・結合
第11回	Excel基礎 代表的な関数の実践
第12回	Excel基礎 実践:関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り + テスト対策
第14回	評価週 筆記試験 + Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試験 問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 + Wordを使用したレポートの提出
受講生へのメッセージ	入学おめでとうございます。 パソコンを始めとするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう(人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です！)
【使用教科書・教材・参考書】	
PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。	

科目名 (英)	コンピューター演習 Computer exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人として必要なパソコンスキルを身に着けて、実践ができるように解説していきます。 ※実務経験: ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録スタジオを経営。 経営に関わる業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。							
【到達目標】 ・業界に必要なスキルを理解することができる。 ・各ソフト、ショートカットを使いこなして、文書や資料を作成することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業の流れについて
第2回	Wordについて①
第3回	Wordについて②
第4回	Wordについて③
第5回	Wordについて④
第6回	PowerPointについて①
第7回	PowerPointについて②
第8回	PowerPointについて③
第9回	PowerPointについて④
第10回	Excelについて①
第11回	Excelについて②
第12回	Excelについて③
第13回	Excelについて④
第14回	評価試験
第15回	試験振り返り
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を活かして本講義以外の場面でも実践する。
評価方法	課題及び試験 100%
受講生への メッセージ	パソコンスキルは社会人として求められる力の一つで、その力は変わりゆく社会に応じて常に変化するものです。 パソコンスキルは人それぞれ違いますが、助け合いながら頑張っていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
PDFの資料配布予定、ネットワーク共有フォルダを使用する。	

科目名 (英)	英会話	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	English conversation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日3時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 英語でのコミュニケーションを重視した指導を通じて生きた英語に触れ、基礎英会話力を向上させることを目的とする。 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、スピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							

授業計画・内容		
第1回	オリエンテーション、講義説明など	
第2回	1 How are you? Introductions	Can ask about and describe sequences 出来事の起こった順に説明ができるようになる。
第3回	L 2, 3 Nice to meet you	Can talk and ask about past events. 週末や休暇の過ごし方について話せるようになる
第4回	L 4 Nice weather, isn't it?	Can ask about and describe locations. Can give directions and ask for clarification. 道順や行き方について尋ねられるようになる。
第5回	L 5, Music & L6 Movies	Can express likes and dislikes 好き・嫌い等の好みについての会話ができる。
第6回	L 8 Adventure sports	Can describe features & appearance of objects. アイテムの特徴を述べる、また感想を伝えられるようになる
第7回	L 1-6, 8 Review	Can ask and talk about quantities of food. 量について尋ねたり、述べたりできるようになる
第8回	L 9 Family	Can ask about and describe needs. 自分がしたいこと、必要なこと(もの)を相手に伝えられるようになる
第9回	L 10 Personalities	Can describe and talk about eating habits. 食生活について、コミュニケーションを取れるようになる
第10回	L 11, 12 Clothes	Can ask about a describe food. 食べ物の味を表現できるようになる
第11回	L 13, 7 Daily schedules	Can ask and talk about past events, part 2. 過去のできごとについて述べるができるようになる
第12回	L 14 Extend conversation	Can react to news. 自分の意見を伝える、また相手の意見にリアクションできるようになる
第13回	L 15 Sequences	Can ask about and describe future plans. 旅行や夢など、未来のことについて述べられるようになる
第14回	test	Semester test 本試験
第15回	Recap	Review of the semester test 試験解説
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。	
評価方法	試験 100%	
受講生へのメッ セージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
Speak Now 1		

科目名 (英)	英会話	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	English conversation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
英語でのコミュニケーションを重視した指導を通じて生きた英語に触れ、基礎英会話力を向上させることを目的とする。 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、スピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。							
【到達目標】 様々な場面に出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							

授業計画・内容		
第1回	L. 15 Sequences	Can ask about and describe sequences 出来事の起こった順に説明ができるようになる。
第2回	L. 29 stories	Can talk and ask about past events. 週末や休暇の過ごし方について話せるようになる
第3回	L. 19 & 20, directions	Can ask about and describe locations. Can give directions and ask for clarification. 道順や行き方について尋ねられるようになる。
第4回	L. 21, prices	Can ask about and give prices. 料金について尋ね、説明できるようになる。代金の交渉ができるようになる。
第5回	L. 23, habits	Can ask about and describe frequency. 会話の中で、質問をし、答えられるようになる
第6回	L. 24, adjectives	Can describe features & appearance of objects. アイテムの特徴を述べる、また感想を伝えられるようになる
第7回	L. 25, kinds of foods	Can ask and talk about quantities of food. 量について尋ねたり、述べたりできるようになる
第8回	L. 26, grocery shopping	Can ask about and describe needs. 自分がしたいこと、必要なこと(もの)を相手に伝えられるようになる
第9回	L. 27, healthy lifestyles	Can describe and talk about eating habits. 食生活について、コミュニケーションを取れるようになる
第10回	L. 28, dishes & menus	Can ask about a describe food. 食べ物の味を表現できるようになる
第11回	L. 30 stories	Can ask and talk about past events, part 2 過去のできごとについて述べることができるようになる
第12回	L.31, news	Can react to news. 自分の意見を伝える、また相手の意見にリアクションできるようになる
第13回	L. 32, the future	Can ask about and describe future plans. 旅行や夢など、未来のことについて述べられるようになる
第14回	Test	Semester test 本試験
第15回	Review	Review of the semester test 試験解説
準備学習 時間 外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。	
評価方法	試験 100%	
受講生へのメッ セージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
Speak Now 1		

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅰ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
	Basic Bridal StudiesⅠ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	水曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界での基礎知識を学び、ブライダルビジネスにおいて総合エキスパートを目指す授業を行います。 ※実務経験: ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】							
基本をしっかり身に付けてブライダル業界に興味を持ち、必要な知識・能力を高め将来の自己に役立ててほしいです。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業内容の説明、評価方法の説明(自己紹介)
第2回	ブライダルDVDでの感想(ホテル・レストラン)の相違を理解し説明できるようにする
第3回	ブライダルマナー(招待状の返信、参列者ファッション、のし袋の書き方等)を身に付けることができる
第4回	ブライダル概論(Ⅰ)ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割を学び身に付けることができる
第5回	ブライダル概論(Ⅱ)ブライダル用語Aを学び身に付けることができる
第6回	ブライダル概論(Ⅲ)ブライダル用語Aを引き続き学び身に付けることができる
第7回	中間テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる (A)
第8回	中間テスト解答と解説を学び身に付けることができる
第9回	ブライダル基礎(Ⅰ)披露宴の当日までのスケジュールを理解し説明できるようになる
第10回	ブライダル基礎(Ⅱ)今どきの演出&定番演出を理解し説明できるようになる
第11回	ブライダル基礎(Ⅲ)披露宴の基礎プログラムを理解し説明できるようになる
第12回	ブライダル基礎(Ⅳ)披露宴の進行表を理解し説明できるようになる
第13回	期末テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる (B)
第14回	期末テスト解答と解説を学び身につけることができる
第15回	前期授業の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	学科、中間テスト 50% 学科、期末テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。ブライダル基礎をしっかり学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ゼクシィまたは講師配布	

科目名 (英)	ブライダル基礎II Basic Bridal Studies II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界にてプロデュース業20年以上のキャリアを活かし、社会人としてのブライダル基礎知識を身に付け、後期ではよりリアルウェディングにおいての実践能力を深め、またコミュニケーション力を身に付けるようにします。							
※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ・自らブライダルの進行が出来る。 ・コミュニケーション力を高める。(特にトーク力の強化)							

授業計画・内容	
第1回	披露宴の進行表を作成できる(グループワーク・洋・和)
第2回	和装進行表を作成できる(挙式、神殿)1日のスケジュールを理解する
第3回	和装進行表を作成できる(挙式、チャペル)1日のスケジュールを理解する
第4回	規模や招待客、披露宴の雰囲気イメージし、カウンセリングシートを作成する
第5回	カウンセリングシート完成を目指す(わかりやすく、記入しやすく、要点の重要性を学ぶ)
第6回	カウンセリングシートによる新規接客の基本(挨拶・名刺交換・トーク力・提案力)
第7回	中間評価試験
第8回	ハワイウェディングについて、日本打合せ・海外施行について理解し説明ができる
第9回	引出物、引菓子、縁起物の必要性を理解する / 見積書作成をし、見積書における説明ができる
第10回	①接客シュミレーションの基本(見積書からの提案ができる)
第11回	②接客シュミレーションの基本(進行表からの提案ができる)
第12回	③接客シュミレーションの基本(ペーパーアイテムからの提案ができる)
第13回	①ペーパーアイテム(招待状の基本知識を学ぶ) / ②ペーパーアイテム(席次表、メニュー表の基本知識を学ぶ)
第14回	期末評価試験
第15回	ブライダル基礎総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 中間50% 期末50%
受講生への メッセージ	後期ブライダル基礎を学んでリアルウェディングで自信を持ち、新郎新婦とのコミュニケーション力を発揮できるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	ブライダルプランニング I Bridal planning	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
挙式スタイルの意味を理解し模擬挙式の企画、実行ができる授業を行う ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在には育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】							
基本の挙式を理解し、学生が自ら積極的に模擬挙式に役割を通し取り組み身につける							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業内容、自己紹介、挙式の意味を学び理解することができる
第2回	挙式スタイルを理解することができる(神前式・チャペル式・人前式・仏前式)
第3回	人前式スタイル(模擬人前式)を各チームで企画することができる
第4回	人前式のプログラムを組み役割を決めることができる
第5回	チャペル挙式を見学し、人前式との相違を理解することができる
第6回	模擬人前式の企画プレゼンができる
第7回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第8回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第9回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第10回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第11回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第12回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第13回	模擬人前式のリハーサルが完璧にできている
第14回	模擬人前式実行(評価は先輩に行ってもらう)
第15回	前期の振り返りでのレポート提出(自身の成長評価をする)
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	・キリスト教式見学に於いてのレポート提出 ・模擬人前式でのグループ評価
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。初めての共同作業となる模擬人前式を全員でやり遂げてください
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルプランニングII Bridal planning	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
模擬披露宴を企画・運営するために、披露宴についての理解をより深めていきます。							
※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】							
・披露宴の専門知識を学び、模擬披露宴を行うための知識や現場力を身につけることができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	前期振り返り・ブライダル用語Iを理解し説明することができる
第2回	ブライダル用語I小テスト/ブライダル用語IIを理解し説明することができる
第3回	映像を視聴し、披露宴について理解しディスカッションすることができる
第4回	結婚式の知識やマナーについて理解し説明することができる(招待状の返信ハガキを実際に書く)・披露宴とは何か理解し説明することができる
第5回	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(ドレスコーディネーター・フローリスト・アテンダー・司会)
第6回	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(カメラマン・映像・音響・サービス)
第7回	中間テスト(ブライダル用語編)
第8回	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日までの業務について)
第9回	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日の業務について)
第10回	披露宴の演出について調べ研究し内容を発表することができる
第11回	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて流れを考える)※グループワーク
第12回	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて考えたものをプレゼンテーションする)※アウトプット
第13回	テスト前対策
第14回	期末テスト・テスト返却
第15回	模擬披露宴準備
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%
受講生への メッセージ	模擬披露宴を素晴らしいものにするために様々なことを学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎Ⅰ Dressstyling foundationⅠ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	久保 康代
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ドレススタイリストとしての基本的な知識を身につけ、ウェディングドレスの着付けが出来るようになる							
※実務経験 福岡はブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トウーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネートやファッションコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】							
新郎新婦の衣装、または付随する小物についての基礎知識が身につく、基本的なコーディネートが出来るようになる							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介 ブライダル業界におけるドレススタイリストの役割とは?婚礼衣装業界の仕事内容などについて学ぶ
第2回	ウェディングの種類 現在の挙式スタイルについて学び理解する
第3回	ウェディングの歴史 日本そして世界における婚礼衣裳の歴史を学び、理解する
第4回	新婦の洋装衣装のライン、素材について学び、説明する事が出来る
第5回	コラージュ作り①(自分の好きなテイストのコーディネート)
第6回	ドレスの装飾やパニエの種類を理解し、説明することが出来る
第7回	相モデルにドレスを着せる事ができる①
第8回	相モデルにドレスを着せる事ができる②
第9回	中間試験 相モデルに5分以内にドレスを着せる事が出来る
第10回	ドレスインナーについて理解し、説明する事が出来る
第11回	相モデルに小物をセットする事が出来る
第12回	コラージュ作り②(テーマの沿ったコーディネート)
第13回	期末試験準備
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験(実技) 期末試験(筆記)
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。結婚式において新婦様のお衣装選びはとても重要な要素の一つです。お客様に運命の1着が見つかるお手伝いをするのがドレススタイリストの仕事です。本授業でスタイリストの業務内容の基本を楽しみながら学んでいきましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。	

科目名 (英)	ヘアメイク基礎 Hair make basics	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 技術者としての心構え、接遇を理解し、モデルの個性を見極め、似合うメイクと簡単なヘアアレンジができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	技術者としての接遇を知り、必要な道具の使い方を理解できるようになる。
第2回	いろいろなピンの使い方、ゴムの使い方を知り、実践できるようになる。
第3回	三つ編み、ローブ編み、編み込みなどのテクニックを実践できるようになる。
第4回	いろいろなシニヨンの作り方を実践できるようになる。
第5回	アイロンの使い方を習得し、実践できるようになる。
第6回	簡単なヘアアレンジを作ることができるようになる。
第7回	簡単なヘアアレンジを作ることができるようになる。
第8回	中間テスト 簡単なヘアアレンジを作ることができるようになる。
第9回	キュートなイメージでヘアアレンジを考え、仕上げることができるようになる。
第10回	クールなイメージでヘアアレンジを考え、仕上げることができるようになる。
第11回	エレガントなイメージでヘアアレンジを考え、仕上げることができるようになる。
第12回	TPOに合わせたヘアアレンジを考え、仕上げることができるようになる。
第13回	モデルのメイクに合わせて、ヘアアレンジを考え、仕上げることができるようになる。
第14回	定期テスト メイクに合わせたヘアアレンジを仕上げる。
第15回	苦手部分の克服 克服できるようになる。
準備学習 時間外学習	日頃から、雑誌やSNSなどで、アンテナを張っておくこと。どうやって作れば形になるか、考えながら臨むこと。
評価方法	中間テスト・定期テスト 総合的に評価します。仕上がりのきれいさ、丁寧などを審査します。
受講生へのメッセージ	かわいいヘアスタイルなどを見かけたら、どうやったら作れるのか、まず考えてみてください。考えることによって、知識もテクニックを向上します。苦手意識を持たずに、楽しんで参加してください。
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ヘアメイク演習 Hair make exercise	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとしてサロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを手掛けながら、様々な専門学校で講義を行っている教員が、現場で必要とされるメイクの基礎知識、基礎技術を習得するための授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
技術者としての心構え、接遇をよく理解し、現場に必要なメイクの基礎知識、基礎技術を習得、実践することができる。自分とモデルに合わせて、似合うようにメイクができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	技術者としての心構えを理解し、道具の使い方、ケア方法を知り、実践できる。
第2回	フルメイクの流れを覚え、基本的なベースメイクの作り方を知り、理解できる。
第3回	基本的なベースメイクの作り方を復習し、実践できる(セルフメイク)
第4回	基本的なアイブロウの描き方、アイメイクの方法を知り、実践できる(セルフメイク)
第5回	アイブロウ、アイメイクに加え、基本的なリップ、チークの入れ方を知り、実践できる(セルフメイク)
第6回	ヘアアレンジ 道具の使い方を知り、実践できる。
第7回	ヘアアレンジ 簡単なアレンジが作れるようになる。
第8回	ヘアアレンジ 簡単なアレンジが作れるようになる。
第9回	相モデルの接遇を知り、実践できる。
第10回	基本的なベースメイクが施術できるようになる(相モデル)
第11回	基本的なアイブロウ、アイメイクが施術できるようになる(相モデル)
第12回	アイブロウ、アイメイクに加え、基本的なリップ、チークが施術できるようになる(相モデル)
第13回	モデルに合わせてメイクができるようになる。
第14回	定期テスト モデルに合わせたポイントメイク
第15回	苦手部分を克服できるようになる。
準備学習 時間外学習	日頃から、メイクに興味を持ってみましょう。
評価方法	定期テストは、相モデルでメイクを40分以内で行います。モデルに似合っているか、美しく仕上がっているか、技術者としての心構えなどを評価します。
受講生への メッセージ	限られた時間でのヘアメイクの練習になりますが、楽しんで頑張りましょう。想像力を豊かに、思い切って表現してみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercise	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 衣服は「身を守るもの」「属性を示すもの」「立場を象徴するもの」「自己を表現するもの」「礼儀・マナー」として毎日欠かさず着用される。服飾史を学ぶことにより、その進化を理解する。また、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることにより基礎力を高め、創造力を養う。 ※実務経験：(株)ユミカツラインターナショナルレンタルドレスサロンにてサブチーフアドバイザーとして9年勤務。同じくプレタクチュールサロンにてチーフアドバイザーとして5年勤務。(一社)全日本ブライダル協会にて16年勤務。現在、全日本ブライダル協会認定講師、日本フォーマル協会認定ブライダル講師							
【到達目標】 基本的な服飾専門用語を理解できるようになる。 服飾の歴史を理解できるようになる。 歴史を学ぶことにより基礎力を高め、創造力を養う。							

授業計画・内容	
第1回	導入、「衣服とは何か？」を考えることにより服装に対する意識を高める。
第2回	古代Ⅰ メソポタミア・エジプトの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
第3回	古代Ⅱ ギリシャ・ローマの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
第4回	中世Ⅰ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(キリスト教の影響)
第5回	中世Ⅱ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ルネッサンスによる文化革命)
第6回	近世Ⅰ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(宗教改革の影響)
第7回	近世Ⅱ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(最盛期を迎えた貴族社会)
第8回	中間テスト
第9回	近代Ⅰ イギリス ヴィクトリア女王の結婚式から歴史を学ぶ(ウェディングドレスは何故白いのか?)
第10回	近代Ⅱ 近代ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(勤労を示す黒と貞淑を示す白)
第11回	近現代Ⅰ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する(20世紀初頭～第二次世界大戦)
第12回	近現代Ⅱ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する(第二次世界大戦～現在)
第13回	試験対策を兼ねた復習
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50点、期末テスト50点 の合計点数で評価 中間試験:筆記試験 虫食い問題など50点 期末試験:筆記試験 虫食い問題など50点
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。服飾の歴史を学ぶことにより、衣服はどのような目的で着用されて来たのか理解できます。単に歴史を学ぶだけではなく、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることを楽しんでください。それが基礎力を高め、創造力となり、唯一無二の自分の未来を作る力になると思います。
【使用教科書・教材・参考書】	
「世界の服飾史のすべてがわかる本」「ドレス服飾史」	

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercise	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
前期で学んだ衣装に関する基礎知識をもう一度しっかり復習し、自分の知識として定着させる。 基礎を踏まえた上で、衣装に関する実践的な知識を学ぶ。							
※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダースタylistと東京のオーダードレスショップ「チューレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】							
衣装に関する基礎をしっかりと定着させ、2年生での応用に対応出来るようになる。							

授業計画・内容	
第1回	ディスプレイについて学ぶ(ハロウィン編)①企画
第2回	// ②ディスプレイ
第3回	ドレスライン、素材、ブーケ等の復習
第4回	実習室内の新作ドレス、タキシードカトルテを製作する①
第5回	実習室内の新作ドレス、タキシードカトルテを製作する②
第6回	実習室内の新作ドレス、タキシードカトルテを製作する③
第7回	新婦に必要なウオーキング&美姿勢を学び、新婦へのアドバイスを出来るようになる
第8回	品出し、アイロンやスチームがけについて学ぶ
第9回	ディスプレイについて学ぶ(クリスマス編)①企画
第10回	ディスプレイについて学ぶ(クリスマス編)②ディスプレイ
第11回	シューズなど小物のお手入れについて学ぶ
第12回	NYBFW(ニューヨーク・ブライダル・ファッションウィーク)について学ぶ
第13回	NYBFWについてのレポート作成をする
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験(実技) 期末試験(レポート)
受講生への メッセージ	前期は衣装に関する基本の「き」を学びました。後期はその基礎をしっかりと自分のものにし、スタイリストとして必要な新たなスキルを身につけ、2年生で実地応用できるようステップアップしていきましょう！どうぞよろしくお願いいたします！！
【使用教科書・教材・参考書】	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用いたします。	

科目名 (英)	フォト&ムービー演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Photo & movie exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロとしてのメディア制作や撮影の実務経験ある教員が、写真の撮影や映像編集、また選定方法についての授業を実施します。 ※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】 撮影技術について理解し、撮影について提案することができる。 撮影された写真・映像を理解し選定することができる。							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介、他己紹介、ブライダル業界における映像、写真の役割を理解し説明することができる
第2回	写真・映像を選定するにあたって、いい写真・映像とは何かを考え、ディスカッションすることができる
第3回	構図と画面比率について理解し、説明することができる
第4回	写真のメタ情報について理解し、説明することができる。ファイル情報共有を行うことができる
第5回	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる
第6回	焦点距離について理解し説明することができる
第7回	絞りとシャッター速度について理解し説明することができる
第8回	露出について理解し説明することができる
第9回	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる
第10回	人物撮影のポイントについて理解し説明することができる
第11回	Rawファイルとレタッチの効果についてについて理解し説明することができる
第12回	照明や三脚などのカメラアクセサリについて学習し、活用方法を理解し説明することができる
第13回	撮影演習 これまでの授業の内容を活かして撮影し、それを説明することができる
第14回	写真選定と撮影技術についてのテスト
第15回	写真撮影と撮影技術についてのテストと振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験 100%
受講生への メッセージ	昔は特別な体験だった写真撮影・映像編集が、今はスマートフォンの普及により一般化しました。それにより現代では、求められる技術も高くなっていますが、授業を通してホスピタリティのプロとしての一歩先の写真の知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	音響・照明演習 Sound and lighting exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	※情報公開分コピー
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。現在取り締まりが厳しくなっているブライダル業界における音楽著作権、違法ダウンロードの説明等。特殊な演出業務。最新鋭の映像演出(プロジェクションマッピング)等をしっかり体感してもらいながら学んでもらいます。 ※実務経験 アルマリアン福岡(2013～)、ホテルマリノアリゾート福岡(2020～)、博多百年蔵(2019～)、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート(2013～)、ホテルモントレスール福岡(2011～)、ララシヤンス伊万里迎賓館(2016～) 音響照明セクション現場責任者							
【到達目標】 業界の中身を詳しく説明し、音響・照明・映像・演出業務の基礎の部分を理解出来る。 プランニングする上で、お客様の思いを形にする事が出来るという事をプランナーの立場として理解する事が出来る。 これからのブライダル業界のエンターテインメント性を理解する事が出来る。							

授業計画・内容	
第1回	ブライダル演出業務について * 演出内容が理解できるようになる。
第2回	ブライダルにおける音響操作についてまた基本的に知識 * 簡易的な操作の流れの意味がわかるようになる。
第3回	音楽著作権、および違法ダウンロードについて * 法律による規制が理解出来るようになる。
第4回	BGMコーディネートについて① * お客様として *新郎新婦の気持ちが理解出来るようになる。
第5回	BGMコーディネートについて② * コーディネーターとして *プランナーとしての気持ちが理解出来るようになる。
第6回	機材関係について① 宴会場にスタンバイされている機材関係について *機材の簡易的な操作が理解出来るようになる。
第7回	機材関係について② 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
第8回	機材関係について③ 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
第9回	サプライズ演出(フラッシュモブ、メモリーブレイ等について) *サプライズ演出が理解出来るようになる。
第10回	プロジェクションマッピング演出について * 大画面映像演出の仕組みが理解出来るようになる。
第11回	スマートフォンでの活用法① 写真加工等 *スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
第12回	スマートフォンでの活用法② 写真加工等 *スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
第13回	スマートフォンでの活用法③ 動画等 *スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。(評価)レポート提出
第14回	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる①
第15回	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポートによる試験を行います。一人一人の考えや意見を尊重していきながら、しっかり思いを記入していただくような内容にしたいと考えております。 また、内容によって実技も入れていこうと考えております。
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中で大変な時期にこの業界のお仕事を志してくれて本当に嬉しく思います。 みなさんの力がこれからのこの業界を必ずもっと上のステージに持ち上げていけると確信しております。しっかり楽しく勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	会場装花・フラワーアレンジメント Flower Exercise	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえつつ、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだブライダル・フラワートrend講義を行う。							
【到達目標】							
トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション・自己紹介／授業内容について
第2回	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
第3回	シーズナルイベント装花／マザーズデーアレンジメント制作ができるようになる。
第4回	ブライダルドレストrendを学び説明できるようになる。
第5回	年間のフラワートrendについて理解することができる。
第6回	ブライダルブーケ制作／クラッチスタイルについて理解することができる。
第7回	中間試験
第8回	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
第9回	これまでの講義をふまえ、ブライダルtrendプレゼン資料を製作する。
第10回	ブライダルtrendについて理解しプレゼンテーションすることができる。
第11回	フラワーブーケ制作／サマーグリーンブーケの制作ができるようになる。
第12回	期末試験
第13回	まとめ・解答、授業を振り返りブライダルフラワーの一連の流れを説明できる。
第14回	イベントを企画、運営し実践できる。
第15回	イベントを企画、運営し実践できる。
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験30％／期末試験70％
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。	

科目名 (英)	パーソナルカラー検定3級 Personal colorist grade 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
パーソナルカラー検定3級合格に必要な知識、技術を習得できる。基本的な色彩知識を習得し、ブライダル分野でどう生かせるか考え、実践できるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	パーソナルカラーとは何かを知り、理解できる。 第1章 日本の色の歴史
第2回	第1章 日本の色の歴史 まとめ、ポイントを理解できる。
第3回	第1章 色の種類 まとめ、ポイントを理解できる。
第4回	第2章 色のしくみ CUS表色系 ポイントを理解できる。
第5回	第2章 CUS表色系 まとめ、ポイントを理解できる。
第6回	第2章 三属性 対比、感情効果 まとめ、ポイントを理解できる。
第7回	第2章 CUS配色効果 まとめ、ポイントを理解できる。
第8回	中間テスト 第1章・第2章より出題 第3章 ファッション概論 ポイントを理解できる。
第9回	第3章 ファッション概論 まとめ、ポイントを理解できる。
第10回	第4章 パーソナルカラー① ポイントを理解できる。
第11回	第4章 パーソナルカラー② ポイントを理解できる。
第12回	第4章 パーソナルカラー③ ポイントを理解できる。
第13回	定期テスト対策 過去問を解いて、理解を深める。
第14回	定期テスト 全章より出題
第15回	まとめ、振り返り、解説 苦手部分を克服する。
準備学習 時間外学習	必ず復習をして次回授業に臨むこと。難しい単元もありますが、事前に教科書に目を通してくと理解力が増します。
評価方法	中間テスト＋定期テスト 合計100点満点にて成績評価します。
受講生へのメッセージ	色彩についての勉強です。身近にある【色】についてじっくり考えてみましょう。ややこしい単元もありますが、勉強すれば必ず理解でき、検定合格もできます。将来、ブライダル各分野だけでなく、日常生活でも生かせる知識となります。まずは、色に興味を持って取り組んでみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード	

科目名 (英)	ドレスデッサン	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Dress dessin	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ドレスをはじめ、ドレスに付随する小物などを描写し、美的感覚を養い、色彩感覚を身につけることができる。 色の使い方の基本を理解し、実践できるようになる。 ※実務経験 デザインや絵の仕事をフリーで行う。講師としては、高等専修学校や専門学校にて、レッスンを行う。5年目。							
【到達目標】 考えついたデザインを思うように描けることで、現場での接客力/提案力を身に付ける 絵を上手になるより、色彩感覚を身に付けることができる							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介、ドレスデザインとは、作品例を見ながら道具説明の役割を知ることができる
第2回	ドレスデザインの基本練習、鉛筆で下書き、バランスの良い構図の書き方を習得する。(鉛筆の硬さの使い分けができる)
第3回	写真と手描きデザイン図の違い、ドレスデザインをするとき人体比率(基本10頭身長以上)、見本を見ながらモノクロのライオンでスタイル良く描くことができる。(鉛筆)
第4回	体のパーツを描く練習、(手、脚、髪方、顔)骨と筋肉の形を知り、動きやポーズに合わせてよりドレスを美しく見せる描き方を理解する。(鉛筆)
第5回	モデルポーズの描き方、重心をブレずに、美しくバランスの良い構図をし、3ポーズ以上を描くことができる。
第6回	着色、(肌色)モデルになる人体の着色。色の使い分けや筆技で人種や年齢を表現することができる。
第7回	ドレスデザインは想像力が欠かせない、布生地質感重さ、アクセサリ装飾品まで仮想し、センス良くデザイン図を描くことができる。
第8回	課題練習1、テーマを決めて、ドレスデザインを描く練習する。
第9回	課題練習2、季節感のあるモチーフを探り入れてテーマを決めてドレスデザインを描く。
第10回	課題練習3、場面をセッティングし、ヘアスタイルから布生地の素材、アクセサリまでデザインを描く。
第11回	課題練習4、テーマ、季節、ドレスになる布生地の素材までセッティングしドレスデザインを描く。
第12回	課題練習5、生徒同士テーマを出し、短時間でヘアスタイルから装飾品やアクセサリ、ドレスの質感までデザイン図を描く。
第13回	期末試験準備
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト結果70%、出席率20%、授業態度10%
受講生への メッセージ	自分の可能性を引き出す機会を作る。新たな才能を発見出来るかもしれないです！
【使用教科書・教材・参考書】	
WEB & ファッション誌、オリジナル資料	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日4時限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在には育成に携わっています。							
【到達目標】 2025年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる （2025年1月第4水曜日予定）							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明、評価方法の説明、教本の説明が理解できる
第2回	ブライダルコーディネイトとは 第1章 結婚の定義が理解できる(P1～P11)
第3回	第2章 日本の結婚式と歴史と文化の定義が理解できる(P12～P17)
第4回	結婚に関する風習・いわれ 第3章 欧米の結婚式、歴史と文化(P17～P26)
第5回	3.欧米の結婚式 ①イギリス②フランス③イタリア④アメリカ の理解ができる(P26～P32)
第6回	第1章 ブライダルビジネス 第2章 ブライダル市場 第3章 ブライダル業種が理解できる(P34～P39)
第7回	第4章 ブライダル関連業種 中間テスト告知が理解できる(P40～P44)
第8回	中間テスト実施、解答が理解することができる
第9回	第5章 ブライダルのエリア特性 第6章ブライダル業界の1年と集客システム 第1章 見合いと婚約(P45～P57)
第10回	第2章 結納、婚約式が理解できる(P58～P68)
第11回	前週の小テスト、結納品の理解ができる 第3章 ブライダル準備 第4章 キリスト教式(P69～P75)
第12回	第5章 神前式 第6章 仏前式 第7章 人前式の理解ができる(P76～P83)
第13回	神前式・仏前式・人前式・キリスト教式のテスト、その後の解説を学び身に付けることができる
第14回	期末テスト(コーディネイト検定の告知)
第15回	期末テスト、解答と前期の振り返り
準備学習 時間外学習	6/20は結納品の授業で2教室使用したいので空き教室があればお知らせください
評価方法	中間テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。これからの2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結びつけてください
【使用教科書・教材・参考書】 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネート検定3級	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Bridal coordination examination level 3	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。							
※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在、育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】 2025年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる (2025年1月第4水曜日予定)							

授業計画・内容	
第1回	第4章 ブライダル関連業種、第5章ブライダルのエリア特性(P40～P47)を理解し説明できる
第2回	第6章 ブライダル業界の1年と集客システム(P48.P49)を理解し説明できる
第3回	Lesson3 ブライダルの基礎、第1章 見合いと婚約(P52～P57)を理解し説明できる
第4回	第2章 結納・婚約式(P58～P68)を理解し説明できる
第5回	小テスト(前週の復習)、第3章ブライダル準備(P69.P70)を理解し説明できる
第6回	第4章 キリスト教式(P71～P75)を理解し説明できる
第7回	第5章 神前式、第6章 仏前式、第7章 人前式(P76～P83)を理解し説明できる
第8回	第8章 シビルマリッジ、第9章 披露宴、第10章 海外ウェディング、第11章 二次会(P84～P91)を理解し説明できる
第9回	Lesson4 コーディネーター業務、第1章 コーディネーター業務とは(P94～P100)を理解し説明できる
第10回	第2章 新規業務、第3章 ブライダルセールスの特徴(P101～P108)を理解し説明できる
第11回	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、第6章 プレゼンテーションの手法(P109～P114)を理解し説明できる
第12回	第7章 新規アフターフォロー、第8章 成約業務、第9章 ペーパーワーク(P115～P121)を理解し説明できる
第13回	過去問、模擬試験を実施
第14回	フィードバック、苦手を克服することができる
第15回	テスト解答と総復習
準備学習 時間外学習	個人の理解力を把握するため、小テストを実施
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。これから2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結び付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	JMA検定3級 JMA test grade 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
JMA3級検定に合格できる知識と技術を得得する。 ※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを手掛けながら、専門学校等で講師も務める。また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 技術者として必要とされるマナー、接遇を身に付け、JMA3級検定に合格できる知識と技術を得ることができる。							

授業計画・内容	
第1回	JMAとは何か、道具の使い方、技術者としての心構えを理解することができる。
第2回	セッティング、手指消毒、スキンケア(クレンジングまで)技術を習得し、実践できる。
第3回	セッティング、手指消毒、スキンケア(乳液まで)技術を習得し、実践できる。
第4回	ポイントクレンジング～乳液までをスムーズに行い、基本のベースメイクの作り方を知り、理解できる。
第5回	JMA3級ベースメイクの作り方を理解し、実践できる。
第6回	スキンケア～ベースメイク(フェイスパウダーまで)をスムーズに行うことができる。
第7回	リキッドファンデーションテクニック強化 色、厚み、ムラ等に気を付け、美しく仕上げることができる。
第8回	コンシーラーテクニック強化 色、量、ムラ、使用箇所等に気を付け、美しく仕上げることができる。
第9回	基本的な骨格補正(チーク、ハイライト、ローライト)方法を知り、実践できる。
第10回	骨格補正をモデルに合わせて美しく仕上げることができる。
第11回	JMA3級内容を決められた時間内で美しく仕上げることができる。
第12回	JMA3級内容を30分以内で美しく仕上げることができる。
第13回	JMA3級内容を30分以内でモデルに合わせ、美しく仕上げることができる。
第14回	定期試験 JMA3級内容
第15回	フィードバック、苦手部分の克服ができる。
準備学習 時間外学習	習った点は必ず復習し、翌週に生かせるように練習して臨んでください。
評価方法	定期テスト100% 技術者としてのマナー、手技、手順が正しいか、仕上がりが美しいか等、総合的に評価します。
受講生への メッセージ	手順が細かく決まっており、最初は煩わしいと思うかもしれませんが、努力すれば必ず合格できる検定です。メイクの知識、テクニックの向上も望めますし、履歴書にも記入できる検定です。苦手意識を持たず、意欲的に取り組みましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 JMAテキスト、メイク道具、筆記用具	

科目名 (英)	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フライタル業界経験24年の専任講師が、キャリア教育で必要とされる、自己肯定感を高め、アクティブラーニングができ、1年間の集大成として、チームワークを活かし模擬披露宴を完成させることができる。							
【到達目標】 協調性、チームワークを活かし、1年間の集大成としてチームでひとつの模擬披露宴を完成させる。							

授業計画・内容	
第1回	・授業内容把握、チームで何かを成し遂げるために必要なこと5カ条をグループワーク。
第2回	チーム分け、新郎新婦の設定から、披露宴のテーマをチームで導き出すことができる。
第3回	披露宴に必要な役割を考え、チーム内で役割分担をすることができる。
第4回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第5回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第6回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第7回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第8回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第9回	中間発表
第10回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第11回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第12回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第13回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
第14回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
第15回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト 100%
受講生への メッセージ	進級制作、初めてのことはばりで、きっと緊張もします！その不安はチームワークでいい緊張感に変わっていきます。相手に何かを伝えることは自分自身をしっかりと理解して、あなた自身を受け入れることから始まります。また、相手を受け入れることが課題である、チームワークの鍵となります！ We areでキラキラした瞳と自分の笑顔を想像して、挑んでくださいね！そして、あと少しの努力。を忘れずにやっていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安永 宣雅
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
身だしなみや挨拶の大切さを理解しホスピタリティ業界で活躍している立ち居振る舞いができるようになる。 神社や寺院などの見学や歴史を知ることによって日本の文化を学び接客に活かせる知識を身に付ける。 ※実務経験 当校キャリアセンターとして就職指導の実績を持つ。前職はホテルマンとしてマネジメント業務を行なう。							
【到達目標】 身だしなみや挨拶など社会人としてのマナーを身に付けることができる。 福岡の歴史ある神社や寺院などの知識を身につけることができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、自己紹介
第2回	挨拶の大切さを学ぶ
第3回	第一印象の大切さや身だしなみ(スーツの着こなしや清潔感ある人になる)
第4回	立ち方や座り方、歩き方を学ぶ
第5回	報告・連絡・相談の大切さを学ぶ
第6回	時間のマナーの大切さを学ぶ
第7回	前半のまとめ
第8回	櫛田神社の歴史など学ぶ
第9回	櫛田神社見学
第10回	承天寺の歴史を学ぶ
第11回	承天寺見学
第12回	博多祇園山笠について学ぶ
第13回	東長寺の歴史を学ぶ
第14回	東長寺見学
第15回	授業のレポート(まとめ)
準備学習 時間外学習	スーツ着用
評価方法	レポート提出60点、出席率40点で評価
受講生への メッセージ	誰からも好印象を持てる人になるように頑張りましょう。 福岡にある歴史など楽しく学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
パソコン	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。 ※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。							
【到達目標】 ・学生生活を送るうえで、スケジュールや健康管理を自分自身で行うことができ、気持ちよく学生生活を送ることができる。 ・クラスメイトとともに、業界や問題解決について情報交換をすることでチームワークを育むことができる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション(学校生活について・クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など)
第2回	生活習慣改善教育①、Hand-Book of Life(日常生活編)、学生便覧再確認
第3回	生活習慣改善教育②、Hand-Book of Life(日常生活編)、GW前インフォメーション
第4回	生活習慣改善教育③、Hand-Book of Life(日常生活編)、GWの振り返り
第5回	生活習慣改善教育④、Hand-Book of Life(学校生活編)
第6回	生活習慣改善教育⑤、Hand-Book of Life(学校生活編)
第7回	マネー教育
第8回	学園祭について(次年度自分たちが行う立場を意識して)
第9回	学園祭振り返り(個人ワーク・グループワーク)
第10回	校外学習
第11回	校外学習
第12回	業界学習
第13回	業界学習、夏季休暇前インフォメーション(夏季休暇の過ごし方・課題・補講など)
第14回	夏季休暇振り返り、今後のスケジュールについて(補講・特別講義など)
第15回	前期振り返り
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出 100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができるよう本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 まずは学校内外で円滑にコミュニケーションが取れるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布 Hand-Book of Life	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスメイトと協力をしながらイベントや業界について学び取り組んでいきます。また業界についての知識も身に付けて自分の将来についてよりイメージできるようにします。 ※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。							
【到達目標】 ・体調やスケジュールの自己管理を行い、学校生活を送ることができる。 ・クラス全員が話し合いに参加して、イベントやグループワークで発言をすることができる。 ・自分が目指す業界について基礎知識を身に付けることができる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の説明、インフォメーション(後期のスケジュール、クラスルール再確認・各イベント・手続き方法など)
第2回	Hand-Book of Life(社会生活編)、グループワーク
第3回	Hand-Book of Life(日常生活編)、イベントに向けて
第4回	イベントに向けて
第5回	イベントに向けて
第6回	イベントに向けて
第7回	校外学習
第8回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第9回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第10回	業界学習、Hand-Book of Life(プロの職業人を目指すにあたって)
第11回	業界学習
第12回	冬季休暇前インフォメーション(冬季休暇の過ごし方・課題・補講など)
第13回	冬季休暇振り返り、今後のスケジュールについて
第14回	後期の振り返り、グループワーク
第15回	今年度の振り返り、2年生に向けて
準備学習 時間外学習	・クラスメイトひとり一人を尊重して、発言や行動するように意識しましょう。 ・クラスメイト全員が気持ちのよい学生生活を送ることができるために必要な話し合いやグループワークを取り入れます。全員で話し合いを行いましょう。
評価方法	課題提出 100%
受講生への メッセージ	学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができるよう本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 様々なイベントを通してより楽しい学校生活をともに送りたい。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキスト及びプリント等を適宜配布 Hand-Book of Life	

科目名 (英)	コミュニケーション Communication	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 社会人として必要なコミュニケーション力を身に付け、実際に学生生活、就職活動、社会生活で実践できるようにします。 またコミュニケーションスキルアップ検定全員合格を目指して学んでいきます。 ※実務経験 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。							
【到達目標】 ・コミュニケーションスキルを身に付け、実践できるようになる。 ・コミュニケーションスキルアップ検定に合格することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション(自己紹介)
第2回	第1章 コミュニケーションとは(コミュニケーションの定義、3領域、種類)
第3回	第2章 基本的対話スキル(話す)
第4回	第2章 基本的対話スキル(聴く)
第5回	第2章 基本的対話スキル(グループでの会話)
第6回	第1章・第2章のまとめ、ロールプレイング
第7回	第3章 自己表現スキル(挨拶、自己紹介)
第8回	第3章 自己表現スキル(言葉のかけ方、上手な頼み方、上手な断り方、自己主張)
第9回	第3章 自己表現スキル(報連相、会議、ミーティング)
第10回	第3章 自己表現スキル(アンガーマネジメント)
第11回	第4章 社会的スキル(基本的な社会スキル)
第12回	第4章 社会的スキル(対人行動、文書作成)
第13回	第3章・第4章のまとめ、検定対策
第14回	コミュニケーションスキルアップ検定 実施
第15回	検定振り返り・授業のまとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を実際の生活の中で実践する。
評価方法	検定試験 100%
受講生への メッセージ	コミュニケーションスキルは学生生活の中でも、社会においても必要です。一つ一つの内容を理解して、実際に実践しながら学んでいきましょう。 そして社会に出たときに最高のおもてなしができるようになりましょう。 ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。
【使用教科書・教材・参考書】 コミュニケーションスキルアップ検定テキスト(JESC)	

科目名 (英)	ベーシックスタイリング Basic Styling	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	中尾 茉奈
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限
【授業内容】 ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。 ※実務経験 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【到達目標】 自分自身の体型の特徴を理解することができる。 歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック：骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	実例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。(普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ)
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。 正しい姿勢の状態で歩くことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に着けることができるようになる。 ※汗をかくても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト：筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える：個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践：正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。 ※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト：筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生への メッセージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づくことができるよう講義を行ってまいります。
【使用教科書・教材・参考書】 授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。	

科目名 (英)	アソシエイトホスピタリティコーディネータ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
	Asspciate Hospitality Coordinator	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。 実施内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。 ※実務経験：藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。							
【到達目標】 ①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ③学んだことを活かし、日常生活においてもホスピタリティマインドをもって行動することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、講義の説明、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータについて
第2回	第1章 日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性
第3回	第2章 ホスピタリティの歴史と文化
第4回	第3章 サービスとホスピタリティの語源
第5回	第4章 ホスピタリティの定義
第6回	第5章 ホスピタリティの5領域
第7回	第6章 組織と顧客のホスピタリティ
第8回	第7章 組織と社員(従業員)のホスピタリティ
第9回	第8章 ホスピタリティの実践
第10回	第9章 各産業におけるホスピタリティの実践
第11回	課題提出について
第12回	課題作成
第13回	課題作成
第14回	レポート提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に着けるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つこと」を意識することが重要です。また、様々な感動体験や自身の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポート作成にあたって、作成方法については細かいルールがありますので、講義の中で説明をします。理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動活かしていきましょう。また、クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有することも大切だと思います。自分が経験した感動体験を次は実践できるように一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会 その他内容に応じてプリント等配布。	

科目名 (英)	セルフスタイリング Self styling	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
メイクの必要性を理解し、自分に似合うメイク方法を知り、施せるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	メイクの必要性、マナー、道具の種類と使い方を知り、理解できるようになる。
第2回	自分の顔(顔型・パーツバランス・プロポーションなど)を分析できるようになる。
第3回	自分の顔(カラーバランスなど)を分析できるようになる。
第4回	自分に似合うベースメイクを知り、実践できるようになる。
第5回	自分に似合うアイブローを知り、実践できるようになる。
第6回	自分に似合うアイメイクを知り、実践できるようになる。
第7回	自分に似合うチーク・リップ・ハイライト・ローライトを知り、実践できるようになる。
第8回	中間テスト 自分に似合うフルメイクを実践できるようになる。
第9回	キュートなイメージのメイクを施せるようになる。
第10回	クールなイメージのメイクを施せるようになる。
第11回	エレガントなイメージのメイクを施せるようになる。
第12回	TPOに合わせたメイクが施せるようになる。
第13回	自分に似合うイメージで、メイクが施せるようになる。
第14回	定期テスト 自分に似合うセルフメイク
第15回	苦手部分の克服ができるようになる。
準備学習 時間外学習	メイクの必要性を考え、自分の個性をアピールできるように分析して、興味を持って臨むこと。
評価方法	中間テスト、定期テスト 仕上がり、イメージ、個性に合っているかどうかを総合的に評価します。
受講生への メッセージ	自分の顔をしっかり理解し、似合うメイク方法を知ることは、セルフスタイリングの第一歩です。楽しんで、興味を持って授業を進めていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
メイク道具一式(自分で使っているものがあれば、でOK) 筆記用具	

科目名 (英)	コンピューター演習 Computer exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	宗田 浩輔
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録のスタジオを経営。 経営に係る業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。 講義では実務に必要な基本的なスキルとトピックについて解説していこうと思います。							
【到達目標】							
Wordによるレポートや送付状や案内状の作成、Excelで関数を使った表を作成出来る。また、ショートカットなどを習得して操作を効率的に行うことが出来る。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション:学習をすすめる上で必要な準備や知識を理解
第2回	パソコン全般の基本的な知識、タイピング、ショートカットについて習得
第3回	Word基礎 起動と文字入力、ファイルの保存について
第4回	Word基礎 用紙の設定、文字の修飾
第5回	Word基礎 図形やイラストを利用した文章の作成
第6回	Word基礎 実践:送り状作成
第7回	Word基礎 レポートや企画書などの作成
第8回	Excel基礎 起動と文字入力、基本構造の理解
第9回	Excel基礎 文字の修飾、表のデザインについての技術習得
第10回	Excel基礎 セルの分割・結合
第11回	Excel基礎 代表的な関数の実践
第12回	Excel基礎 実践:関数を利用した表の作成
第13回	前期振り返り + テスト対策
第14回	評価週 筆記試験 + Wordを使用したレポートの提出
第15回	まとめ・追試/再試験 問題解説と後期導入部分の解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 + Wordを使用したレポートの提出
受講生への メッセージ	入学おめでとうございます。 パソコンを始めとするデバイスは目的を達成するために多種多様な解決方法を提供してくれます。そして正解はひとつではなく、常に新しくより良いものが生み出されています。 技術の習得は大事ですが、解決方法にたどり着くための考え方や感覚などを一緒に考えながら培っていきましょう。 パソコンの習熟度はみなさんそれぞれ違うと思いますが、助け合いながら頑張っていきましょう(人に教える、といったアウトプットも大事な習得方法です!)
【使用教科書・教材・参考書】	
PDFにて資料配布予定。ネットワーク共有フォルダよりコピーして使用。	

科目名 (英)	コンピューター演習 Computer exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人として必要なパソコンスキルを身に付けて、実践ができるように解説していきます。 ※実務経験： ソフトウェア販売、医薬品メーカー営業、WEBデザイナーを経て現在、ナレーション収録スタジオを経営。 経営に関わる業務の傍ら、経理業務・デザイン制作を兼務。							
【到達目標】 ・業界に必要なスキルを理解することができる。 ・各ソフト、ショートカットを使いこなして、文書や資料を作成することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業の流れについて
第2回	Wordについて①
第3回	Wordについて②
第4回	Wordについて③
第5回	Wordについて④
第6回	PowerPointについて①
第7回	PowerPointについて②
第8回	PowerPointについて③
第9回	PowerPointについて④
第10回	Excelについて①
第11回	Excelについて②
第12回	Excelについて③
第13回	Excelについて④
第14回	評価試験
第15回	試験振り返り
準備学習 時間外学習	授業で学んだ事を活かして本講義以外の場面でも実践する。
評価方法	課題及び試験 100%
受講生への メッセージ	パソコンスキルは社会人として求められる力の一つで、その力は変わりゆく社会に応じて常に変化するものです。 パソコンスキルは人それぞれ違いますが、助け合いながら頑張っていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
PDFの資料配布予定、ネットワーク共有フォルダを使用する。	

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 英語でのコミュニケーションを重視した指導を通じて生きた英語に触れ、基礎英会話力を向上させることを目的とする。 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、スピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							

授業計画・内容		
第1回	オリエンテーション、講義説明など	
第2回	1 How are you? Introductions	Can ask about and describe sequences 出来事の起こった順に説明ができるようになる。
第3回	L. 2, 3 Nice to meet you	Can talk and ask about past events. 週末や休暇の過ごし方について話せるようになる
第4回	L. 4 Nice weather, isn't it?	Can ask about and describe locations. Can give directions and ask for clarification. 道順や行き方について尋ねられるようになる。
第5回	L. 5, Music & L6 Movies	Can express likes and dislikes 好き・嫌い等の好みについての会話ができる。
第6回	L. 8 Adventure sports	Can describe features & appearance of objects. アイテムの特徴を述べる、また感想を伝えられるようになる
第7回	L. 1-6, 8 Review	Can ask and talk about quantities of food. 量について尋ねたり、述べたりできるようになる
第8回	L. 9 Family	Can ask about and describe needs. 自分がしたいこと、必要なこと(もの)を相手に伝えられるようになる
第9回	L. 10 Personalities	Can describe and talk about eating habits. 食生活について、コミュニケーションを取れるようになる
第10回	L. 11, 12 Clothes	Can ask about a describe food. 食べ物の味を表現できるようになる
第11回	L. 13, 7 Daily schedules	Can ask and talk about past events, part 2. 過去のできごとについて述べることができるようになる
第12回	L. 14 Extend conversation	Can react to news. 自分の意見を伝える、また相手の意見にリアクションできるようになる
第13回	L. 15 Sequences	Can ask about and describe future plans. 旅行や夢など、未来のことについて述べられるようになる
第14回	test	Semester test 本試験
第15回	Recap	Review of the semester test 試験解説
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。	
評価方法	試験 100%	
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
Speak Now 1		

科目名 (英)	英会話	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	English conversation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
英語でのコミュニケーションを重視した指導を通じて生きた英語に触れ、基礎英会話力を向上させることを目的とする。 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、スピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。							
【到達目標】							
様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							

授業計画・内容		
第1回	L. 15 Sequences	Can ask about and describe sequences 出来事の起こった順に説明ができるようになる。
第2回	L. 29 stories	Can talk and ask about past events. 週末や休暇の過ごし方について話せるようになる
第3回	L. 19 & 20, directions	Can ask about and describe locations. Can give directions and ask for clarification. 道順や行き方について尋ねられるようになる。
第4回	L. 21, prices	Can ask about and give prices. 料金について尋ね、説明できるようになる。代金の交渉ができるようになる。
第5回	L. 23, habits	Can ask about and describe frequency. 会話の中で、質問をし、答えられるようになる
第6回	L. 24, adjectives	Can describe features & appearance of objects. アイテムの特徴を述べる、また感想を伝えられるようになる
第7回	L. 25, kinds of foods	Can ask and talk about quantities of food. 量について尋ねたり、述べたりできるようになる
第8回	L. 26, grocery shopping	Can ask about and describe needs. 自分がしたいこと、必要なこと(もの)を相手に伝えられるようになる
第9回	L. 27, healthy lifestyles	Can describe and talk about eating habits. 食生活について、コミュニケーションを取れるようになる
第10回	L. 28, dishes & menus	Can ask about a describe food. 食べ物の味を表現できるようになる
第11回	L. 30 stories	Can ask and talk about past events, part 2. 過去のできごとについて述べるができるようになる
第12回	L31, news	Can react to news. 自分の意見を伝える、また相手の意見にリアクションできるようになる
第13回	L. 32, the future	Can ask about and describe future plans. 旅行や夢など、未来のことについて述べられるようになる
第14回	Test	Semester test 本試験
第15回	Review	Review of the semester test 試験解説
準備学習 時間 外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。	
評価方法	試験 100%	
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
Speak Now 1		

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅰ Basic Bridal StudiesⅠ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
曜日・時限							水曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界での基礎知識を学び、ブライダルビジネスにおいて総合エキスパートを目指す授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】							
基本をしっかり身に付けてブライダル業界に興味を持ち、必要な知識・能力を高め将来の自己に役立ててほしいです。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業内容の説明、評価方法の説明(自己紹介)
第2回	ブライダルDVDでの感想(ホテル・レストラン)の相違を理解し説明できるようにする
第3回	ブライダルマナー(招待状の返信、参列者ファッション、のし袋の書き方等)を身に付けることができる
第4回	ブライダル概論(Ⅰ)ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割を学び身に付けることができる
第5回	ブライダル概論(Ⅱ)ブライダル用語Aを学び身に付けることができる
第6回	ブライダル概論(Ⅲ)ブライダル用語Aを引き続き学び身に付けることができる
第7回	中間テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる (A)
第8回	中間テスト解答と解説を学び身に付けることができる
第9回	ブライダル基礎(Ⅰ)披露宴の当日までのスケジュールを理解し説明できるようになる
第10回	ブライダル基礎(Ⅱ)今どきの演出&定番演出を理解し説明できるようになる
第11回	ブライダル基礎(Ⅲ)披露宴の基礎プログラムを理解し説明できるようになる
第12回	ブライダル基礎(Ⅳ)披露宴の進行表を理解し説明できるようになる
第13回	期末テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる (B)
第14回	期末テスト解答と解説を学び身につけることができる
第15回	前期授業の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	学科、中間テスト 50% 学科、期末テスト 50%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。ブライダル基礎をしっかり学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ゼクシィまたは講師配布	

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
	Basic Bridal Studies Ⅱ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
ブライダル業界にてプロデュース業20年以上のキャリアを活かし、社会人としてのブライダル基礎知識を身に付け、後期ではよりリアルウェディングにおいての実践能力を深め、またコミュニケーション力を身に付けるようにします。							
※実務経験：ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】							
・自らブライダルの進行が出来る。 ・コミュニケーション力を高める。（特にトーク力の強化）							

授業計画・内容	
第1回	披露宴の進行表を作成できる(グループワーク・洋・和)
第2回	和装進行表を作成できる(挙式、神殿)1日のスケジュールを理解する
第3回	和装進行表を作成できる(挙式、チャペル)1日のスケジュールを理解する
第4回	規模や招待客、披露宴の雰囲気イメージし、カウンセリングシートを作成する
第5回	カウンセリングシート完成を目指す(わかりやすく、記入しやすく、要点の重要性を学ぶ)
第6回	カウンセリングシートによる新規接客の基本(挨拶・名刺交換・トーク力・提案力)
第7回	中間評価試験
第8回	ハワイウェディングについて、日本打合せ・海外旅行について理解し説明ができる
第9回	引出物、引菓子、縁起物の必要性を理解する / 見積書作成をし、見積書における説明ができる
第10回	①接客シュミレーションの基本(見積書からの提案ができる)
第11回	②接客シュミレーションの基本(進行表からの提案ができる)
第12回	③接客シュミレーションの基本(ペーパーアイテムからの提案ができる)
第13回	①ペーパーアイテム(招待状の基本知識を学ぶ) / ②ペーパーアイテム(席次表、メニュー表の基本知識を学ぶ)
第14回	期末評価試験
第15回	ブライダル基礎総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 中間50% 期末50%
受講生への メッセージ	後期ブライダル基礎を学んでリアルウェディングで自信を持ち、新郎新婦とのコミュニケーション力を発揮できるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	ブライダルプランニングⅠ Bridal planning	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
挙式スタイルの意味を理解し模擬挙式の企画、実行ができる授業を行う ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在には育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】							
基本の挙式を理解し、学生が自ら積極的に模擬挙式に役割を通し取り組み身につける							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション、授業内容、自己紹介、挙式の意味を学び理解することができる
第2回	挙式スタイルを理解することができる(神前式・チャペル式・人前式・仏前式)
第3回	人前式スタイル(模擬人前式)を各チームで企画することができる
第4回	人前式のプログラムを組み役割を決めることができる
第5回	チャペル挙式を見学し、人前式との相違を理解することができる
第6回	模擬人前式の企画プレゼンができる
第7回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第8回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第9回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第10回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第11回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第12回	模擬人前式に向けて各チーム役割とプログラムを進めることができる
第13回	模擬人前式のリハーサルが完璧にできている
第14回	模擬人前式実行(評価は先輩に行ってもらう)
第15回	前期の振り返りでのレポート提出(自身の成長評価をする)
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	・キリスト教式見学に於いてのレポート提出 ・模擬人前式でのグループ評価
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。初めての共同作業となる模擬人前式を全員でやり遂げてください
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルプランニングⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
	Bridal planning	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
模擬披露宴を企画・運営するために、披露宴についての理解をより深めていきます。 ※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ・披露宴の専門知識を学び、模擬披露宴を行うための知識や現場力を身につけることができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	前期振り返り・ブライダル用語Iを理解し説明することができる
第2回	ブライダル用語I小テスト/ブライダル用語IIを理解し説明することができる
第3回	映像を視聴し、披露宴について理解しディスカッションすることができる
第4回	結婚式の知識やマナーについて理解し説明することができる(招待状の返信ハガキを実際に書く)・披露宴とは何か理解し説明することができる
第5回	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(ドレスコーディネーター・フローリスト・アテンダー・司会)
第6回	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(カメラマン・映像・音響・サービス)
第7回	中間テスト(ブライダル用語編)
第8回	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日までの業務について)
第9回	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日の業務について)
第10回	披露宴の演出について調べ研究し内容を発表することができる
第11回	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて流れを考える)※グループワーク
第12回	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて考えたものをプレゼンテーションする)※アウトプット
第13回	テスト前対策
第14回	期末テスト・テスト返却
第15回	模擬披露宴準備
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%
受講生への メッセージ	模擬披露宴を素晴らしいものにするために様々なことを学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎 I Dressstyling foundation I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	久保 康代
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ドレススタイリストとしての基本的な知識を身につけ、ウエディングドレスの着付けが出来るようになる							
※実務経験 福岡ブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネートやファッションコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】							
新郎新婦の衣装、または付随する小物についての基礎知識が身につき、基本的なコーディネートが出来るようになる							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介 ブライダル業界におけるドレススタイリストの役割とは?婚礼衣装業界の仕事内容などについて学ぶ
第2回	ウエディングの種類 現在の挙式スタイルについて学び理解する
第3回	ウエディングの歴史 日本そして世界における婚礼衣装の歴史を学び、理解する
第4回	新婦の洋装衣装のライン、素材について学び、説明する事が出来る
第5回	コラージュ作り①(自分の好きなテイストのコーディネート)
第6回	ドレスの装飾やパニエの種類を理解し、説明することが出来る
第7回	相モデルにドレスを着せる事ができる①
第8回	相モデルにドレスを着せる事ができる②
第9回	中間試験 相モデルに5分以内にドレスを着せる事が出来る
第10回	ドレスインナーについて理解し、説明する事が出来る
第11回	相モデルに小物をセットする事が出来る
第12回	コラージュ作り②(テーマの沿ったコーディネート)
第13回	期末試験準備
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験(実技) 期末試験(筆記)
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。結婚式において新婦様のお衣装選びはとても重要な要素の一つです。お客様に運命の1着が見つかるお手伝いをするのがドレススタイリストの仕事です。本授業でスタイリストの業務内容の基本を楽しみながら学んでいきましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。	

科目名 (英)	レストランサービス演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
	Restaurant service exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。(概要)レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレイングなどを行いながら学ぶ。							

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験(筆記)
第8回	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食食用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストランサービス演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	後期
	Restaurant service exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】							
・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る							
・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る							
・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る							

授業計画・内容	
第1回	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
第2回	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食食用具・備品を学び理解する事ができる
第3回	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
第4回	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
第5回	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
第6回	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
第7回	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
第8回	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
第9回	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
第10回	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる
第11回	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る
第12回	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
	Restaurant service skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 レストランの管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎を知識を身に付ける。(概要)レストランにおける収益管理から、店舗設計・サービスに至るまでの運営をする手法を学ぶ。原価率・回転率・原材料費率・人件費率などの管理能力の基礎をより詳しく実践的にロールプレイングなどを行いながら学ぶ。							

授業計画・内容	
第1回	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
第2回	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
第3回	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第4回	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第5回	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第6回	課題の抽出・中間試験対策
第7回	中間試験(筆記)
第8回	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
第9回	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
第10回	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
第11回	西洋料理の食食用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる
第12回	課題の抽出・試験対策
第13回	試験対策
第14回	評価週
第15回	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 ・場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る ・授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る ・行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る							

授業計画・内容	
第1回	ソムリエ協会推奨 ワイン抜栓の方法を学ぶ事が出来る
第2回	オレンジカッティングの方法を学ぶ事が出来る
第3回	レモンスライス・カットが出来る様になる
第4回	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
第5回	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
第6回	気がついて、減っていても注いではいけない水のサービス(グループワーク)を考える事が出来る
第7回	中間試験
第8回	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
第9回	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
第10回	箸置きを折る方を学ぶ事が出来る
第11回	レモンスライス・カットの応用ができるようになる
第12回	テーブルクロス(リネン全般)の使用方を学ぶ事が出来る
第13回	試験対策
第14回	期末試験
第15回	期末試験振り返り、及び苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	フォト＆ムービー演習 Photo & movie exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロとしてのメディア制作や撮影の実務経験ある教員が、写真の撮影や映像編集、また選定方法についての授業を実施します。 ※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】 撮影技術について理解し、撮影について提案することができる。 撮影された写真・映像を理解し選定することができる。							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介、他己紹介、ブライダル業界における映像、写真の役割を理解し説明することができる
第2回	写真・映像を選定するにあたって、いい写真・映像とは何かを考え、ディスカッションすることができる
第3回	構図と画面比率について理解し、説明することができる
第4回	写真のメタ情報について理解し、説明することができる。ファイル情報共有を行うことができる
第5回	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる
第6回	焦点距離について理解し説明することができる
第7回	絞りとシャッター速度について理解し説明することができる
第8回	露出について理解し説明することができる
第9回	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる
第10回	人物撮影のポイントについて理解し説明することができる
第11回	Rawファイルとレタッチの効果についてについて理解し説明することができる
第12回	照明や三脚などのカメラアクセサリについて学習し、活用方法を理解し説明することができる
第13回	撮影演習 これまでの授業の内容を活かして撮影し、それを説明することができる
第14回	写真選定と撮影技術についてのテスト
第15回	写真撮影と撮影技術についてのテストと振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験 100%
受講生への メッセージ	昔は特別な体験だった写真撮影・映像編集が、今はスマートフォンの普及により一般化しました。それにより現代では、求められる技術も高くなっていますが、授業を通してホスピタリティのプロとしての一歩先の写真の知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	司会・アテンド演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
	Moderator / Attend Exercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
司会経験者である講師がボイストレーニングから披露宴の司会が出来るようにし、アテンダー(挙式・披露宴のアテンダー)の経験がある講師による実技で理解を深める。							
※実務経験 フライダル業界25年間で、フライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 フライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】							
模擬人前式及び模擬披露宴の司会のコメントとアテンドの役割がスムーズに行えるように遂行する。							

授業計画・内容	
第1回	人前式のプログラムを考え理解し説明ができることができる口
第2回	模擬人前式のプログラムのコメントを考え理解し説明ができることができる
第3回	I)人前式の基本の発声を身に付けることができる
第4回	II)人前式の基本をプロ司会者により体験談を聞き次週の授業につなげることができる
第5回	III)人前式の基本の司会原稿の読み込みを取得することができる
第6回	IV)人前式の基本の司会原稿の読み込みを取得することができる
第7回	中間テスト(人前式の台本を2人1組にて発表する)
第8回	模擬披露宴の進行の台本を2チームで考え理解し説明ができる
第9回	模擬披露宴でアテンドの役割を理解し説明ができることができる
第10回	模擬披露宴で司会とアテンドの実施を行い理解し説明できる
第11回	I)模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第12回	II)模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第13回	III)模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第14回	IV)模擬披露宴での司会とアテンドを中心にプログラムを遂行できるようになる
第15回	期末テスト(模擬披露宴を各チームで30分で行う)
準備学習 時間外学習	模擬人前式及び模擬披露宴が準備期間を含んでも進まない場合はご相談させていただきます
評価方法	中間テスト(実技)50%・期末テスト(実技)50% どちらもグループにての評価
受講生への メッセージ	模擬人前式及び模擬披露宴は1年後のリアルウェディングのお客様(新郎新婦)との施行にもっとも必要なこととなります。真剣に向き合って授業を受講してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配布	

科目名 (英)	音響・照明演習 Sound and lighting exercises	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。現在取り締まりが厳しくなっているブライダル業界における音楽著作権、違法ダウンロードの説明等。特殊な演出業務。最新鋭の映像演出(プロジェクションマッピング)等をしっかりと体感してもらいながら学んでもらいます。 ※実務経験 アルマリアン福岡(2013～)、ホテルマリノアリゾート福岡(2020～)、博多百年蔵(2019～)、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート(2013～)、ホテルモントレラスール福岡(2011～)、ララシヤンス伊万里迎賓館(2016～) 音響照明セクション現場責任者							
【到達目標】 業界の中身を詳しく説明し、音響・照明・映像・演出業務の基礎の部分を理解出来る。 プランニングする上で、お客様の思いを形にする事が出来るという事をプランナーの立場として理解する事が出来る。 これからのブライダル業界のエンターテインメント性を理解する事が出来る。							

授業計画・内容	
第1回	ブライダル演出業務について * 演出内容が理解できるようになる。
第2回	ブライダルにおける音響操作についてまた基本的に知識 * 簡易的な操作の流れの意味がわかるようになる。
第3回	音楽著作権、および違法ダウンロードについて * 法律による規制が理解出来るようになる。
第4回	BGMコーディネートについて① * お客様として * 新郎新婦の気持ちが理解出来るようになる。
第5回	BGMコーディネートについて② * コーディネーターとして * プランナーとしての気持ちが理解出来るようになる。
第6回	機材関係について① 宴会場にスタンバイされている機材関係について * 機材の簡易的な操作が理解出来るようになる。
第7回	機材関係について② 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
第8回	機材関係について③ 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
第9回	サプライズ演出(フラッシュモブ、メモリブレイ等について) * サプライズ演出が理解出来るようになる。
第10回	プロジェクションマッピング演出について * 大画面映像演出の仕組みが理解出来るようになる。
第11回	スマートフォンでの活用法① 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
第12回	スマートフォンでの活用法② 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
第13回	スマートフォンでの活用法③ 動画等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。(評価)レポート提出
第14回	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる①
第15回	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポートによる試験を行います。一人一人の考えや意見を尊重していきながら、しっかり思いを記入していただくような内容にしたいと考えております。 また、内容によって実技も入れていこうと考えております。
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中で大変な時期にこの業界のお仕事を志してくれて本当に嬉しく思います。 みなさんの力がこれからのこの業界を必ずもっと上のステージに持ち上げていけると確信しております。しっかり楽しく勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	会場装花・フラワーアレンジメント Flower Exercise	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。 昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえつつ、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだブライダル・フラワートrend講義を行う。							
【到達目標】 トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション・自己紹介／授業内容について
第2回	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
第3回	シーズナルイベント装花／マザーズデーアレンジメント制作ができるようになる。
第4回	ブライダルドrestrendを学び説明できるようになる。
第5回	年間のフラワーイベントについて理解することができる。
第6回	ブライダルブーケ制作／クラッチスタイルについて理解することができる。
第7回	中間試験
第8回	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
第9回	これまでの講義をふまえ、ブライダルトレンドプレゼン資料を製作する。
第10回	ブライダルトレンドについて理解しプレゼンテーションすることができる。
第11回	フラワーブーケ制作／サマーグリーンブーケの制作ができるようになる。
第12回	期末試験
第13回	まとめ・解答、授業を振り返りブライダルフラワーの一連の流れを説明できる。
第14回	イベントを企画、運営し実践できる。
第15回	イベントを企画、運営し実践できる。
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験30％／期末試験70％
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。	

科目名 (英)	パーソナルカラー検定3級 Personal colorist grade 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	織田 純子
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
パーソナルカラー検定3級合格に必要な知識、技術を習得できる。基本的な色彩知識を習得し、ブライダル分野でどう生かせるか考え、実践できるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	パーソナルカラーとは何かを知り、理解できる。 第1章 日本の色の歴史
第2回	第1章 日本の色の歴史 まとめ、ポイントを理解できる。
第3回	第1章 色の種類 まとめ、ポイントを理解できる。
第4回	第2章 色のしくみ CUS表色系 ポイントを理解できる。
第5回	第2章 CUS表色系 まとめ、ポイントを理解できる。
第6回	第2章 三属性 対比、感情効果 まとめ、ポイントを理解できる。
第7回	第2章 CUS配色効果 まとめ、ポイントを理解できる。
第8回	中間テスト 第1章・第2章より出題 第3章 ファッション概論 ポイントを理解できる。
第9回	第3章 ファッション概論 まとめ、ポイントを理解できる。
第10回	第4章 パーソナルカラー① ポイントを理解できる。
第11回	第4章 パーソナルカラー② ポイントを理解できる。
第12回	第4章 パーソナルカラー③ ポイントを理解できる。
第13回	定期テスト対策 過去問を解いて、理解を深める。
第14回	定期テスト 全章より出題
第15回	まとめ、振り返り、解説 苦手部分を克服する。
準備学習 時間外学習	必ず復習をして次回授業に臨むこと。難しい単元もありますが、事前に教科書に目を通してくと理解力が増します。
評価方法	中間テスト＋定期テスト 合計100点満点にて成績評価します。
受講生への メッセージ	色彩についての勉強です。身近にある【色】についてじっくり考えてみましょう。ややこしい単元もありますが、勉強すれば必ず理解でき、検定合格もできます。将来、ブライダル各分野だけでなく、日常生活でも生かせる知識となります。まずは、色に興味を持って取り組んでみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在では育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】 2025年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる (2025年1月第4水曜日予定)							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明、評価方法の説明、教本の説明が理解できる
第2回	ブライダルコーディネイトとは 第1章 結婚の定義が理解できる(P1～P11)
第3回	第2章 日本の結婚式と歴史と文化の定義が理解できる(P12～P17)
第4回	結婚に関する風習・いわれ 第3章 欧米の結婚式、歴史と文化(P17～P26)
第5回	3.欧米の結婚式 ①イギリス②フランス③イタリア④アメリカ の理解ができる(P26～P32)
第6回	第1章 ブライダルビジネス 第2章 ブライダル市場 第3章 ブライダル業種が理解できる(P34～P39)
第7回	第4章 ブライダル関連業種 中間テスト告知が理解できる(P40～P44)
第8回	中間テスト実施、解答が理解することができる
第9回	第5章 ブライダルのエリア特性 第6章ブライダル業界の1年と集客システム 第1章 見合いと婚約(P45～P57)
第10回	第2章 結納、婚約式が理解できる(P58～P68)
第11回	前週の小テスト、結納品の理解ができる 第3章 ブライダル準備 第4章 キリスト教式(P69～P75)
第12回	第5章 神前式 第6章 仏前式 第7章 人前式の理解ができる(P76～P83)
第13回	神前式・仏前式・人前式・キリスト教式のテスト、その後の解説を学び身に付けることができる
第14回	期末テスト(コーディネイト検定の告知)
第15回	期末テスト、解答と前期の振り返り
準備学習 時間外学習	6/20は結納品の授業で2教室使用したいので空き教室があればお知らせください
評価方法	中間テスト 50% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。これからの2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結びつけてください
【使用教科書・教材・参考書】 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。							
※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
【到達目標】 2025年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる （2025年1月第4水曜日予定）							

授業計画・内容	
第1回	第4章 ブライダル関連業種、第5章ブライダルのエリア特性(P40～P47)を理解し説明できる
第2回	第6章 ブライダル業界の1年と集客システム(P48.P49)を理解し説明できる
第3回	Lesson3 ブライダルの基礎、第1章 見合いと婚約(P52～P57)を理解し説明できる
第4回	第2章 結納・婚約式(P58～P68)を理解し説明できる
第5回	小テスト(前週の復習)、第3章ブライダル準備(P69.P70)を理解し説明できる
第6回	第4章 キリスト教式(P71～P75)を理解し説明できる
第7回	第5章 神前式、第6章 仏前式、第7章 人前式(P76～P83)を理解し説明できる
第8回	第8章 シビルマリッジ、第9章 披露宴、第10章 海外ウェディング、第11章 二次会(P84～P91)を理解し説明できる
第9回	Lesson4 コーディネーター業務、第1章 コーディネーター業務とは(P94～P100)を理解し説明できる
第10回	第2章 新規業務、第3章 ブライダルセールスの特徴(P101～P108)を理解し説明できる
第11回	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、第6章 プレゼンテーションの手法(P109～P114)を理解し説明できる
第12回	第7章 新規アフターフォロー、第8章 成約業務、第9章 ペーパーワーク(P115～P121)を理解し説明できる
第13回	過去問、模擬試験を実施
第14回	フィードバック、苦手を克服することができる
第15回	テスト解答と総復習
準備学習 時間外学習	個人の理解力を把握するため、小テストを実施
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。これから2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結び付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	ブライダル演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	櫻井 まどか
	Bridal exercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	水曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 衣服は「身を守るもの」「属性を示すもの」「立場を象徴するもの」「自己を表現するもの」「礼儀・マナー」として毎日欠かさず着用される。服飾史を学ぶことにより、その進化を理解する。また、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることにより基礎力を高め、創造力を養う。 【実務経験】 (株)ユミカツインターナショナルレンタルドレスサロンにてサブチーフアドバイザーとして9年勤務。同じくプレタクチュールサロンにてチーフアドバイザーとして5年勤務。(一社)全日本ブライダル協会にて16年勤務。現在、全日本ブライダル協会認定講師、日本フォーマル協会認定ブライダル講師							
【到達目標】 基本的な服飾専門用語を理解できるようになる。 服飾の歴史を理解できるようになる。 歴史を学ぶことにより基礎力を高め、創造力を養う。、							

授業計画・内容	
第1回	導入、「衣服とは何か？」を考えることにより服装に対する意識を高める。
第2回	古代Ⅰ メソポタミア・エジプトの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
第3回	古代Ⅱ ギリシャ・ローマの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
第4回	中世Ⅰ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(キリスト教の影響)
第5回	中世Ⅱ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ルネッサンスによる文化革命)
第6回	近世Ⅰ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(宗教改革の影響)
第7回	近世Ⅱ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(最盛期を迎えた貴族社会)
第8回	中間テスト
第9回	近代Ⅰ イギリス ヴィクトリア女王の結婚式から歴史を学ぶ(ウェディングドレスは何故白いのか?)
第10回	近代Ⅱ 近代ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(勤労を示す黒と貞淑を示す白)
第11回	近現代Ⅰ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する(20世紀初頭～第二次世界大戦)
第12回	近現代Ⅱ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する(第二次世界大戦～現在)
第13回	試験対策を兼ねた復習
第14回	評価週
第15回	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50点、期末テスト50点 の合計点数で評価 中間試験：筆記試験 虫食い問題など50点 期末試験：筆記試験 虫食い問題など50点
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。服飾の歴史を学ぶことにより、衣服はどのような目的で着用されて来たのか理解できます。単に歴史を学ぶだけではなく、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることを楽しんでください。それが基礎力を高め、創造力となり、唯一無二の自分の未来を作る力になると思います。
【使用教科書・教材・参考書】	
「世界の服飾史のすべてがわかる本」「ドレス服飾史」	

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercise	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
前期で学んだ衣装に関する基礎知識をもう一度しっかり復習し、自分の知識として定着させる。 基礎を踏まえた上で、衣装に関する実践的な知識を学ぶ。 ※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダースタylistと東京のオーダードレスショップ「トューレドュー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 衣装に関する基盤をしっかりと定着させ、2年生での応用に対応出来るようになる。							

授業計画・内容	
第1回	ドレスライン、素材、ブーケ等の復習
第2回	実習室内のドレス、タキシードカルテを製作する①
第3回	実習室内のドレス、タキシードカルテを製作する②
第4回	実習室内のドレス、タキシードカルテを製作する③
第5回	実習室内のドレス、タキシードカルテを製作する④
第6回	新婦に必要なウォーキング&美姿勢を学び、新婦へのアドバイスが出来るようになる
第7回	品出し、アイロンやスチームがけについて学ぶ
第8回	イメージ別トータルコーディネートを学ぶ(グループワーク)①
第9回	イメージ別トータルコーディネートを学ぶ(グループワーク)②
第10回	NYBFW(ニューヨーク・ブライダル・ファッションウィーク)について学ぶ
第11回	NYBFWについてのレポート作成をする
第12回	シューズなど小物のお手入れについて学ぶ
第13回	期末試験準備
第14回	期末試験
第15回	総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験(レポート) 期末試験(実技)
受講生への メッセージ	前期は衣装に関する基本の「き」を学びました。後期はその基盤をしっかりと自分のものにし、2年生で実地応用できるようステップアップしていきましょう！どうぞよろしく お願いいたします！！
【使用教科書・教材・参考書】	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用いたします。	

科目名 (英)	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フライダル業界経験24年の専任講師が、キャリア教育で必要とされる、自己肯定感を高め、アクティブラーニングができ、1年間の集大成として、チームワーク力を活かし模擬披露宴を完成させることができる。							
【到達目標】 協調性、チームワーク力を活かし、1年間の集大成としてチームでひとつの模擬披露宴を完成させる。							

授業計画・内容	
第1回	・授業内容把握、チームで何かを成し遂げるために必要なこと5カ条をグループワーク。
第2回	チーム分け、新郎新婦の設定から、披露宴のテーマをチームで導き出すことができる。
第3回	披露宴に必要な役割を考え、チーム内で役割分担をすることができる。
第4回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第5回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第6回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第7回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第8回	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。
第9回	中間発表
第10回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第11回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第12回	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。
第13回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
第14回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
第15回	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する。
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト 100%
受講生への メッセージ	進級制作、初めてのことであり、きつと緊張もします！その不安はチームワークでいい緊張感に変わっていきます。相手に何かを伝えることは自分自身をしっかりと理解して、あなた自身を受け入れることから始まります。また、相手を受け入れることが課題である、チームワークの鍵となります！ We areでキラキラした瞳と自分の笑顔を想像して、挑んでください！そして、あと少しの努力。を忘れずにやっていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	career program	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
サービス業のみならず仕事を自信のキャリアに変える為の考え方や、成長の進め方を様々なディスカッションを重ねる事で身に付けて行く事ができる。また自分の情熱や思いを正しくアウトプットできる自信とテクニックを学ぶ。							
【到達目標】							
自身の強み弱みを見極め、強みを引き出す事で自分の目指す業界へチャレンジする姿勢と考えを身に付ける事ができる。サービス業を軸としたサービスを自身の武器する事の大切さ、サービスでお金を稼ぐという意識と目標を見つける事ができる。							

授業計画・内容		
第1回	自己紹介を盛り込んだフリーディスカッション	
第2回	グループディスカッション（自分が社会に出る事の意味）	
第3回	グループディスカッション（仕事とは何か？仕事が自分に及ぼすものとは？）	
第4回	グループディスカッション（お金を稼ぐ事の意義）	
第5回	グループディスカッション（サービスが人に与えるメリットを考える）	
第6回	グループディスカッション（サービスでお金を稼ぐ為に大切な事は何か？）	
第7回	自分の目標を探すトレーニングを行う	
第8回	ポジティブシンキングの効果とその訓練	
第9回	ネガティブシンキングが影響するライフスタイルの悪化について学ぶ	
第10回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する	
第11回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する②	
第12回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する③ 全体でプレゼンする	
第13回	グループプレゼンテーションのトレーニング(自己表現スキルと伝える熱意のテクニック)	
第14回	★評価週	フィードバック
第15回	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	授業態度・出席50%、各種ワークシートの提出物50%	
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考と一緒に身に付けて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	career program	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プライダル業界にてプライダルプランナーとして、新人研修を担当した実績のある専任教員が、キャリア教育を基に社会人基礎力の向上を目的に、3年間の本講義を通して3つの能力、12の要素を身に着けた人材を育成します。は学生相互の人間関係(コミュニケーション)を密にし、学生の自発的、自治的な活動を支援します。また、自己理解を深め、適切な進路選択ができるようにします。							
【到達目標】							
入社後の自分をイメージして後期を有意義に送ることができる。生活のリズムを整え、時間を有効に使うことができるようになる。 自ら挨拶ができ、人の話を聞き規律性を持った行動が出来る。 学生相互において適切なコミュニケーションを図ることができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、学科リーダー決め、英語でのロールプレイングを通じて外国人客とのコミュニケーションを取ることができる。(新倉・馬井)
2回目	2023年4月の入社までの目標やTODOリストを作成し、後期の過ごし方をイメージすることができる。
3回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ①
4回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ②
5回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ③
6回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。日本の古典文化について
7回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。日本映画について
8回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。海外映画について
9回目	特定の文化について自分の考えをプレゼンすることができる
10回目	校外授業の準備を行う。福岡市の冬の観光スポットを事前に調べ福岡についてさらに興味を持てるようになる。
11回目	校外実習をグループで行い、時間を意識して行うことができる。
12回目	新春親睦会実施 最終学年年度のメンバーの親睦をより深め良好な人間関係を築き卒業までモチベーションを高くすることができる。
13回目	企業プロジェクトの準備を進め、プレゼンテーションを80%以上仕上げることができる。
14回目	★評価週
15回目	企業プロジェクトの準備を進め、プレゼンテーションを100%仕上げることができる。
準備学習 時間外学習	卒業を考え、学生生活を振り返ることができる。授業アンケート実施
準備学習 時間外学習	毎週、時事についてミニプレゼンしてもらいますので、各自ニュースを見ておくように(国際、経済、政治、社会問題等)
評価方法	出席と卒業制作展における、取り組み、貢献度で評価
受講生への メッセージ	誰もがやっている仕事を、誰もがやらないレベルでやる
【使用教科書・教材・参考書】	
適時講師が準備、コマによっては「新社会人の基礎力2023年度版」を持参すること	

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年バーテンダーとして業務を行い、自身のBARを経営する専任講師が実習や座学を通してわかりやすく、お酒やバーテンダーに必要な知識を学べる授業です							
【到達目標】 技術面では、シェーク(シェーキング)、ステア(パースプーンのステアの仕方)、グラスの持ち方、注ぎ方、グラスの出し方、シェーカーの洗いや拭き方。グラスの洗い方など、スマートにできるようになる。 バーの仕事に携わっても即戦力になるようにする。							

授業計画・内容		
第1回	(座学)バーとは、バーテンダーとは。(実技)バーツールの取り扱い方の応用編	
第2回	(座学)氷について、タイプ(実技)氷のカット、丸氷、ダイヤモンドカット	
第3回	(座学)焼酎、甲類焼酎と乙類焼酎の違い(実技)シェーク練習	
第4回	(座学)カクテルのアルコール度数の出し方(実技)ステア練習	
第5回	(座学)シェークについて分析(実技)ジンフィズ、トムマリンズの違い	
第6回	スタンダードカクテル制作(ホワイトレディ、バラライカ、X.Y.Z、マルガリータ)	
第7回	ステア理論(マティーニ、マンハッタン)ビルドカクテル(モスコミュール)	
第8回	(座学)リキュールの種類(実技)いろいろなシェーキング	
第9回	(座学)リキュールの種類(実技)フローズンカクテル制作	
第10回	生クリーム系のカクテル制作(グラスホッパー、ミリオンダラー)2層のカクテル	
第11回	(座学)バーテンダーとしての心構え復習(実技)シェーキング見直し	
第12回	(座学)酒類全般の基礎知識①(実技)ステア見直し	
第13回	(座学)酒類全般の基礎知識②(実技)目分量の練習	
第14回	★評価週	スタンダードカクテルによる実技試験
第15回	★まとめ・追試/再試	スタンダードカクテルによる実技試験
準備学習 時間外学習	授業で学んだシェークとステアの技術をイメージトレーニングする。 スタンダードカクテルレシピを暗記する。	
評価方法	10段階評価による実技試験と、酒類全般の筆記試験を期末に行います。	
受講生への メッセージ	バーテンダーとしての所作、知識、お客様との距離感を1年生の時よりも応用力がつけられるようになる。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant service skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。 【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 過去問題を解き出題をテキストから探し出すことが出来る 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容		
1回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
2回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
3回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
4回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
5回目	中間試験対策	
6回目	中間試験・筆記	
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
12回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
13回目	期末試験対策	
14回目	★評価週	
15回目		
準備学習・時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	
【使用教科書・教材・参考書】		
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接遇サービス技法		

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容		
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。	
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。	
14回目	★評価週	
15回目		
準備学習・時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	
【使用教科書・教材・参考書】		
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法		

科目名 (英)	ブライダル演習	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal exercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
接客シミュレーションを中心にを行い、一連の流れを理解し衣裳の専門的な知識を身につける							
【実務経験】 TAKAMI BRIDALにて約8年半の実務経験有。社内資格として、チーフ・インストラクターの資格有。後輩指導やチーフ試験官などを経験。							
【到達目標】							
実践に近づいたコーディネイトや接客・提案ができるようになる							

授業計画・内容		
1回目	スタイリストの業務内容の復習とブライダル業界においてのスタイリストの立ち位置について学ぶ	
2回目	ドレスの勧め方についてお客様のご要望や会場に合ったドレスをご提案できるようになる	
3回目	実践でドレスのサイズ感について（妊婦様など）学ぶ	
4回目	タキシードのすすめ方について、お客様のご要望やドレスに合ったタキシードをご提案できるようになる（ロープレ）	
5回目	和装の試着方法と接客の流れを学ぶ（ロープレ）	
6回目	前回の復習を兼ねてお客様のご要望に沿ったご提案や柄の説明ができるようになる	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストの答案返却とその解説	
9回目	コラージュ作成 衣裳と会場のテーマをそれぞれ決めてコラージュを作成する	
10回目	先週のコラージュ作成を元に一人ずつ発表（プレゼン）する 会場・衣裳の提案ができるようになる	
11回目	【衣裳店研修】 TAKAMI BRIDALの店舗にて衣裳店の雰囲気や商品を見て学ぶ	
12回目	お客様のお出迎えからカウンセリング・衣裳提案までの流れをできるようになる（ロープレ）	
13回目	次週の試験の試験範囲の説明と実技試験の練習を行います	
14回目	★評価週	筆記試験と実技試験の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	先週の答案用紙返却と解説
準備学習 時間外学習		
評価方法	●中間試験・期末試験（筆記・実技）	
受講生への メッセージ	スタイリストとして大切な知識をたくさんつめこんだ授業内容です。素敵な未来に向かって一緒に頑張っていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。		

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal Items	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
前期で学んだ衣装に関する基礎知識をもう一度しっかり復習し、自分の知識として定着させる。 基礎を踏まえた上で、衣装に関する実践的な知識を学ぶ。 ※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと東京のオーダードレスショップ「チューレドュー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 衣装に関する基盤をしっかりとした定着させ、2年生での応用に対応出来るようになる。							

授業計画・内容		
10月7日	ドレスライン、素材、ブーケ等の復習	
10月14日	実習室内のドレス、タキシードカルテを製作する①	
10月21日	〃 ②	
10月28日	〃 ③	
11月4日	〃 ④	
11月11日	新婦に必要なウォーキング&美姿勢を学び、新婦へのアドバイスが出来るようになる	
11月18日	品出し、アイロンやスチームがけについて学ぶ	
11月25日	イメージ別トータルコーディネートを学ぶ(グループワーク)①	
12月2日	〃 ②	
12月9日	NYBFW(ニューヨーク・ブライダル・ファッションウィーク)について学ぶ	
12月16日	NYBFWについてのレポート作成をする	
1月13日	シューズなど小物のお手入れについて学ぶ	
1月20日	期末試験準備	
1月27日	★評価週	
2月3日	卒業生講和	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験(レポート) 期末試験(実技)	
受講生への メッセージ	前期は衣装に関する基本の「き」を学びました。後期はその基盤をしっかりと自分のものにし、2年生で実地応用できるようステップアップしていきましょう！どうぞよろしく願いいたします！！	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用いたします。		

科目名 (英)	カメラワーク・テクニック	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	camera work & technique	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【中村 允宣】 2014年映像制作会社に入社。それをきっかけに写真を学ぶ。2018年より092photo.comの代表に就任。2021年に092photoを譲渡され自身の会社となる。 2024年2月に092photoとは別事業であるブライダル事業を始める。前撮り専門サロンとして「ROLL7WEDDING」を設立。 今は東京、大阪、福岡を拠点に写真、映像業とブライダル業を営んでいる。 【中尾 茉奈】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて約10年模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランドの展示会、ストックフォト等にモデルとして携わった。							
【到達目標】 実際に写真撮影の実施やプロのカメラマンとの実践を通して、フォトウェディングについて知ることが出来るようになる							

授業計画・内容		
1回目	授業内容の説明・到達目標の設定	
2回目	テーマ「自分の好きなもの」雑誌や画像の切り抜きを活用し、テーマに沿った作品を作ることが出来る。	
3回目	相モデルになり互いの写真を撮る①学内での撮影場所、撮影の方法などを考えて撮影の計画を立てることができるようになる。	
4回目	相モデルになり互いの写真を撮る②学内で撮影実施 スマートフォン使用	
5回目	相モデルになり互いの写真を撮る③撮影した写真の簡単なレタッチができるようになる	
6回目	フォトウェディング①フォトウェディングの進行方法について知ることが出来る。3人グループをつくる	
7回目	フォトウェディング②グループ内で撮影指示書を3種類作成する	
8回目	専門授業を通じてフォトウェディングというものを理解し説明することができるようになる。	
9回目	フォトウェディング業とは何か。フォトウェディングに大切なこと、接客に必要なことを理解し説明ができるようになる。	
10回目	フォトウェディング業に必要な写真のスキル、撮り方、ポイントを理解し説明ができるようになる。好きな写真を次回までに撮影してきてもらう。	
11回目	実際に撮った写真のプレゼン、説明をしてディスカッションを行う。別教室を使用し実際に撮影を行う。撮影に対して理解し説明することができるようになる。	
12回目	フォトウェディング業に必要なことと写真の撮り方の復習。しっかりとこの二つを理解でき説明ができるようになる。	
13回目	フォトウェディング①フォトウェディングの進行方法について知ることが出来る。3人グループをつくる	
14回目	フォトウェディング②グループ内で撮影指示書を3種類作成する	
15回目	★まとめ・追試/再試	作品発表会
準備学習 時間外学習	スマートフォン	
評価方法	出席率50%、作品完成度50%	
受講生への メッセージ	初めまして。私が今回講義をさせていただく事となりました、中村です。本講義を通じてフォトウェディングとは何か、写真の撮り方などについて理解して頂き本講義を通じて一人でも多くの方にフォトウェディング業へ興味を持って頂きたいと思っています。将来、一人でも多くの方がこの道へ進みたいと思って頂けるような講義をさせて頂ければ幸いです。□	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	映像編集実習 Video editing exercises	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像制作技術を有する教員が、ブライダルアイテムのひとつである映像実習授業を展開し、どういった映像を制作するのか、立案から完成までのプロセスを身に付けます。 ※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】							
映像を制作するスキル、ソフトの使い方等を必要最低限身に付け、スケジュールの組み立て、クオリティの確保を経験し、映像制作ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる①(写真を使った簡単な操作方法)	
2回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる②(写真を使った簡単な操作方法)	
3回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる③(テロップを用いて簡単な操作方法)	
4回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる④(動画を使った簡単な操作方法)	
5回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる⑤(動画を使った簡単な操作方法)	
6回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる⑥(動画を使った簡単な操作方法・それぞれの作った映像を見	
7回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る①	
8回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る②	
9回目	素材撮影・映像制作が出来る①	
10回目	素材撮影・映像制作が出来る②	
11回目	素材撮影・映像制作が出来る③	
12回目	素材撮影・映像制作が出来る④	
13回目	素材撮影・映像制作が出来る⑤	
14回目	★評価週	完成映像の提出
15回目		総評・まとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	テスト(映像提出による完成度)にて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
PC数台・PCソフト(Adobe premiere pro)		

科目名 (英)	JMA検定2級対策	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	JMA test grade 2	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
JMA2級合格に必要なメイク知識、技術を習得できる。メイクの基礎技術を向上させ、ブライダルの現場で生かせるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	JMA2級について理解し、メイクを始める前の必要な知識を習得できるようになる。
第2回	スキンケア復習 手指消毒～乳液・美容液までのテクニックを実践できるようになる。
第3回	JMA 2 級ベースメイクの作り方を理解し、実践できるようになる。
第4回	スキンケア～2級ベースメイク復習 アイブロウの基本的な描き方を知り、実践できるようになる。
第5回	2級ベースメイク・アイブロウ復習 アイメイクの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
第6回	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 前回よりも美しくスムーズに仕上げることができるようになる。
第7回	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 リップの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
第8回	2級ベースメイク～ポイントメイク実技 ポイントメイクを美しく仕上げられるようになる。
第9回	JMA 2 級内容をスムーズに美しく仕上げるができるようになる。
第10回	ポイントメイク強化 ポイントメイクを美しく仕上げることができるようになる。
第11回	JMA2級内容を、決められた時間内でスムーズに美しく仕上げるができるようになる。(要モデル)
第12回	JMA2級内容を前回よりもスムーズに美しく仕上げるができるようになる。(要モデル)
第13回	JMA2級内容を50分以内で美しく仕上げるができるようになる。
第14回	JMA2級内容を50分以内で仕上げるができるようになる。
第15回	定期試験 (JMA 2 級検定兼ねる)
準備学習 時間外学習	3級内容の復習、時間外での練習も必要です。たくさん練習して、臨んでください。
評価方法	定期テスト(2級検定を兼ねる) 手順・手技が正しいか、仕上がりは美しいか、マナーはよいか、など総合的に評価します。検定試験は100点満点中80点以上合格です。
受講生への メッセージ	3級に続いている検定試験です。3級で習得したテクニックはもちろん、その上の知識・技術が必要になってきます。難しい課題ですが、練習すれば練習した分必ず上達します。自信を持って、取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
メイク道具一式、JMA2・3級テキスト・消耗品など	

科目名 (英)	ヨガ yoga	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】 ・ホットヨガスタジオLAVAにて1回30名の方へ向けたレッスンを1年間で約480本担当。 ・福岡スクールオブミュージック高等専修学校にて半期授業担当。 ・ASANAMANDALA YOGA TTC80Hを2回、シータヒーリング基礎&応用、筋膜リリースヨガ養成講座、チェアヨガ養成講座、アーユルヴェーダホリスティックアドバイザー ・じっくりと丁寧な誘導をおこない、自分の内側と向き合っていけるような授業に最善を尽くします。 ・ヨガのポーズにこだわることなく、無理なく、今を大切にしていけるような授業を実施いたします。 ・ヨガのポーズの実践を繰り返し、心と体の変化を探索する							
【到達目標】 ・自分自身を向き合う能力が高まり、人と比べることなく自己肯定感が増えている状態							

授業計画・内容		
1回目	【ヨガ体験】挨拶、ヨガ体験(先ずは楽しく体を動かして、一つのことに集中する時間をとる)	
2回目	【ヨガの歴史】ヨガのルーツを知る & ベーシックヨガ ができるようになる	
3回目	【呼吸法】ヨガ呼吸法の紹介 & スローヨガ ができるようになる	
4回目	【肩こり改善ヨガ】肩こりになる原因の紹介 & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
5回目	【骨盤調整ヨガ】腰痛になる原因の紹介 & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
6回目	【瞑想】瞑想とは & アドバンスヨガ ができるようになる	
7回目	【心のケア】苦悩になる考えと苦悩にならない考え & ベーシックヨガ ができるようになる	
8回目	【体のセルフケア】肩こり改善のためのセルフケア & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
9回目	【心のケア】言葉と思考の持つパワー & アドバンスヨガ ができるようになる	
10回目	【体のセルフケア】腰痛改善のためのセルフケア & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
11回目	【ヨガ哲学】八支則の紹介 & ベーシックヨガ ができるようになる	
12回目	【ヨガ哲学】継続は力なり & アドバンスヨガ ができるようになる	
13回目	【ヨガ哲学】アヒンサー(非暴力) & フローヨガ ができるようになる	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	ヨガ 総まとめ 試験予備
準備学習 時間外学習	特にありません。	
評価方法	筆記試験 100%	
受講生への メッセージ	みなさんこんにちは。ヨガのポーズをとって、呼吸をして、楽しい時間を過ごしませんか。ヨガを続けていくことで、心と体が安らぎ、人と比べることなく自分自身と向き合う時間が自信へとつながり、イキイキと輝く学生生活となりますように。と願っています。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント配布、プリント対応。		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間の小中学生への学習指導を続ける専任教員が、一般企業の70%以上で実施している『一般常識テスト』に合格するためのトレーニングを行う。「一般企業の70%が実施している」ということは、裏を返せば、30%の企業では、「知っていて当たり前。知らなくても入社後、新聞購読などで身に付け、問題意識を持ち続けるべき最低限の内容」ということで、このようなテストがない企業も多数あることを、まず理解し、「社会人になるための第一歩」として取り組むこと。とはいえ、内容は広範囲に渡り、本来、授業で身に付けるようなものではないことから、学校の図書室、職員室での新聞閲覧など、ネットニュース以外での情報収集に日ごろから努め、自分なりの意見と、そこから、自分自身の行動に、どうつなげるかを考え、高度な面接にも堪えられる思考力の育成にも資するものとする。							
【到達目標】							
SPI・一般常識・時事問題を学び知識の習得をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
2回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
3回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
4回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
5回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
6回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
7回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
8回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
9回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
10回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
11回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
12回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
13回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
14回目	★評価週
15回目	まとめ 授業のふりかえり
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%(出席・態度不問)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
必要なものを、その都度、お渡しします。	

科目名 (英)	ビジネス英会話 Business English conversation	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	講義 演習	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で手助けができる。 You'll be able to offer help in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	街を歩き回り、道案内をすることができる。 You'll be able to get around town and give directions.
2回目	公共交通機関を使って道案内をすることができる。 You'll be able to give directions using public transportation.
3回目	計画や意図を説明できる。 You'll be able to describe plans and intentions.
4回目	行動の結果について話すことができる。 You'll be able to talk about consequences of actions.
5回目	現在と過去のことについて説明できる。(パート 1) You'll be able to describe ongoing past activities.(part 1)
6回目	現在と過去のことについて説明できる。(パート 2)。 You'll be able to describe ongoing past activities.(part 2).
7回目	過去と未来の能力を表現できる。 You'll be able to express past and future ability.
8回目	過去と未来の義務を表現できる。 You'll be able to express past and future obligation.
9回目	健康や診察について相談できる。 You'll be able to talk about health and medical examinations.
10回目	栄養や医療について相談できる。 You'll be able to talk about nutrition and medical advice.
11回目	今後の活動について説明できる。 You'll be able to describe future activities.
12回目	電話で計画を立て、サポートを提供できる。 You'll be able to make plans by telephone and offer help.
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	★まとめ・追試/再試 理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25% Final test 75% , Participation in class 25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the
【使用教科書・教材・参考書】	
SIDE by SIDE Book & Text 2	

科目名 (英)	韓国語	必修 選択	必修選択	年次	2,3	担当教員	
	Korean I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げ、講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークに韓国語を学んで頂いております。							
【到達目標】							
挨拶、自己紹介、とプラスで何か言える所まで行けるように。就職試験のひとつの武器に韓国語がなっていけるようにを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	韓国語で自己紹介してみよう！名前、年、出身地、趣味、好きな食べ物を紹介できる
2回目	韓国語の仕組みと母音を学び理解できる①
3回目	子音を学び理解できる①
4回目	子音を学び理解できる②
5回目	母音を学び理解できる②
6回目	パッチム(〈子音+母音+子音〉などで構成される音節で最後の音をあらわす子音または子音字母。終声)について理解できる
7回目	ここまでのまとめ小テスト&ゲーム通して発音についての理解を深める
8回目	色々な単語の勉強と会話を通して理解を深めることができる
9回目	色々な数字の勉強を通して理解を深めることができる
10回目	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学び、理解を深めることができる
11回目	今までの総まとめのテストとk-popソングやゲームを通して造詣を深める
12回目	好きな文章を韓国語で作って発表することができる。1日目(時間があればk-popソングもう1曲使って造詣を深めることができる)
13回目	好きな文章を韓国語で作って発表することができる。2日目(時間があればk-popソングもう1曲使って造詣を深めることができる)
14回目	試験
15回目	まとめ 授業の振り返り
準備学習 時間外学習	復習
評価方法	テストと参加態度
受講生への メッセージ	韓国語は日本語と文法が同じで発音がほぼ同じものもあるくらいスツと入ってしやすい外国語です！！口をよく動かします。発音だけ最初慣れるまで練習が必要ですので口の体操よくしといてください！！授業が進むと複雑になって混乱するときはその都度細かいことでも必ず質問してもらって、クリアにしてから次のステップに行きましょう！！とにかく肩の力を抜いてリラックスして楽しく授業していきましょう！！！！

科目名 (英)	企業プロジェクト corporate collaboration project	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。 実施授業：ブライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。昨年度の同授業で先輩が企画したものをベースにさらに精度を高めた提案をすること。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・生徒他己紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有	
2回目	株式会社サウスポイント様よりIT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。	
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。	
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。	
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。	
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。	
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。	
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション	
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
14回目	★評価週	株式会社サウスポイント様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試	講評
準備学習 時間外学習		
評価方法	プレゼンテーション	
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚 campus marriage	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルシステムの授業で学んだ知識をもとに、アウトプットがメインの内容で進めてまいります。 接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を見つけるために、ロールプレイング(結婚式の打ち合わせの流れや)を行うことで、人前で話すことの恥ずかしさを払拭し、お客様の前で堂々とトークができるようになることを身につけていただきます。 また、時代に沿った接客スタイル(リモート接客)を実際に行うことで、難しさを体感した、プレゼン力も身につけることができる内容で進めてまいります。 ※実務経験 法人営業やホテル・ブライダル業界10年以上キャリア。現在はウェディングプランナー育成に携わっている。							
【到達目標】 恐怖感・不安感を持たず、人前で話すことができる 打ち合わせ時にお客様へのヒアリングとご提案ができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業内容の説明、自己紹介(自分自身を商品に例えプレゼンを行う)を行うことでプレゼン力を身につけることができる	
2回目	1年次で学んだ結婚式の打ち合わせの流れを提示、説明ができる	
3回目	ヒアリングのポイント・コミュニケーションのポイントを身につけることができる	
4回目	クローージングのポイント・課題分析のポイント・打ち合わせのスケジューリング(タイムスケジュール作成)のポイントを身につけることができる	
5回目	求められる5つの基本能力(①プレゼンテーション能力②ヒアリング能力)のポイントを身につけることができる	
6回目	求められる5つの基本能力(③コーディネート力④営業力⑤問題解決能力)のポイントを身につけることができる	
7回目	中間テスト	
8回目	①リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
9回目	②リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
10回目	①新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
11回目	②新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
12回目	作成したコラージュをもとに提案力を身につけることができる	
13回目	不安や悩み対策としてのトーク力を鍛えることができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テストのフィードバック
準備学習 時間外学習		
評価方法	ロールプレイング方式90% 授業に対する意欲10%(発表回数など)	
受講生への メッセージ	接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を身につけていきます。 お客様の前で話す事への不安な気持ちを払拭し、質の高い接客力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	campus marriage	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 昨今需要が増しているフォトウェディングについて、新しいフォトプランを考案し、スタジオネスト様に提案。 商品化を目指す。 あ・うん企画様のご協力のもと、新型コロナウイルスの影響で、婚礼を延期を余儀なくされている新郎新婦様に向けて、フォトウェディング(前撮り)を提案する。 学生とフォトウェディングをすることのメリットをお2人にプレゼンテーションし、自らの力でお客様との契約を目指す。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたフォトプランを企画立案し、提案すること。 フォトウェディングのお客様の成約と当日まで企画・運営。							

授業計画・内容		
1回目	本プロジェクトの経緯と目的が理解できる / 対象お客様のご紹介	
2回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる① / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
3回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる② / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
4回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる③ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
5回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる④ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
6回目	（予定）（6回目）1組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
7回目	（予定）（7回目）2組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
8回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
9回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
10回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
11回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
12回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
13回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
14回目	★評価週	※フォト撮影は9～10月頃でしょうか。
15回目	★まとめ・追試/再試	後期は経験を踏まえて、スタジオネスト様と商品化へ向けての企業プロジェクトとする
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート	
受講生への メッセージ	お客様のご都合に合わせて、打合せを組んでいきます。 お客様にもお仕事や普段の大切な生活があります。 打合せが土日に入る場合もありますので、クラスメイトと協力しながらお客様の記憶と記録に残る1日を作りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	Presentation to mark the current year's study	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プライダル業界経験24年の専任講師が、キャリア教育で必要とされる、自己肯定感を高め、アクティブラーニングができ、1年間の集大成として、チームワーク力を活かし模擬披露宴を完成させることができる							
【到達目標】 協調性、チームワーク力を活かし、1年間の集大成としてチームでひとつの模擬披露宴を完成させる。							

授業計画・内容		
1回目	・授業内容把握、チームで何かを成し遂げるために必要なこと5カ条をグループワーク。	
2回目	チーム分け、新郎新婦の設定から、披露宴のテーマをチームで導き出すことができる。	
3回目	披露宴に必要な役割を考え、チーム内で役割分担をすることができる。	
4回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
5回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
6回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
7回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
8回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
9回目	中間発表	
10回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
11回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
12回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
13回目	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する	
14回目	★評価週	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
15回目	★まとめ・追試/再試	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ペーパーアイテム Paper items	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース/ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション・アパレル業界で企画や製造等を担当し、服飾デザイン・製作に関する知識を有する教員が、ワイヤーアクセサリ製作/水引などブライダルに関連するアイテムの制作過程を教える。 ブライダル業界に必須であるペーパーアイテム(招待状、席次表)を実際に制作することで、1年次に習得した知識をアウトプットする。 ※実務経験__メーカーにて製品の企画、デザイン、製造に携わる							
【到達目標】 ブライダル業界のトレンドを学び、ブライダルに関わる多様なアイテム知識の向上を図る。 ペーパーアイテムやワイヤーアクセサリ(ヘッドアクセサリ)を作ることができるようになる。刺繍ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・授業の到達目標の確認(ワイヤーアクセサリー)・ワイヤーアクセサリー資材の配布と道具の確認	
2回目	ワイヤーアクセサリー製作(パールの基本パーツが作成できる)	
3回目	ワイヤーアクセサリー製作(ビーズの基本パーツが作成できる)	
4回目	ワイヤーアクセサリー製作(葉っぱの基本パーツが作成できる)	
5回目	ワイヤーアクセサリー製作(固定パーツの作成、パーツ組み合わせの全体像をバランスを見ながら決めることができる)	
6回目	ワイヤーアクセサリー製作(全体を組み合わせで完成させることができる)・提出	
7回目	授業の到達目標の確認(刺繍)・刺繍の資材の配布と道具の確認、基本のステッチ練習:ストレートステッチ、ランニングステッチ、バックステッチができる	
8回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:アウトラインステッチ、サテンスステッチ、レゼーデージーステッチができる)	
9回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:チェーンステッチ、フレンチノットステッチ、フリーステッチができる)	
10回目	婚礼に必要なペーパーアイテムを理解する	
11回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ①	
12回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ②	
13回目	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる①	
14回目	★評価週	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる②
15回目	★まとめ・追試/再試	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる③
準備学習・時間外学習		
評価方法	製作物の提出	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
製作の手順をまとめた資料を準備します。		

科目名 (英)	ブライダルコーディネート検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 クに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
株式会社ラッ							
【到達目標】 2024年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる（2024年1月24日第4水曜日予定）							

授業計画・内容		
1回目	前年度の振り返りと小テスト(決意表明をし今後の取り組みに意識を持たせる)	
2回目	第3章 ブライダルセールスの特徴 第4章 ホスピタリティ営業 第5章 プランニング(P107～P112)	
3回目	第6章 プレゼンテーションの手法 第7章 新規アフターフォロー 第8章 成約業務(P113～P118)	
4回目	第9章 ペーパーワーク、打ち合わせ業務 1章、2章、3章、4章(P119～P128)	
5回目	コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第1章 コーディネート 第2章 衣装選定(P130～P138)	
6回目	3. 花婿の洋装と洋装小物 4. 和装の基本、中間テスト告知	
7回目	前週の衣装のまとめが理解できる	
8回目	中間テスト 解答と解説が理解できる	
9回目	第3章 ブーケ、フラワーアイテムの選定 3. フラワーアイテム 4. 会場装花 5. 両親への花束(P148～P153)	
10回目	前週のブーケのデザイン小テストで理解できるようになる	
11回目	第4章 ヘアメイク、ネイルアート 第5章 会場コーディネート 第6章 テーブルコーディネート(P154～P161)	
12回目	2. テーブルクロスとナプキン 3. 4. 5 第7章 ペーパーアイテム、ウェルカムアイテム(P161～P166)	
13回目	第8章 料理、飲物(1.フランス料理 2.日本料理 3.折衷料理 4.イタリア料理 5.中華料理) (P168～P173)	
14回目	★評価週	前期の振り返りと期末テスト告知の理解ができる
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト 解答と解説の理解ができる
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	中間テスト 50%	期末テスト 50%
受講生への メッセージ	2年目のコーディネート技能検定の授業です。ブライダルは必要な専門知識が不可欠です。前期で幅広くなりますががんばりましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal coordination examination level 3	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 2023年1月25日(水)の検定(国家資格)に合格する							

授業計画・内容		
1回目	Lesson7 手配業務 第1章:ペーパーアイテムの手配. 第2章:衣装・ヘアメイク・着付け(P188～P194)	
2回目	第3章:挙式と披露宴の演出手配. 第4章:引出物・引菓子の手配.第5章: (P195～P202)	
3回目	第6章:装花の手配 Lesson8 当日の業務 第1章～第2章～第3章(P203～P216)	
4回目	第4章:テーブルセッティング. 第5章:当日のサービス業務(P217～P228)	
5回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2015年度)	
6回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2016年度)	
7回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2017年度)	
8回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2019年度)	
9回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2018年度)	
10回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2019年度)	
11回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2020年度)	
12回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2020年度)	
13回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2021年度)	
14回目	★評価週	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2021年度)
15回目		検定試験の解答と振り返り
準備学習 時間外学習	特にありませんが、10月24日が試験手続き日ですのでよろしくお願い致します	
評価方法	過去問題の平均点数を中間と期末の評価とする	
受講生への メッセージ	2年間の集大成の後期となりました。実技(50問)と筆記(15問)共に合格を目指してください	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
	Work Seminar	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【到達目標】							
10回のロールプレイで苦手意識を取り除くことが出来る。面接の限られて時間の中で自分のことを自分の言葉で活き活きと語れることが出来るようになる。							
授業計画・内容							
1回目	今後のスケジュールの把握。第一印象の大切さを学ぶことが出来る。(入室Aのロールプレイ)①						
2回目	中間テストの説明・履歴書作成のポイントと知ることが出来る。入室Bのロールプレイ②						
3回目	最新の就職試験状況とコンピテンシー面接について知ることが出来る。簡単な自己紹介のロールプレイ③						
4回目	ロールプレイ①～③の復習と面接に適した椅子の座り方について学ぶことが出来る。ロールプレイ④						
5回目	履歴書長所・短所面接時のアイコンタクトのポイントを知ることが出来る。長所と短所のロールプレイ⑤ 履歴書と30秒の自己PRを作成することが出来る。自己PR⑥						
6回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。						
7回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。(1週目)						
8回目	グループワークを通して志望動機のつくり方を知ることが出来る。(2週目)						
9回目	履歴書のおさらい・採用側からのチェックポイントと知ることが出来る。退出のロールプレイ⑦						
10回目	ロールプレイ①～⑦の復習を行い苦手な場面を知る。面接時の言葉遣いについて学ぶことが出来る。						
11回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。						
12回目	ロールプレイ⑧受付、待合室、会社説明会での注意事項を知ることが出来る。						
13回目	ロールプレイ⑨電話の受け方、かけ方、メールのしかた、礼状の書き方を学ぶことが出来る。						
14回目	ロールプレイ⑩入室から退出までと質疑応答1-2を通じて自身のレベルを把握することが出来る。						
15回目	まとめ						
準備学習 時間外学習							
評価方法	・履歴書の完成度(30点)・ロールプレイ評価(20点)・実技(50点)						
受講生へのメッセージ	就職試験は本来はコワイものではなくアラタな出会いでわくわくするものです。長く働ける自分の肌に合った企業と一緒に探していきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	Work Seminar	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実践的に、面接練習や就職活動のシミュレーションを行っていきます。また、授業中の会話は全て敬語というルールを設けることで、面接だけでなく、社会人としても恥ずかしくない言葉力を身につけます。 ※実務者経験:自身の就職活動実績としては、大学3～4年時、全国のマスコミ、東京の一般企業の面接を多数経験。おもちゃメーカー&商社内定(辞退)、NHK高知放送局キャスター、NIB長崎国際テレビアナウンサー、RKB毎日放送アナウンサー勤務。現在はフリーアナウンサーとして、専門学校、大学生、アナウンサー志望生への面接指導、西鉄株式会社などの新入社員研修、社会人の話し方講師も担当。また全日空ホテル、ホテル日航ハウステンボス、THE VILLAS福岡など、結婚式や式典司会などで、ブライダル業界での仕事経験もあり。							
【到達目標】 面接までのシミュレーションがスムーズに行えること。目が泳がない、ハキハキ答えらる、好印象を与えられる。就職活動を通して、面接だけでなく、社会人として恥ずかしくない敬語の使い方やマナーを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介・就職活動の流れ	
2回目	事前の企業への電話～面接当日までのシミュレーション	
3回目	第一印象と入退室、自己紹介、目線や声の大きさなどノンバーバルの大切さ	
4回目	自己分析の大切さとエントリーシートの書き方復習	
5回目	敬語とビジネスマナー	
6回目	面接練習～志望動機と自己PR・長所と短所	
7回目	中間評価(グループ面接)	
8回目	よくある質問、PREP法を用いた答え方をしてみよう	
9回目	グループディスカッション①	
10回目	グループディスカッション②	
11回目	圧迫面接	
12回目	雑談系面接	
13回目	前期の総復習(足りないところを補う)	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習・時間外学習	自己PR作成や履歴書など、授業内に終わらなかった生徒は宿題にする可能性もあります。夏期休暇中には、読書感想文の宿題を出します。(語彙力を増やすためと、最近読んだ本は？という質問にきちんと答えられるようにするため)	
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント配布。		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal Fair Planning	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルフェアの意図を知り、集客方法・企画の立案全てをトータル的に実施できるように導きたい							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルフェアの意味・意図を考え理解し説明できる
2回目	ブライダルフェアのメリット・デメリットを理解し説明できる
3回目	ブライダルフェアの集客方法を考え理解し説明ができる
4回目	ブライダルフェアの当日までのスケジュールと役割を考え理解し説明ができる
5回目	模擬ブライダルフェアのチームを、ABC3チームのグループで考え理解し説明ができる
6回目	模擬ブライダルフェアのスケジュールの立案を理解し説明ができる
7回目	模擬ブライダルフェアの企画を各チームにて考え理解し説明ができる
8回目	模擬ブライダルフェアをコラージュ作成で見える化の実現を考え理解し説明ができる
9回目	模擬ブライダルフェアの企画を各チームごとにプレゼンする(全員で評価)
10回目	I) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる
11回目	II) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる
12回目	III) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成し仕上げ理解し説明できる
13回目	IV) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成し仕上げ理解し説明できる
14回目	★評価週 模擬ブライダルフェアのコラージュ作成発表を理解し説明できる
15回目	後期の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	各チームにての評価100%
受講生への メッセージ	模擬ブライダルフェアを通して、プレゼン力・コミュニケーション力・知識力を高めましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配布	

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal Fair Planning	必修 選択		年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態		総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ・ロールプレイングの必要性 ・プランナーとして第一印象から入る身だしなみ、言葉遣い、話し方 ・実際の新郎新婦に接し又関わり、スムーズな遂行が出来る体験を実施							
【到達目標】 ブライダルフェアの意図を知り、集客方法・企画の立案全てをトータルのに実施できるように導きたい							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 授業の進め方、評価方法の告知、ロープレ説明	
2回目	接客シミュレーションの必要性を個々で考える	
3回目	プランナーとしての自己紹介と名刺交換と接客用語 ABCテキスト(P28)	
4回目	自分の苦手ポイントの強化をし、ロープレで自信をつける	
5回目	チャペル案内の基礎ロープレ ①立ち位置、動線、時間	
6回目	チャペル案内の基礎ロープレ ②メリット、デメリット、他社の強み	
7回目	模擬テスト（チャペル案内の接客シミュレーション）	
8回目	新規接客への印象づくり ①言葉遣い、身だしなみ、立ち方、座り方	
9回目	新規接客への印象づくり ②自己のテンション向上、オウム返しで変わる事	
10回目	新規接客への印象づくり ③知識力の発揮、プレゼンテーション力	
11回目	新規ヒアリング対応 ①資料請求時 ②問合せ（メール、電話、エージェント）	
12回目	来館時ヒアリング ①予約客 ②直接来館 ③試食会（ABCテキストP40～41）	
13回目	アンケート記入依頼 ABCテキスト（P42～42）	
14回目	★評価週	来館アンケート記入の依頼と記入方法の促し方法
15回目	★まとめ・追試/再試	前期振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト（30％） ●実技または筆記（20％） ●定期テスト（50％） 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ	模擬ブライダルフェアやロールプレイングを通して、プレゼン力・コミュニケーション力・知識力を高めましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
ABC検定教本、参考資料は配布		

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東 淳子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。							曜日・時限 木曜日4限目
【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。							

授業計画・内容	
1回目	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。
2回目	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。①
5回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①
7回目	中間テスト
8回目	盆中の道具の扱い方②
9回目	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってお菓子の取り方を知ることが出来る。(干菓子)
10回目	薄茶の立て方を知る (実際に自分で点ててみる①)
11回目	薄茶の立て方の復習 (実際に自分で点ててみる②)
12回目	薄茶を点てる人(亭主)頂く人(お客)に分かれて体験することが出来る。
13回目	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。(生菓子)
14回目	★評価週 期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試 期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト(50%)期末テスト(50%)
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ブライダルシステム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal system	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】現役のブライダルプランナーが接客時に使用するシステムで、正式予約受付～当日施行までの打合せの流れを学ぶ 【実務経験】株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダルシステムを使用し、結婚式の正式予約受付～結婚式企画・ブライダルアイテム打合せ／発注業務～結婚式当日の施行詳細までの流れを学ぶ							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルシステムB版 初期設定～システム概要説明:打合せの全体の流れをシステムの詳細を通じて把握することができる	
2回目	ブライダルシステムB版 規約説明:結婚式の正式予約時に必要な注意事項や手続きの流れを理解することができる	
3回目	ブライダルシステムB版 WEDDINGスケジュール:正式予約～当日までのスケジュールを把握することができる	
4回目	ブライダルシステムB版 招待客リスト作成:招待客人数・親族関係図・肩書きなどを理解し、リスト作成ができるようになる	
5回目	ブライダルシステムB版 衣裳店・引出物・引菓子の紹介:ブライダル会場の取引先との関連性を理解することができる	
6回目	ブライダルシステムB版 フェア案内:成約者のためのブライダルフェアの企画ができるようになる	
7回目	ブライダルシステムB版 招待状の手配:招待状受注時・発送時の注意事項を把握することができる	
8回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの提案:ブライダル装花・料理・ケーキ・写真の提案力を身に付けることができる	
9回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの決定:料理・ケーキ・演出・写真の受発注業務の流れを身に付けることができる	
10回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの決定:装花・衣裳の受発注業務の流れを身に付けることができる	
11回目	ブライダルシステムB版 挙式・披露宴進行パターン作成・スタイル別の挙式・披露宴の進行パターンを作成することができる	
12回目	ギフトプランナー 席次表作成 :招待客リストのアップロード～ギフト選択～席次表作成① : システムを使用して席次表を作成することができる	
13回目	ギフトプランナー 席次表作成 :招待客リストのアップロード～ギフト選択～席次表作成② : システムを使用して席次表を作成することができる	
14回目	★評価週	PC／システムを使用したテスト
15回目	振り返り	
準備学習 時間外学習		
評価方法	PC／システムを使用して実施	
受講生への メッセージ	この授業では、結婚式の正式申込の手続き～当日施行の詳細 までをシステムを通じて学んでいきます。実際のウェディングの現場で使用されているシステムです。結婚式の打合せの一連の流れを身に付けましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
PC使用・USB必須・ウェディングB版		

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 hospitality exercise	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
保育者養成校にて『子育て心理学』『発達心理学』『表現指導法』などの授業を担当。また、東京学芸大学の高尾隆准教授(現在は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)に師事、“Improvisation”の手法を学び、それを基にしたコミュニケーション技法に関するワークショップやセミナーを実施。							
【到達目標】 実践やワークを通して、接客業に必要なコミュニケーションスキルを身に着けることができる。 個人的な感情に左右されず、相手のことを考えた言動ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	導入や授業の内容説明を通して、授業の目的と到達目標について知ることができるようになる。
2回目	ブレインストーミングやKJ法について知り、実践することで考え方の多様性について知ることができる。
3回目	他己紹介:ホットシーティングの手法を活用して得た情報をもとに、他者を紹介できるようになる。
4回目	「聞き上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
5回目	インプロゲーム「Yes, and」「What is next?」を通して、コミュニケーションにおける「聞くこと」について考えることができる。
6回目	「話し上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
7回目	インプロゲーム 「リア・ハンド・ホップラ」「ジブリッシュ」「私は木です」「さしすせそ禁止ゲーム」を通して、身体を使ったコミュニケーションについて知る
8回目	「読み上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
9回目	インプロゲーム「最初と最後」を通して、自ら考える力をつけることができるようになる。
10回目	「書き上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
11回目	「ブラインドワーク」を行い、目で見たと以外を言葉に書き起こすことを通して印象に残る描写の方法を知ることができる。
12回目	自己理解を深める 自分史年表の作成
13回目	ペアトレーニング 互いを褒め合うことを通して、他者を知る手段を見つける
14回目	何年後かの「自分」へ
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルシステム	必修	選択必修	年次	2	担当教員	田中 香利
	Bridal system	授業		総時間	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	形態	講義	(単位)	2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 結婚式のプランナーが接客時に使用している【ブライダルシステム】を使用し、結婚式の【申し込み】～【当日】までの【打合せの順序】・【ブライダルアイテムの打合せ内容・発注業務】・【演出の企画や提案】・【見積書の提示】を学びます 【実務経験】 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダル業界における、見積書詳細・プランの成り立ち・接客における成約率や単価アップ率の算出方法、数字を根拠としたイベントの企画方法等、お金の流れを把握し利益につなげる考え方ができるようになる。							

授業計画・内容		
4月10日	自己紹介・授業内容説明 ブライダル業界におけるアイテム毎の単価設定表を作成し、その原価金額・利益金額の成り立ちを把握することができる	
4月17日	ブライダル業界におけるアイテム毎の単価設定とその原価金額・利益金額を把握し、一覧表を作成することができる	
4月24日	イベント毎の必要な費用、その算出方法を身に付けることができる	
5月8日	挙式のプランの成り立ち、原価率・販売価格を把握することだできる	
5月15日	挙式プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(神前挙式Ver)	
5月22日	挙式プランを作成することができる 原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(教会挙式Ver)	
5月29日	挙式プランを作成することができる 原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(人前挙式Ver)	
6月5日	挙式プラン詳細のPOPを作成、プレゼンテーション力を身に付けることができる (神前挙式・教会挙式Ver)	
6月12日	挙式プラン詳細のPOPを作成、プレゼンテーション力を身に付けることができる (人前挙式Ver)	
6月19日	披露宴のプランの成り立ち、原価率・販売価格を把握することができる	
6月26日	披露宴プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(ホテル・ゲストハウスVer)	
7月3日	披露宴プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(フリースタイルVer)	
7月10日	披露宴プランのPOPを作成し、プレゼンテーション力を身に付けることができる	
8月21日	★評価週	期末テスト 筆記試験
8月28日	振り返り	
準備学習 時間外学習	パソコン・USB持参	
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	ブライダル業界の数字に関わる授業は、就職後、即戦力として直ぐに活用できる内容です。数字を把握しているか、していないかで入社1年目から大きな差がつきます。少し難しいかもしれませんが、理解できるまで時間をかけてすすめていきますので、宜しくお願いいたします。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ブライダルシステムB版・パソコン・USB		

科目名 (英)	ブライダルマーケティング	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	田中 香利
	Bridal Marketing	授業	講義	総時間	30	開講区分	後期
	学科・コース	ホスピタリティビジネス科		形態	(単位)	2	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】ブライダル業界の現場で実際に使用されている【打合せシステム】を使用し、実践型の学習をします。就職後の即戦力となるスキルを身につけることができます。							
【実務経験】株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】							
■ブライダルシステムを使用し、席次表を作成ができるようになる イダルアイテムの販売構成・原価・利益などの数字を分析する力を身につけることができる							
■ブラ							

授業計画・内容		
10月3日	ギフトプランナー 招待客リスト～引出物セレクト～席次表作成までの一連の流れをシステムを使用して理解・把握・作成することができる	
10月17日	ブライダルフェア企画・集客目標を設定し、ブライダルフェアのイベント企画・スケジューリング力を身につけることができる	
10月24日	ブライダルフェアPOP作成 集客用のPOPを作成する力を身につけることができる	
10月31日	ブライダル見積書作成① ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月7日	ブライダル見積書作成② ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月14日	ブライダル見積書作成③ ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月21日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成①少人数フォト婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
11月28日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成②大人数婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
12月5日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成③リゾート婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
12月12日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る①	
12月19日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
1月16日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
1月23日	テスト対策 まとめ	
1月30日	★評価週	PC/ システムを使用したテスト
2月6日	★まとめ 振り返り	期末テスト 振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	PC／システムを使用	
受講生への メッセージ	学生時代に学べることは貪欲に学び、就職後の即戦力となるような授業内容ですすすめていきます。業界必須のスキルを身につけていきましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
PC／ブライダルシステムBbann		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	career program	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
サービス業のみならず仕事を自信のキャリアに変える為の考え方や、成長の進め方を様々なディスカッションを重ねる事で身に付けて行く事ができる。また自分の情熱や思いを正しくアウトプットできる自信とテクニックを学ぶ。							
【到達目標】							
自身の強み弱みを見極め、強みを引き出す事で自分の目指す業界へチャレンジする姿勢と考えを身に付ける事ができる。サービス業を軸としたサービスを自身の武器する事の大切さ、サービスでお金を稼ぐという意識と目標を見つける事ができる。							

授業計画・内容		
第1回	自己紹介を盛り込んだフリーディスカッション	
第2回	グループディスカッション（自分が社会に出る事の意味）	
第3回	グループディスカッション（仕事とは何か？仕事が自分に及ぼすものとは？）	
第4回	グループディスカッション（お金を稼ぐ事の意義）	
第5回	グループディスカッション（サービスが人に与えるメリットを考える）	
第6回	グループディスカッション（サービスでお金を稼ぐ為に大切な事は何か？）	
第7回	自分の目標を探すトレーニングを行う	
第8回	ポジティブシンキングの効果とその訓練	
第9回	ネガティブシンキングが影響するライフスタイルの悪化について学ぶ	
第10回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する	
第11回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する②	
第12回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する③ 全体でプレゼンする	
第13回	グループプレゼンテーションのトレーニング(自己表現スキルと伝える熱意のテクニック)	
第14回	★評価週	フィードバック
第15回	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	授業態度・出席50%、各種ワークシートの提出物50%	
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考と一緒に身に付けて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	career program	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界にてブライダルプランナーとして、新人研修を担当した実績のある専任教員が、キャリア教育を基に社会人基礎力の向上を目的に、3年間の本講義を通して3つの能力、12の要素を身に着けた人材を育成します。は学生相互の人間関係(コミュニケーション)を密にし、学生の自発的、自治的な活動を支援します。また、自己理解を深め、適切な進路選択ができるようにします。							
【到達目標】							
入社後の自分をイメージして後期を有意義に送ることができる。生活のリズムを整え、時間を有効に使うことができるようになる。 自ら挨拶ができ、人の話を聞き規律性を持った行動が出来る。 学生相互において適切なコミュニケーションを図ることができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、学科リーダー決め、英語でのロールプレイングを通じて外国人客とのコミュニケーションを取ることができる。（新倉・馬井）	
2回目	2023年4月の入社までの目標やTODOリストを作成し、後期の過ごし方をイメージすることができる。	
3回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ①	
4回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ②	
5回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ③	
6回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。日本の古典文化について	
7回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。日本映画について	
8回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。海外映画について	
9回目	特定の文化について自分の考えをプレゼンすることができる	
10回目	校外授業の準備を行う。福岡市の冬の観光スポットを事前に調べ福岡についてさらに興味を持てるようになる。	
11回目	校外実習をグループで行い、時間を意識して行うことができる。	
12回目	新春親睦会実施 最終学年年度のメンバーの親睦をより深め良好な人間関係を築き卒業までモチベーションを高くすることができる。	
13回目	企業プロジェクトの準備を進め、プレゼンテーションを80%以上仕上げることができる。	
14回目	★評価週	企業プロジェクトの準備を進め、プレゼンテーションを100%仕上げることができる。
15回目		卒業を考え、学生生活を振り返ることができる。授業アンケート実施
準備学習 時間外学習	毎週、時事についてミニプレゼンしてもらいますので、各自ニュースを見ておくように(国際、経済、政治、社会問題等)	
評価方法	出席と卒業制作展における、取り組み、貢献度で評価	
受講生への メッセージ	誰もがやっている仕事を、誰もがやらないレベルでやる	
【使用教科書・教材・参考書】		
適時講師が準備、コマによっては「新社会人の基礎力2023年度版」を持参すること		

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年バーテンダーとして業務を行い、自身のBARを経営する専任講師が実習や座学を通してわかりやすく、お酒やバーテンダーに必要な知識を学べる授業です							
【到達目標】 技術面では、シェーク(シェーキング)、ステア(パースプーンのステアの仕方)、グラスの持ち方、注ぎ方、グラスの出し方、シェーカーの洗いや拭き方。グラスの洗い方など、スマートにできるようになる。 バーの仕事に携わっても即戦力になるようにする。							

授業計画・内容		
第1回	(座学)バーとは、バーテンダーとは。(実技)バーツールの取り扱い方の応用編	
第2回	(座学)氷について、タイプ(実技)氷のカット、丸氷、ダイヤモンドカット	
第3回	(座学)焼酎、甲類焼酎と乙類焼酎の違い(実技)シェーク練習	
第4回	(座学)カクテルのアルコール度数の出し方(実技)ステア練習	
第5回	(座学)シェークについて分析(実技)ジンフィズ、トムマリンズの違い	
第6回	スタンダードカクテル制作(ホワイトレディ、バラライカ、X.Y.Z、マルガリータ)	
第7回	ステア理論(マティーニ、マンハッタン)ビルドカクテル(モスコミュール)	
第8回	(座学)リキュールの種類(実技)いろいろなシェーキング	
第9回	(座学)リキュールの種類(実技)フローズンカクテル制作	
第10回	生クリーム系のカクテル制作(グラスホッパー、ミリオンダラー)2層のカクテル	
第11回	(座学)バーテンダーとしての心構え復習(実技)シェーキング見直し	
第12回	(座学)酒類全般の基礎知識①(実技)ステア見直し	
第13回	(座学)酒類全般の基礎知識②(実技)目分量の練習	
第14回	★評価週	スタンダードカクテルによる実技試験
第15回	★まとめ・追試/再試	スタンダードカクテルによる実技試験
準備学習 時間外学習	授業で学んだシェークとステアの技術をイメージトレーニングする。 スタンダードカクテルレシピを暗記する。	
評価方法	10段階評価による実技試験と、酒類全般の筆記試験を期末に行います。	
受講生への メッセージ	バーテンダーとしての所作、知識、お客様との距離感を1年生の時よりも応用力がつけられるようになる。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant service skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。 【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 過去問題を解き出題をテキストから探し出すことが出来る 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容		
1回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
2回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
3回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
4回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。	
5回目	中間試験対策	
6回目	中間試験・筆記	
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
12回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
13回目	期末試験対策	
14回目	★評価週	
15回目		
準備学習・時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	
【使用教科書・教材・参考書】		
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接遇サービス技法		

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。 【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容		
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。	
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。	
14回目	★評価週	
15回目		
準備学習・時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	
【使用教科書・教材・参考書】		
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法		

科目名 (英)	ブライダル演習	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal exercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
接客シミュレーションを中心にを行い、一連の流れを理解し衣裳の専門的な知識を身につける							
【実務経験】 TAKAMI BRIDALにて約8年半の実務経験有。社内資格として、チーフ・インストラクターの資格有。後輩指導やチーフ試験官などを経験。							
【到達目標】							
実践に近づいたコーディネイトや接客・提案ができるようになる							

授業計画・内容		
1回目	スタイリストの業務内容の復習とブライダル業界においてのスタイリストの立ち位置について学ぶ	
2回目	ドレスの勧め方についてお客様のご要望や会場に合ったドレスをご提案できるようになる	
3回目	実践でドレスのサイズ感について（妊婦様など）学ぶ	
4回目	タキシードのすすめ方について、お客様のご要望やドレスに合ったタキシードをご提案できるようになる（ロープレ）	
5回目	和装の試着方法と接客の流れを学ぶ（ロープレ）	
6回目	前回の復習を兼ねてお客様のご要望に沿ったご提案や柄の説明ができるようになる	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストの答案返却とその解説	
9回目	コラージュ作成 衣裳と会場のテーマをそれぞれ決めてコラージュを作成する	
10回目	先週のコラージュ作成を元に一人ずつ発表（プレゼン）する 会場・衣裳の提案ができるようになる	
11回目	【衣裳店研修】 TAKAMI BRIDALの店舗にて衣裳店の雰囲気や商品を見て学ぶ	
12回目	お客様のお出迎えからカウンセリング・衣裳提案までの流れをできるようになる（ロープレ）	
13回目	次週の試験の試験範囲の説明と実技試験の練習を行います	
14回目	★評価週	筆記試験と実技試験の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	先週の答案用紙返却と解説
準備学習 時間外学習		
評価方法	●中間試験・期末試験（筆記・実技）	
受講生への メッセージ	スタイリストとして大切な知識をたくさんつめこんだ授業内容です。素敵な未来に向かって一緒に頑張っていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。		

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal Items	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
前期で学んだ衣装に関する基礎知識をもう一度しっかり復習し、自分の知識として定着させる。 基礎を踏まえた上で、衣装に関する実践的な知識を学ぶ。 ※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダースタylistと東京のオーダードレスショップ「チューレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 衣装に関する基盤をしっかりとした定着させ、2年生での応用に対応出来るようになる。							

授業計画・内容		
10月7日	ドレスライン、素材、ブーケ等の復習	
10月14日	実習室内のドレス、タキシードカルテを製作する①	
10月21日	〃 ②	
10月28日	〃 ③	
11月4日	〃 ④	
11月11日	新婦に必要なウォーキング&美姿勢を学び、新婦へのアドバイスが出来るようになる	
11月18日	品出し、アイロンやスチームがけについて学ぶ	
11月25日	イメージ別トータルコーディネートを学ぶ(グループワーク)①	
12月2日	〃 ②	
12月9日	NYBFW(ニューヨーク・ブライダル・ファッションウィーク)について学ぶ	
12月16日	NYBFWについてのレポート作成をする	
1月13日	シューズなど小物のお手入れについて学ぶ	
1月20日	期末試験準備	
1月27日	★評価週	
2月3日	卒業生講和	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験(レポート) 期末試験(実技)	
受講生への メッセージ	前期は衣装に関する基本の「き」を学びました。後期はその基盤をしっかりと自分のものにし、2年生で実地応用できるようステップアップしていきましょう！どうぞよろしくお願いいたします！！	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用いたします。		

科目名 (英)	カメラワーク・テクニック	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	camera work & technique	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【中村 允宣】 2014年映像制作会社に入社。それをきっかけに写真を学ぶ。2018年より092photo.comの代表に就任。2021年に092photoを譲渡され自身の会社となる。 2024年2月に092photoとは別事業であるブライダル事業を始める。前撮り専門サロンとして「ROLL7WEDDING」を設立。 今は東京、大阪、福岡を拠点に写真、映像業とブライダル業を営んでいる。 【中尾 茉奈】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて約10年模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランドの展示会、ストックフォト等にモデルとして携わった。							
【到達目標】 実際に写真撮影の実施やプロのカメラマンとの実践を通して、フォトウェディングについて知ることが出来るようになる							

授業計画・内容		
1回目	授業内容の説明・到達目標の設定	
2回目	テーマ「自分の好きなもの」雑誌や画像の切り抜きを活用し、テーマに沿った作品を作ることが出来る。	
3回目	相モデルになり互いの写真を撮る①学内での撮影場所、撮影の方法などを考えて撮影の計画を立てることができるようになる。	
4回目	相モデルになり互いの写真を撮る②学内で撮影実施 スマートフォン使用	
5回目	相モデルになり互いの写真を撮る③撮影した写真の簡単なレタッチができるようになる	
6回目	フォトウェディング①フォトウェディングの進行方法について知ることが出来る。3人グループをつくる	
7回目	フォトウェディング②グループ内で撮影指示書を3種類作成する	
8回目	専門授業を通じてフォトウェディングというものを理解し説明することができるようになる。	
9回目	フォトウェディング業とは何か。フォトウェディングに大切なこと、接客に必要なことを理解し説明ができるようになる。	
10回目	フォトウェディング業に必要な写真のスキル、撮り方、ポイントを理解し説明ができるようになる。好きな写真を次回までに撮影してきてもらう。	
11回目	実際に撮った写真のプレゼン、説明をしてディスカッションを行う。別教室を使用し実際に撮影を行う。撮影に対して理解し説明することができるようになる。	
12回目	フォトウェディング業に必要なことと写真の撮り方の復習。しっかりとこの二つを理解でき説明ができるようになる。	
13回目	フォトウェディング①フォトウェディングの進行方法について知ることが出来る。3人グループをつくる	
14回目	フォトウェディング②グループ内で撮影指示書を3種類作成する	
15回目	★まとめ・追試/再試	作品発表会
準備学習 時間外学習	スマートフォン	
評価方法	出席率50%、作品完成度50%	
受講生への メッセージ	初めまして。私が今回講義をさせていただく事となりました、中村です。本講義を通じてフォトウェディングとは何か、写真の撮り方などについて理解して頂き本講義を通じて一人でも多くの方にフォトウェディング業へ興味を持って頂きたいと思っています。将来、一人でも多くの方がこの道へ進みたいと思って頂けるような講義をさせて頂ければ幸いです。□	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	映像編集実習 Video editing exercises	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像制作技術を有する教員が、ブライダルアイテムのひとつである映像実習授業を展開し、どういった映像を制作するのか、立案から完成までのプロセスを身に付けます。 ※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】							
映像を制作するスキル、ソフトの使い方等を必要最低限身に付け、スケジュールの組み立て、クオリティの確保を経験し、映像制作ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる①(写真を使った簡単な操作方法)	
2回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる②(写真を使った簡単な操作方法)	
3回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる③(テロップを用いて簡単な操作方法)	
4回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる④(動画を使った簡単な操作方法)	
5回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる⑤(動画を使った簡単な操作方法)	
6回目	映像制作ソフト（プレミア）の機能理解・操作方法について理解できる⑥(動画を使った簡単な操作方法・それぞれの作った映像を見	
7回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る①	
8回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る②	
9回目	素材撮影・映像制作が出来る①	
10回目	素材撮影・映像制作が出来る②	
11回目	素材撮影・映像制作が出来る③	
12回目	素材撮影・映像制作が出来る④	
13回目	素材撮影・映像制作が出来る⑤	
14回目	★評価週	完成映像の提出
15回目		総評・まとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	テスト(映像提出による完成度)にて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
PC数台・PCソフト(Adobe premiere pro)		

科目名 (英)	JMA検定2級対策	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	JMA test grade 2	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
JMA2級合格に必要なメイク知識、技術を習得できる。メイクの基礎技術を向上させ、ブライダルの現場で生かせるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	JMA2級について理解し、メイクを始める前の必要な知識を習得できるようになる。
第2回	スキンケア復習 手指消毒～乳液・美容液までのテクニックを実践できるようになる。
第3回	JMA 2 級ベースメイクの作り方を理解し、実践できるようになる。
第4回	スキンケア～2級ベースメイク復習 アイブロウの基本的な描き方を知り、実践できるようになる。
第5回	2級ベースメイク・アイブロウ復習 アイメイクの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
第6回	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 前回よりも美しくスムーズに仕上げることができるようになる。
第7回	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 リップの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
第8回	2級ベースメイク～ポイントメイク実技 ポイントメイクを美しく仕上げられるようになる。
第9回	JMA 2 級内容をスムーズに美しく仕上げることができるようになる。
第10回	ポイントメイク強化 ポイントメイクを美しく仕上げることができるようになる。
第11回	JMA2級内容を、決められた時間内でスムーズに美しく仕上げることができるようになる。(要モデル)
第12回	JMA2級内容を前回よりもスムーズに美しく仕上げることができるようになる。(要モデル)
第13回	JMA2級内容を50分以内で美しく仕上げることができるようになる。
第14回	JMA2級内容を50分以内で仕上げることができるようになる。
第15回	定期試験 (JMA 2 級検定兼ねる)
準備学習 時間外学習	3級内容の復習、時間外での練習も必要です。たくさん練習して、臨んでください。
評価方法	定期テスト(2級検定を兼ねる) 手順・手技が正しいか、仕上がりは美しいか、マナーはよいか、など総合的に評価します。検定試験は100点満点中80点以上合格です。
受講生への メッセージ	3級に続いての検定試験です。3級で習得したテクニックはもちろん、その上の知識・技術が必要になってきます。難しい課題ですが、練習すれば練習した分必ず上達します。自信を持って、取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
メイク道具一式、JMA2・3級テキスト・消耗品など	

科目名 (英)	ヨガ yoga	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】 ・ホットヨガスタジオLAVAにて1回30名の方へ向けたレッスンを1年間で約480本担当。 ・福岡スクールオブミュージック高等専修学校にて半期授業担当。 ・ASANAMANDALA YOGA TTC80Hを2回、シータヒーリング基礎&応用、筋膜リリースヨガ養成講座、チェアヨガ養成講座、アーユルヴェーダホリスティックアドバイザー ・じっくりと丁寧な誘導をおこない、自分の内側と向き合っていけるような授業に最善を尽くします。 ・ヨガのポーズにこだわることなく、無理なく、今を大切にしていけるような授業を実施いたします。 ・ヨガのポーズの実践を繰り返し、心と体の変化を探索する							
【到達目標】 ・自分自身を向き合う能力が高まり、人と比べることなく自己肯定感が増えている状態							

授業計画・内容		
1回目	【ヨガ体験】挨拶、ヨガ体験(先ずは楽しく体を動かして、一つのことに集中する時間をとる)	
2回目	【ヨガの歴史】ヨガのルーツを知る & ベーシックヨガ ができるようになる	
3回目	【呼吸法】ヨガ呼吸法の紹介 & スローヨガ ができるようになる	
4回目	【肩こり改善ヨガ】肩こりになる原因の紹介 & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
5回目	【骨盤調整ヨガ】腰痛になる原因の紹介 & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
6回目	【瞑想】瞑想とは & アドバンスヨガ ができるようになる	
7回目	【心のケア】苦悩になる考えと苦悩にならない考え & ベーシックヨガ ができるようになる	
8回目	【体のセルフケア】肩こり改善のためのセルフケア & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
9回目	【心のケア】言葉と思考の持つパワー & アドバンスヨガ ができるようになる	
10回目	【体のセルフケア】腰痛改善のためのセルフケア & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
11回目	【ヨガ哲学】八支則の紹介 & ベーシックヨガ ができるようになる	
12回目	【ヨガ哲学】継続は力なり & アドバンスヨガ ができるようになる	
13回目	【ヨガ哲学】アヒンサー(非暴力) & フローヨガ ができるようになる	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	ヨガ 総まとめ 試験予備
準備学習 時間外学習	特にありません。	
評価方法	筆記試験 100%	
受講生への メッセージ	みなさんこんにちは。ヨガのポーズをとって、呼吸をして、楽しい時間を過ごしませんか。ヨガを続けていくことで、心と体が安らぎ、人と比べることなく自分自身と向き合う時間が自信へとつながり、イキイキと輝く学生生活となりますように。と願っています。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント配布、プリント対応。		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間の小中学生への学習指導を続ける専任教員が、一般企業の70%以上で実施している『一般常識テスト』に合格するためのトレーニングを行う。「一般企業の70%が実施している」ということは、裏を返せば、30%の企業では、「知っていて当たり前。知らなくても入社後、新聞購読などで身に付け、問題意識を持ち続けるべき最低限の内容」ということで、このようなテストがない企業も多数あることを、まず理解し、「社会人になるための第一歩」として取り組むこと。とはいえ、内容は広範囲に渡り、本来、授業で身に付けるようなものではないことから、学校の図書室、職員室での新聞閲覧など、ネットニュース以外での情報収集に日ごろから努め、自分なりの意見と、そこから、自分自身の行動に、どうつなげるかを考え、高度な面接にも堪えられる思考力の育成にも資するものとする。							
【到達目標】							
SPI・一般常識・時事問題を学び知識の習得をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
2回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
3回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
4回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
5回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
6回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
7回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
8回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
9回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
10回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
11回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
12回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
13回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
14回目	★評価週
15回目	まとめ 授業のふりかえり
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%(出席・態度不問)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
必要なものを、その都度、お渡しします。	

科目名 (英)	ビジネス英会話 Business English conversation	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	講義 演習	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で手助けができる。 You'll be able to offer help in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	街を歩き回り、道案内をすることができる。 You'll be able to get around town and give directions.
2回目	公共交通機関を使って道案内をすることができる。 You'll be able to give directions using public transportation.
3回目	計画や意図を説明できる。 You'll be able to describe plans and intentions.
4回目	行動の結果について話すことができる。 You'll be able to talk about consequences of actions.
5回目	現在と過去のことについて説明できる。(パート 1) You'll be able to describe ongoing past activities.(part 1)
6回目	現在と過去のことについて説明できる。(パート 2)。 You'll be able to describe ongoing past activities.(part 2).
7回目	過去と未来の能力を表現できる。 You'll be able to express past and future ability.
8回目	過去と未来の義務を表現できる。 You'll be able to express past and future obligation.
9回目	健康や診察について相談できる。 You'll be able to talk about health and medical examinations.
10回目	栄養や医療について相談できる。 You'll be able to talk about nutrition and medical advice.
11回目	今後の活動について説明できる。 You'll be able to describe future activities.
12回目	電話で計画を立て、サポートを提供できる。 You'll be able to make plans by telephone and offer help.
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	★まとめ・追試/再試 理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25% Final test 75% , Participation in class 25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the
【使用教科書・教材・参考書】	
SIDE by SIDE Book & Text 2	

科目名 (英)	韓国語	必修 選択	必修選択	年次	2,3	担当教員	
	Korean I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げ、講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークに韓国語を学んで頂いております。							
【到達目標】							
挨拶、自己紹介、とプラスで何か言える所まで行けるように。就職試験のひとつの武器に韓国語がなっていけるようにを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	韓国語で自己紹介してみよう！名前、年、出身地、趣味、好きな食べ物を紹介できる
2回目	韓国語の仕組みと母音を学び理解できる①
3回目	子音を学び理解できる①
4回目	子音を学び理解できる②
5回目	母音を学び理解できる②
6回目	パッチム(〈子音+母音+子音〉などで構成される音節で最後の音をあらわす子音または子音字母。終声)について理解できる
7回目	ここまでのまとめ小テスト&ゲーム通して発音についての理解を深める
8回目	色々な単語の勉強と会話を通して理解を深めることができる
9回目	色々な数字の勉強を通して理解を深めることができる
10回目	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学び、理解を深めることができる
11回目	今までの総まとめのテストとk-popソングやゲームを通して造詣を深める
12回目	好きな文章を韓国語で作って発表することができる。1日目(時間があればk-popソングもう1曲使って造詣を深めることができる)
13回目	好きな文章を韓国語で作って発表することができる。2日目(時間があればk-popソングもう1曲使って造詣を深めることができる)
14回目	試験
15回目	まとめ 授業の振り返り
準備学習 時間外学習	復習
評価方法	テストと参加態度
受講生への メッセージ	韓国語は日本語と文法が同じで発音がほぼ同じものもあるくらいスツと入ってしやすい外国語です！！口をよく動かします。発音だけ最初慣れるまで練習が必要ですので口の体操よくしといってください！！授業が進むと複雑になって混乱するときはその都度細かいことでも必ず質問してもらって、クリアにしてから次のステップに行きましょう！！とにかく肩の力を抜いてリラックスして楽しく授業していきましょう！！！！

科目名 (英)	企業プロジェクト corporate collaboration project	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。 実施授業：ブライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。昨年度の同授業で先輩が企画したものをベースにさらに精度を高めた提案をすること。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・生徒他己紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有	
2回目	株式会社サウスポイント様よりIT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。	
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。	
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。	
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。	
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。	
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。	
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション	
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
14回目	★評価週	株式会社サウスポイント様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試	講評
準備学習 時間外学習		
評価方法	プレゼンテーション	
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚 campus marriage	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルシステムの授業で学んだ知識をもとに、アウトプットがメインの内容で進めてまいります。 接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を見つけるために、ロールプレイング(結婚式の打ち合わせの流れや)を行うことで、人前で話すことの恥ずかしさを払拭し、お客様の前で堂々とトークができるようになることを身につけていただきます。 また、時代に沿った接客スタイル(リモート接客)を実際に行うことで、難しさを体感した、プレゼン力も身につけることができる内容で進めてまいります。 ※実務経験 法人営業やホテル・ブライダル業界10年以上キャリア。現在はウェディングプランナー育成に携わっている。							
【到達目標】 恐怖感・不安感を持たず、人前で話すことができる 打ち合わせ時にお客様へのヒアリングとご提案ができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業内容の説明、自己紹介(自分自身を商品に例えプレゼンを行う)を行うことでプレゼン力を身につけることができる	
2回目	1年次で学んだ結婚式の打ち合わせの流れを提示、説明ができる	
3回目	ヒアリングのポイント・コミュニケーションのポイントを身につけることができる	
4回目	クローージングのポイント・課題分析のポイント・打ち合わせのスケジュールリング(タイムスケジュール作成)のポイントを身につけることができる	
5回目	求められる5つの基本能力(①プレゼンテーション能力②ヒアリング能力)のポイントを身につけることができる	
6回目	求められる5つの基本能力(③コーディネート力④営業力⑤問題解決能力)のポイントを身につけることができる	
7回目	中間テスト	
8回目	①リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
9回目	②リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
10回目	①新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
11回目	②新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
12回目	作成したコラージュをもとに提案力を身につけることができる	
13回目	不安や悩み対策としてのトーク力を鍛えることができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テストのフィードバック
準備学習 時間外学習		
評価方法	ロールプレイング方式90% 授業に対する意欲10%(発表回数など)	
受講生への メッセージ	接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を身につけていきます。 お客様の前で話す事への不安な気持ちを払拭し、質の高い接客力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	campus marriage	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 昨今需要が増しているフォトウェディングについて、新しいフォトプランを考案し、スタジオネスト様に提案。 商品化を目指す。 あ・うん企画様のご協力のもと、新型コロナウイルスの影響で、婚礼を延期を余儀なくされている新郎新婦様に向けて、フォトウェディング(前撮り)を提案する。 学生とフォトウェディングをすることのメリットをお2人にプレゼンテーションし、自らの力でお客様との契約を目指す。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたフォトプランを企画立案し、提案すること。 フォトウェディングのお客様の成約と当日まで企画・運営。							

授業計画・内容		
1回目	本プロジェクトの経緯と目的が理解できる / 対象お客様のご紹介	
2回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる① / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
3回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる② / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
4回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる③ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
5回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる④ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
6回目	（予定）（6回目）1組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
7回目	（予定）（7回目）2組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
8回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
9回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
10回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
11回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
12回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
13回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
14回目	★評価週	※フォト撮影は9～10月頃でしょうか。
15回目	★まとめ・追試/再試	後期は経験を踏まえて、スタジオネスト様と商品化へ向けての企業プロジェクトとする
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート	
受講生への メッセージ	お客様のご都合に合わせて、打合せを組んでいきます。 お客様にもお仕事や普段の大切な生活があります。 打合せが土日に入る場合もありますので、クラスメイトと協力しながらお客様の記憶と記録に残る1日を作りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プライダル業界経験24年の専任講師が、キャリア教育で必要とされる、自己肯定感を高め、アクティブラーニングができ、1年間の集大成として、チームワーク力を活かし模擬披露宴を完成させることができる							
【到達目標】 協調性、チームワーク力を活かし、1年間の集大成としてチームでひとつの模擬披露宴を完成させる。							

授業計画・内容		
1回目	・授業内容把握、チームで何かを成し遂げるために必要なこと5カ条をグループワーク。	
2回目	チーム分け、新郎新婦の設定から、披露宴のテーマをチームで導き出すことができる。	
3回目	披露宴に必要な役割を考え、チーム内で役割分担をすることができる。	
4回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
5回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
6回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
7回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
8回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
9回目	中間発表	
10回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
11回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
12回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
13回目	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する	
14回目	★評価週	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
15回目	★まとめ・追試/再試	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ペーパーアイテム Paper items	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース/ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション・アパレル業界で企画や製造等を担当し、服飾デザイン・製作に関する知識を有する教員が、ワイヤーアクセサリ製作/水引などブライダルに関連するアイテムの制作過程を教える。 ブライダル業界に必須であるペーパーアイテム(招待状、席次表)を実際に制作することで、1年次に習得した知識をアウトプットする。 ※実務経験__メーカーにて製品の企画、デザイン、製造に携わる							
【到達目標】 ブライダル業界のトレンドを学び、ブライダルに関わる多様なアイテム知識の向上を図る。 ペーパーアイテムやワイヤーアクセサリ(ヘッドアクセサリ)を作ることができるようになる。刺繍ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・授業の到達目標の確認(ワイヤーアクセサリー)・ワイヤーアクセサリー資材の配布と道具の確認	
2回目	ワイヤーアクセサリー製作(パールの基本パーツが作成できる)	
3回目	ワイヤーアクセサリー製作(ビーズの基本パーツが作成できる)	
4回目	ワイヤーアクセサリー製作(葉っぱの基本パーツが作成できる)	
5回目	ワイヤーアクセサリー製作(固定パーツの作成、パーツ組み合わせの全体像をバランスを見ながら決めることができる)	
6回目	ワイヤーアクセサリー製作(全体を組み合わせで完成させることができる)・提出	
7回目	授業の到達目標の確認(刺繍)・刺繍の資材の配布と道具の確認、基本のステッチ練習:ストレートステッチ、ランニングステッチ、バックステッチができる	
8回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:アウトラインステッチ、サテンスステッチ、レゼーデージーステッチができる)	
9回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:チェーンステッチ、フレンチノットステッチ、フリスステッチができる)	
10回目	婚礼に必要なペーパーアイテムを理解する	
11回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ①	
12回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ②	
13回目	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる①	
14回目	★評価週	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる②
15回目	★まとめ・追試/再試	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる③
準備学習・時間外学習		
評価方法	製作物の提出	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
製作の手順をまとめた資料を準備します。		

科目名 (英)	ブライダルコーディネート検定3級	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美
	Bridal coordination examination level 3	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 クに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
株式会社ラッ							
【到達目標】							
2024年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる（2024年1月24日第4水曜日予定）							

授業計画・内容		
1回目	前年度の振り返りと小テスト(決意表明をし今後の取り組みに意識を持たせる)	
2回目	第3章 ブライダルセールスの特徴 第4章 ホスピタリティ営業 第5章 プランニング(P107～P112)	
3回目	第6章 プレゼンテーションの手法 第7章 新規アフターフォロー 第8章 成約業務(P113～P118)	
4回目	第9章 ペーパーワーク、打ち合わせ業務 1章、2章、3章、4章(P119～P128)	
5回目	コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第1章 コーディネート 第2章 衣装選定(P130～P138)	
6回目	3. 花婿の洋装と洋装小物 4. 和装の基本、中間テスト告知	
7回目	前週の衣装のまとめが理解できる	
8回目	中間テスト 解答と解説が理解できる	
9回目	第3章 ブーケ、フラワーアイテムの選定 3. フラワーアイテム 4. 会場装花 5. 両親への花束(P148～P153)	
10回目	前週のブーケのデザイン小テストで理解できるようになる	
11回目	第4章 ヘアメイク、ネイルアート 第5章 会場コーディネート 第6章 テーブルコーディネート(P154～P161)	
12回目	2. テーブルクロスとナプキン 3. 4. 5 第7章 ペーパーアイテム、ウェルカムアイテム(P161～P166)	
13回目	第8章 料理、飲物(1.フランス料理 2.日本料理 3.折衷料理 4.イタリア料理 5.中華料理) (P168～P173)	
14回目	★評価週	前期の振り返りと期末テスト告知の理解ができる
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト 解答と解説の理解ができる
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	中間テスト 50%	期末テスト 50%
受講生への メッセージ	2年目のコーディネート技能検定の授業です。ブライダルは必要な専門知識が不可欠です。前期で幅広くなりますががんばりましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal coordination examination level 3	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 2023年1月25日(水)の検定(国家資格)に合格する							

授業計画・内容		
1回目	Lesson7 手配業務 第1章:ペーパーアイテムの手配. 第2章:衣装・ヘアメイク・着付け(P188～P194)	
2回目	第3章:挙式と披露宴の演出手配. 第4章:引出物・引菓子の手配.第5章: (P195～P202)	
3回目	第6章:装花の手配 Lesson8 当日の業務 第1章～第2章～第3章(P203～P216)	
4回目	第4章:テーブルセッティング. 第5章:当日のサービス業務(P217～P228)	
5回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2015年度)	
6回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2016年度)	
7回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2017年度)	
8回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2019年度)	
9回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2018年度)	
10回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2019年度)	
11回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2020年度)	
12回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2020年度)	
13回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2021年度)	
14回目	★評価週	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2021年度)
15回目		検定試験の解答と振り返り
準備学習 時間外学習	特にありませんが、10月24日が試験手続き日ですのでよろしくお願い致します	
評価方法	過去問題の平均点数を中間と期末の評価とする	
受講生への メッセージ	2年間の集大成の後期となりました。実技(50問)と筆記(15問)共に合格を目指してください	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
	Work Seminar	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【到達目標】							
10回のロールプレイで苦手意識を取り除くことが出来る。面接の限られて時間の中で自分のことを自分の言葉で活き活きと語れることが出来るようになる。							
授業計画・内容							
1回目	今後のスケジュールの把握。第一印象の大切さを学ぶことが出来る。(入室Aのロールプレイ)①						
2回目	中間テストの説明・履歴書作成のポイントと知ることが出来る。入室Bのロールプレイ②						
3回目	最新の就職試験状況とコンピテンシー面接について知ることが出来る。簡単な自己紹介のロールプレイ③						
4回目	ロールプレイ①～③の復習と面接に適した椅子の座り方について学ぶことが出来る。ロールプレイ④						
5回目	履歴書長所・短所面接時のアイコンタクトのポイントを知ることが出来る。長所と短所のロールプレイ⑤ 履歴書と30秒の自己PRを作成することが出来る。自己PR⑥						
6回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。						
7回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。(1週目)						
8回目	グループワークを通して志望動機のつくり方を知ることが出来る。(2週目)						
9回目	履歴書のおさらい・採用側からのチェックポイントと知ることが出来る。退出のロールプレイ⑦						
10回目	ロールプレイ①～⑦の復習を行い苦手な場面を知る。面接時の言葉遣いについて学ぶことが出来る。						
11回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。						
12回目	ロールプレイ⑧受付、待合室、会社説明会での注意事項を知ることが出来る。						
13回目	ロールプレイ⑨電話の受け方、かけ方、メールのしかた、礼状の書き方を学ぶことが出来る。						
14回目	ロールプレイ⑩入室から退出までと質疑応答1-2を通じて自身のレベルを把握することが出来る。						
15回目	まとめ						
準備学習 時間外学習							
評価方法	・履歴書の完成度(30点)・ロールプレイ評価(20点)・実技(50点)						
受講生へのメッセージ	就職試験は本来はコワイものではなくアラタな出会いでわくわくするものです。長く働ける自分の肌に合った企業と一緒に探していきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	後期
		授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実践的に、面接練習や就職活動のシミュレーションを行っていきます。また、授業中の会話は全て敬語というルールを設けることで、面接だけでなく、社会人としても恥ずかしくない言葉力を身につけます。 ※実務者経験: 自身の就職活動実績としては、大学3～4年時、全国のマスコミ、東京の一般企業の面接を多数経験。おもちゃメーカー＆商社内定(辞退)、NHK高知放送局キャスター、NIB長崎国際テレビアナウンサー、RKB毎日放送アナウンサー勤務。現在はフリーアナウンサーとして、専門学校、大学生、アナウンサー志望生への面接指導、西鉄株式会社などの新入社員研修、社会人の話し方講師も担当。また全日空ホテル、ホテル日航ハウステンボス、THE VILLAS福岡など、結婚式や式典司会などで、ブライダル業界での仕事経験もあり。							
【到達目標】 面接までのシミュレーションがスムーズに行えること。目が泳がない、ハキハキ答えらる、好印象を与えられる。就職活動を通して、面接だけでなく、社会人として恥ずかしくない敬語の使い方やマナーを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介・就職活動の流れ	
2回目	事前の企業への電話～面接当日までのシミュレーション	
3回目	第一印象と入退室、自己紹介、目線や声の大きさなどノンバーバルの大切さ	
4回目	自己分析の大切さとエントリーシートの書き方復習	
5回目	敬語とビジネスマナー	
6回目	面接練習～志望動機と自己PR・長所と短所	
7回目	中間評価(グループ面接)	
8回目	よくある質問、PREP法を用いた答え方をしてみよう	
9回目	グループディスカッション①	
10回目	グループディスカッション②	
11回目	圧迫面接	
12回目	雑談系面接	
13回目	前期の総復習(足りないところを補う)	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習・時間外学習	自己PR作成や履歴書など、授業内に終わらなかった生徒は宿題にする可能性もあります。夏期休暇中には、読書感想文の宿題を出します。(語彙力を増やすためと、最近読んだ本は？という質問にきちんと答えられるようにするため)	
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント配布。		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal Fair Planning	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルフェアの意図を知り、集客方法・企画の立案全てをトータル的に実施できるように導きたい							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルフェアの意味・意図を考え理解し説明できる	
2回目	ブライダルフェアのメリット・デメリットを理解し説明できる	
3回目	ブライダルフェアの集客方法を考え理解し説明ができる	
4回目	ブライダルフェアの当日までのスケジュールと役割を考え理解し説明ができる	
5回目	模擬ブライダルフェアのチームを、ABC3チームのグループで考え理解し説明ができる	
6回目	模擬ブライダルフェアのスケジュールの立案を理解し説明ができる	
7回目	模擬ブライダルフェアの企画を各チームにて考え理解し説明ができる	
8回目	模擬ブライダルフェアをコラージュ作成で見える化の実現を考え理解し説明ができる	
9回目	模擬ブライダルフェアの企画を各チームごとにプレゼンする(全員で評価)	
10回目	Ⅰ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる	
11回目	Ⅱ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる	
12回目	Ⅲ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成し仕上げ理解し説明できる	
13回目	Ⅳ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成し仕上げ理解し説明できる	
14回目	★評価週	模擬ブライダルフェアのコラージュ作成発表を理解し説明できる
15回目		後期の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	各チームにての評価100%	
受講生への メッセージ	模擬ブライダルフェアを通して、プレゼン力・コミュニケーション力・知識力を高めましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
講師配布		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画	必修 選択		年次	2	担当教員	
	Bridal Fair Planning	授業 形態		総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ・ロールプレイングの必要性 ・プランナーとして第一印象から入る身だしなみ、言葉遣い、話し方 ・実際の新郎新婦に接し又関わり、スムーズな遂行が出来る体験を実施							
【到達目標】 ブライダルフェアの意図を知り、集客方法・企画の立案全てをトータルのに実施できるように導きたい							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 授業の進め方、評価方法の告知、ロープレ説明	
2回目	接客シミュレーションの必要性を個々で考える	
3回目	プランナーとしての自己紹介と名刺交換と接客用語 ABCテキスト(P28)	
4回目	自分の苦手ポイントの強化をし、ロープレで自信をつける	
5回目	チャペル案内の基礎ロープレ ①立ち位置、動線、時間	
6回目	チャペル案内の基礎ロープレ ②メリット、デメリット、他社の強み	
7回目	模擬テスト（チャペル案内の接客シミュレーション）	
8回目	新規接客への印象づくり ①言葉遣い、身だしなみ、立ち方、座り方	
9回目	新規接客への印象づくり ②自己のテンション向上、オウム返しで変わる事	
10回目	新規接客への印象づくり ③知識力の発揮、プレゼンテーション力	
11回目	新規ヒアリング対応 ①資料請求時 ②問合せ（メール、電話、エージェント）	
12回目	来館時ヒアリング ①予約客 ②直接来館 ③試食会（ABCテキストP40～41）	
13回目	アンケート記入依頼 ABCテキスト（P42～42）	
14回目	★評価週	来館アンケート記入の依頼と記入方法の促し方法
15回目	★まとめ・追試/再試	前期振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ	模擬ブライダルフェアやロールプレイングを通して、プレゼン力・コミュニケーション力・知識力を高めましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
ABC検定教本、参考資料は配布		

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東 淳子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。							曜日・時限 木曜日4限目
【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。							

授業計画・内容	
1回目	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。
2回目	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。①
5回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①
7回目	中間テスト
8回目	盆中の道具の扱い方②
9回目	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってお菓子の取り方を知ることが出来る。(干菓子)
10回目	薄茶の立て方を知る (実際に自分で点ててみる①)
11回目	薄茶の立て方の復習 (実際に自分で点ててみる②)
12回目	薄茶を点てる人(亭主)頂く人(お客)に分かれて体験することが出来る。
13回目	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。(生菓子)
14回目	★評価週 期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試 期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト(50%)期末テスト(50%)
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ブライダルシステム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal system	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】現役のブライダルプランナーが接客時に使用するシステムで、正式予約受付～当日施行までの打合せの流れを学ぶ 【実務経験】株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダルシステムを使用し、結婚式の正式予約受付～結婚式企画・ブライダルアイテム打合せ／発注業務～結婚式当日の施行詳細までの流れを学ぶ							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルシステムB版 初期設定～システム概要説明:打合せの全体の流れをシステムの詳細を通じて把握することができる
2回目	ブライダルシステムB版 規約説明:結婚式の正式予約時に必要な注意事項や手続きの流れを理解することができる
3回目	ブライダルシステムB版 WEDDINGスケジュール:正式予約～当日までのスケジュールを把握することができる
4回目	ブライダルシステムB版 招待客リスト作成:招待客人数・親族関係図・肩書きなどを理解し、リスト作成ができるようになる
5回目	ブライダルシステムB版 衣裳店・引出物・引菓子を紹介:ブライダル会場の取引先との関連性を理解することができる
6回目	ブライダルシステムB版 フェア案内:成約者のためのブライダルフェアの企画ができるようになる
7回目	ブライダルシステムB版 招待状の手配:招待状受注時・発送時の注意事項を把握することができる
8回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの提案:ブライダル装花・料理・ケーキ・写真の提案力を身に付けることができる
9回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの決定:料理・ケーキ・演出・写真の受発注業務の流れを身に付けることができる
10回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの決定:装花・衣裳の受発注業務の流れを身に付けることができる
11回目	ブライダルシステムB版 挙式・披露宴進行パターン作成・スタイル別の挙式・披露宴の進行パターンを作成することができる
12回目	ギフトプランナー 席次表作成 :招待客リストのアップロード～ギフト選択～席次表作成① : システムを使用して席次表を作成することができる
13回目	ギフトプランナー 席次表作成 :招待客リストのアップロード～ギフト選択～席次表作成② : システムを使用して席次表を作成することができる
14回目	★評価週
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	PC／システムを使用して実施
受講生への メッセージ	この授業では、結婚式の正式申込の手続き～当日施行の詳細 までをシステムを通じて学んでいきます。実際のウェディングの現場で使用されているシステムです。結婚式の打合せの一連の流れを身に付けましょう
【使用教科書・教材・参考書】 PC使用・USB必須・ウェディングB版	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 hospitality exercise	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
保育者養成校にて『子育て心理学』『発達心理学』『表現指導法』などの授業を担当。また、東京学芸大学の高尾隆准教授(現在は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)に師事、“Improvisation”の手法を学び、それを基にしたコミュニケーション技法に関するワークショップやセミナーを実施。							
【到達目標】 実践やワークを通して、接客業に必要なコミュニケーションスキルを身に着けることができる。 個人的な感情に左右されず、相手のことを考えた言動ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	導入や授業の内容説明を通して、授業の目的と到達目標について知ることができるようになる。
2回目	ブレインストーミングやKJ法について知り、実践することで考え方の多様性について知ることができる。
3回目	他己紹介:ホットシーティングの手法を活用して得た情報をもとに、他者を紹介できるようになる。
4回目	「聞き上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
5回目	インプロゲーム「Yes, and」「What is next?」を通して、コミュニケーションにおける「聞くこと」について考えることができる。
6回目	「話し上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
7回目	インプロゲーム 「リア・ハンド・ホップラ」「ジブリッシュ」「私は木です」「さしすせそ禁止ゲーム」を通して、身体を使ったコミュニケーションについて知る
8回目	「読み上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
9回目	インプロゲーム「最初と最後」を通して、自ら考える力をつけることができるようになる。
10回目	「書き上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
11回目	「ブラインドワーク」を行い、目で見たと以外を言葉に書き起こすことを通して印象に残る描写の方法を知ることができる。
12回目	自己理解を深める 自分史年表の作成
13回目	ペアトレーニング 互いを褒め合うことを通して、他者を知る手段を見つける
14回目	何年後かの「自分」へ
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルシステム	必修	選択必修	年次	2	担当教員	田中 香利
	Bridal system	授業		総時間	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	形態	講義	(単位)	2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 結婚式場のプランナーが接客時に使用している【ブライダルシステム】を使用し、結婚式の【申し込み】～【当日】までの【打合せの順序】・【ブライダルアイテムの打合せ内容・発注業務】・【演出の企画や提案】・【見積書の提示】を学びます 【実務経験】 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダル業界における、見積書詳細・プランの成り立ち・接客における成約率や単価アップ率の算出方法、数字を根拠としたイベントの企画方法等、お金の流れを把握し利益につなげる考え方ができるようになる。							

授業計画・内容		
4月10日	自己紹介・授業内容説明 ブライダル業界におけるアイテム毎の単価設定表を作成し、その原価金額・利益金額の成り立ちを把握することができる	
4月17日	ブライダル業界におけるアイテム毎の単価設定とその原価金額・利益金額を把握し、一覧表を作成することができる	
4月24日	イベント毎の必要な費用、その算出方法を身に付けることができる	
5月8日	挙式のプランの成り立ち、原価率・販売価格を把握することだできる	
5月15日	挙式プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(神前挙式Ver)	
5月22日	挙式プランを作成することができる 原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(教会挙式Ver)	
5月29日	挙式プランを作成することができる 原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(人前挙式Ver)	
6月5日	挙式プラン詳細のPOPを作成、プレゼンテーション力を身に付けることができる (神前挙式・教会挙式Ver)	
6月12日	挙式プラン詳細のPOPを作成、プレゼンテーション力を身に付けることができる (人前挙式Ver)	
6月19日	披露宴のプランの成り立ち、原価率・販売価格を把握することができる	
6月26日	披露宴プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(ホテル・ゲストハウスVer)	
7月3日	披露宴プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(フリースタイルVer)	
7月10日	披露宴プランのPOPを作成し、プレゼンテーション力を身に付けることができる	
8月21日	★評価週	期末テスト 筆記試験
8月28日	振り返り	
準備学習 時間外学習	パソコン・USB持参	
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	ブライダル業界の数字に関わる授業は、就職後、即戦力として直ぐに活用できる内容です。数字を把握しているか、していないかで入社1年目から大きな差がつきます。少し難しいかもしれませんが、理解できるまで時間をかけてすすめていきますので、宜しくお願いいたします。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ブライダルシステムB版・パソコン・USB		

科目名 (英)	ブライダルマーケティング	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	田中 香利
	Bridal Marketing	授業	講義	総時間	30	開講区分	後期
	学科・コース	ホスピタリティビジネス科		形態	(単位)	2	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】ブライダル業界の現場で実際に使用されている【打合せシステム】を使用し、実践型の学習をします。就職後の即戦力となるスキルを身につけることができます。							
【実務経験】株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】							
■ブライダルシステムを使用し、席次表を作成ができるようになる イダルアイテムの販売構成・原価・利益などの数字を分析する力を身につけることができる							
■ブラ							

授業計画・内容		
10月3日	ギフトプランナー 招待客リスト～引出物セレクト～席次表作成までの一連の流れをシステムを使用して理解・把握・作成することができる	
10月17日	ブライダルフェア企画:集客目標を設定し、ブライダルフェアのイベント企画・スケジューリング力を身につけることができる	
10月24日	ブライダルフェアPOP作成 集客用のPOPを作成する力を身につけることができる	
10月31日	ブライダル見積書作成① ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月7日	ブライダル見積書作成② ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月14日	ブライダル見積書作成③ ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月21日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成①少人数フォト婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
11月28日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成②大人数婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
12月5日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成③リゾート婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
12月12日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る①	
12月19日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
1月16日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
1月23日	テスト対策 まとめ	
1月30日	★評価週	PC/ システムを使用したテスト
2月6日	★まとめ 振り返り	期末テスト 振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	PC／システムを使用	
受講生への メッセージ	学生時代に学べることは貪欲に学び、就職後の即戦力となるような授業内容ですすすめていきます。業界必須のスキルを身につけていきましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
PC／ブライダルシステムBbann		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	career program	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
サービス業のみならず仕事を自信のキャリアに変える為の考え方や、成長の進め方を様々なディスカッションを重ねる事で身に付けて行く事ができる。また自分の情熱や思いを正しくアウトプットできる自信とテクニックを学ぶ。							
【到達目標】							
自身の強み弱みを見極め、強みを引き出す事で自分の目指す業界へチャレンジする姿勢と考えを身に付ける事ができる。サービス業を軸としたサービスを自身の武器する事の大切さ、サービスでお金を稼ぐという意識と目標を見つける事ができる。							

授業計画・内容		
第1回	自己紹介を盛り込んだフリーディスカッション	
第2回	グループディスカッション（自分が社会に出る事の意味）	
第3回	グループディスカッション（仕事とは何か？仕事が自分に及ぼすものとは？）	
第4回	グループディスカッション（お金を稼ぐ事の意義）	
第5回	グループディスカッション（サービスが人に与えるメリットを考える）	
第6回	グループディスカッション（サービスでお金を稼ぐ為に大切な事は何か？）	
第7回	自分の目標を探すトレーニングを行う	
第8回	ポジティブシンキングの効果とその訓練	
第9回	ネガティブシンキングが影響するライフスタイルの悪化について学ぶ	
第10回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する	
第11回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する②	
第12回	夢実現へのプロセルロードマップを作成する③ 全体でプレゼンする	
第13回	グループプレゼンテーションのトレーニング(自己表現スキルと伝える熱意のテクニック)	
第14回	★評価週	フィードバック
第15回	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	授業態度・出席50%、各種ワークシートの提出物50%	
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考と一緒に身に付けて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	career program	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プライダル業界にてプライダルプランナーとして、新人研修を担当した実績のある専任教員が、キャリア教育を基に社会人基礎力の向上を目的に、3年間の本講義を通して3つの能力、12の要素を身に着けた人材を育成します。は学生相互の人間関係(コミュニケーション)を密にし、学生の自発的、自治的な活動を支援します。また、自己理解を深め、適切な進路選択ができるようにします。							
【到達目標】							
入社後の自分をイメージして後期を有意義に送ることができる。生活のリズムを整え、時間を有効に使うことができるようになる。 自ら挨拶ができ、人の話を聞き規律性を持った行動が出来る。 学生相互において適切なコミュニケーションを図ることができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、学科リーダー決め、英語でのロールプレイングを通じて外国人客とのコミュニケーションを取ることができる。(新倉・馬井)
2回目	2023年4月の入社までの目標やTODOリストを作成し、後期の過ごし方をイメージすることができる。
3回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ①
4回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ②
5回目	グループワークや座学を通して社会人基礎力・常識力を向上させることができる ③
6回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。日本の古典文化について
7回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。日本映画について
8回目	日本文化や国際文化に触れ造詣を深めることができる。海外映画について
9回目	特定の文化について自分の考えをプレゼンすることができる
10回目	校外授業の準備を行う。福岡市の冬の観光スポットを事前に調べ福岡についてさらに興味を持てるようになる。
11回目	校外実習をグループで行い、時間を意識して行うことができる。
12回目	新春親睦会実施 最終学年年度のメンバーの親睦をより深め良好な人間関係を築き卒業までモチベーションを高くすることができる。
13回目	企業プロジェクトの準備を進め、プレゼンテーションを80%以上仕上げることができる。
14回目	★評価週
15回目	企業プロジェクトの準備を進め、プレゼンテーションを100%仕上げることができる。
準備学習 時間外学習	卒業を考え、学生生活を振り返ることができる。授業アンケート実施
準備学習 時間外学習	毎週、時事についてミニプレゼンしてもらいますので、各自ニュースを見ておくように(国際、経済、政治、社会問題等)
評価方法	出席と卒業制作展における、取り組み、貢献度で評価
受講生への メッセージ	誰もがやっている仕事を、誰もがやらないレベルでやる
【使用教科書・教材・参考書】	
適時講師が準備、コマによっては「新社会人の基礎力2023年度版」を持参すること	

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年バーテンダーとして業務を行い、自身のBARを経営する専任講師が実習や座学を通してわかりやすく、お酒やバーテンダーに必要な知識を学べる授業です							
【到達目標】 技術面では、シェーク(シェーキング)、ステア(パースプーンのステアの仕方)、グラスの持ち方、注ぎ方、グラスの出し方、シェーカーの洗いや拭き方。グラスの洗い方など、スマートにできるようになる。 バーの仕事に携わっても即戦力になるようにする。							

授業計画・内容		
第1回	(座学)バーとは、バーテンダーとは。(実技)バーツールの取り扱い方の応用編	
第2回	(座学)氷について、タイプ(実技)氷のカット、丸氷、ダイヤモンドカット	
第3回	(座学)焼酎、甲類焼酎と乙類焼酎の違い(実技)シェーク練習	
第4回	(座学)カクテルのアルコール度数の出し方(実技)ステア練習	
第5回	(座学)シェークについて分析(実技)ジンフィズ、トムマリンズの違い	
第6回	スタンダードカクテル制作(ホワイトレディ、バラライカ、X.Y.Z、マルガリータ)	
第7回	ステア理論(マティーニ、マンハッタン)ビルドカクテル(モスコミュール)	
第8回	(座学)リキュールの種類(実技)いろいろなシェーキング	
第9回	(座学)リキュールの種類(実技)フローズンカクテル制作	
第10回	生クリーム系のカクテル制作(グラスホッパー、ミリオンダラー)2層のカクテル	
第11回	(座学)バーテンダーとしての心構え復習(実技)シェーキング見直し	
第12回	(座学)酒類全般の基礎知識①(実技)ステア見直し	
第13回	(座学)酒類全般の基礎知識②(実技)目分量の練習	
第14回	★評価週	スタンダードカクテルによる実技試験
第15回	★まとめ・追試/再試	スタンダードカクテルによる実技試験
準備学習 時間外学習	授業で学んだシェークとステアの技術をイメージトレーニングする。 スタンダードカクテルレシピを暗記する。	
評価方法	10段階評価による実技試験と、酒類全般の筆記試験を期末に行います。	
受講生への メッセージ	バーテンダーとしての所作、知識、お客様との距離感を1年生の時よりも応用力がつけられるようになる。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant service skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。 【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 過去問題を解き出題をテキストから探し出すことが出来る 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容	
1回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
2回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
3回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
4回目	過去問題のキーワードを元にテキストから文章を見つける事が出来る。
5回目	中間試験対策
6回目	中間試験・筆記
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週
15回目	
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接遇サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。 【実務経験】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官							
【到達目標】 全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服が出来る 目標②類似問題の見極めが出来る 目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る							

授業計画・内容		
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。	
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。	
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。	
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。	
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。	
14回目	★評価週	
15回目		
準備学習・時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	
【使用教科書・教材・参考書】		
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法		

科目名 (英)	ブライダル演習	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal exercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
接客シミュレーションを中心にを行い、一連の流れを理解し衣裳の専門的な知識を身につける							
【実務経験】 TAKAMI BRIDALにて約8年半の実務経験有。社内資格として、チーフ・インストラクターの資格有。後輩指導やチーフ試験官などを経験。							
【到達目標】							
実践に近づいたコーディネイトや接客・提案ができるようになる							

授業計画・内容		
1回目	スタイリストの業務内容の復習とブライダル業界においてのスタイリストの立ち位置について学ぶ	
2回目	ドレスの勧め方についてお客様のご要望や会場に合ったドレスをご提案できるようになる	
3回目	実践でドレスのサイズ感について（妊婦様など）学ぶ	
4回目	タキシードのすすめ方について、お客様のご要望やドレスに合ったタキシードをご提案できるようになる（ロープレ）	
5回目	和装の試着方法と接客の流れを学ぶ（ロープレ）	
6回目	前回の復習を兼ねてお客様のご要望に沿ったご提案や柄の説明ができるようになる	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストの答案返却とその解説	
9回目	コラージュ作成 衣裳と会場のテーマをそれぞれ決めてコラージュを作成する	
10回目	先週のコラージュ作成を元に一人ずつ発表（プレゼン）する 会場・衣裳の提案ができるようになる	
11回目	【衣裳店研修】 TAKAMI BRIDALの店舗にて衣裳店の雰囲気や商品を見て学ぶ	
12回目	お客様のお出迎えからカウンセリング・衣裳提案までの流れをできるようになる（ロープレ）	
13回目	次週の試験の試験範囲の説明と実技試験の練習を行います	
14回目	★評価週	筆記試験と実技試験の予定
15回目	★まとめ・追試/再試	先週の答案用紙返却と解説
準備学習 時間外学習		
評価方法	●中間試験・期末試験（筆記・実技）	
受講生への メッセージ	スタイリストとして大切な知識をたくさんつめこんだ授業内容です。素敵な未来に向かって一緒に頑張っていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用致します。		

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal Items	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
前期で学んだ衣装に関する基礎知識をもう一度しっかり復習し、自分の知識として定着させる。 基礎を踏まえた上で、衣装に関する実践的な知識を学ぶ。 ※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダースタylistと東京のオーダードレスショップ「チューレドュー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 衣装に関する基盤をしっかりとした定着させ、2年生での応用に対応出来るようになる。							

授業計画・内容		
10月7日	ドレスライン、素材、ブーケ等の復習	
10月14日	実習室内のドレス、タキシードカルテを製作する①	
10月21日	〃 ②	
10月28日	〃 ③	
11月4日	〃 ④	
11月11日	新婦に必要なウォーキング&美姿勢を学び、新婦へのアドバイスが出来るようになる	
11月18日	品出し、アイロンやスチームがけについて学ぶ	
11月25日	イメージ別トータルコーディネートを学ぶ(グループワーク)①	
12月2日	〃 ②	
12月9日	NYBFW(ニューヨーク・ブライダル・ファッションウィーク)について学ぶ	
12月16日	NYBFWについてのレポート作成をする	
1月13日	シューズなど小物のお手入れについて学ぶ	
1月20日	期末試験準備	
1月27日	★評価週	
2月3日	卒業生講和	
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験(レポート) 期末試験(実技)	
受講生への メッセージ	前期は衣装に関する基本の「き」を学びました。後期はその基盤をしっかりと自分のものにし、2年生で実地応用できるようステップアップしていきましょう！どうぞよろしく願いいたします！！	
学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」を使用いたします。		

科目名 (英)	カメラワーク・テクニック	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	camera work & technique	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【中村 允宣】 2014年映像制作会社に入社。それをきっかけに写真を学ぶ。2018年より092photo.comの代表に就任。2021年に092photoを譲渡され自身の会社となる。 2024年2月に092photoとは別事業であるブライダル事業を始める。前撮り専門サロンとして「ROLL7WEDDING」を設立。 今は東京、大阪、福岡を拠点に写真、映像業とブライダル業を営んでいる。 【中尾 茉奈】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて約10年模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランドの展示会、ストックフォト等にモデルとして携わった。							
【到達目標】 実際に写真撮影の実施やプロのカメラマンとの実践を通して、フォトウェディングについて知ることが出来るようになる							

授業計画・内容		
1回目	授業内容の説明・到達目標の設定	
2回目	テーマ「自分の好きなもの」雑誌や画像の切り抜きを活用し、テーマに沿った作品を作ることが出来る。	
3回目	相モデルになり互いの写真を撮る①学内での撮影場所、撮影の方法などを考えて撮影の計画を立てることができるようになる。	
4回目	相モデルになり互いの写真を撮る②学内で撮影実施 スマートフォン使用	
5回目	相モデルになり互いの写真を撮る③撮影した写真の簡単なレタッチができるようになる	
6回目	フォトウェディング①フォトウェディングの進行方法について知ることが出来る。3人グループをつくる	
7回目	フォトウェディング②グループ内で撮影指示書を3種類作成する	
8回目	専門授業を通じてフォトウェディングというものを理解し説明することができるようになる。	
9回目	フォトウェディング業とは何か。フォトウェディングに大切なこと、接客に必要なことを理解し説明ができるようになる。	
10回目	フォトウェディング業に必要な写真のスキル、撮り方、ポイントを理解し説明ができるようになる。好きな写真を次回までに撮影してきてもらう。	
11回目	実際に撮った写真のプレゼン、説明をしてディスカッションを行う。別教室を使用し実際に撮影を行う。撮影に対して理解し説明することができるようになる。	
12回目	フォトウェディング業に必要なことと写真の撮り方の復習。しっかりとこの二つを理解でき説明ができるようになる。	
13回目	フォトウェディング①フォトウェディングの進行方法について知ることが出来る。3人グループをつくる	
14回目	フォトウェディング②グループ内で撮影指示書を3種類作成する	
15回目	★まとめ・追試/再試	作品発表会
準備学習 時間外学習	スマートフォン	
評価方法	出席率50%、作品完成度50%	
受講生への メッセージ	初めまして。私が今回講義をさせていただく事となりました、中村です。本講義を通じてフォトウェディングとは何か、写真の撮り方などについて理解して頂き本講義を通じて一人でも多くの方にフォトウェディング業へ興味を持って頂きたいと思っています。将来、一人でも多くの方がこの道へ進みたいと思って頂けるような講義をさせて頂ければ幸いです。□	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	映像編集実習 Video editing exercises	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像制作技術を有する教員が、ブライダルアイテムのひとつである映像実習授業を展開し、どういった映像を制作するのか、立案から完成までのプロセスを身に付けます。 ※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】							
映像を制作するスキル、ソフトの使い方等を必要最低限身に付け、スケジュールの組み立て、クオリティの確保を経験し、映像制作ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる①(写真を使った簡単な操作方法)	
2回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解できる②(写真を使った簡単な操作方法)	
3回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる③(テロップを用いて簡単な操作方法)	
4回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる④(動画を使った簡単な操作方法)	
5回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる⑤(動画を使った簡単な操作方法)	
6回目	映像制作ソフト (プレミア) の機能理解・操作方法について理解できる⑥(動画を使った簡単な操作方法・それぞれの作った映像を見	
7回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る①	
8回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る②	
9回目	素材撮影・映像制作が出来る①	
10回目	素材撮影・映像制作が出来る②	
11回目	素材撮影・映像制作が出来る③	
12回目	素材撮影・映像制作が出来る④	
13回目	素材撮影・映像制作が出来る⑤	
14回目	★評価週	完成映像の提出
15回目		総評・まとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	テスト(映像提出による完成度)にて評価	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
PC数台・PCソフト(Adobe premiere pro)		

科目名 (英)	JMA検定2級対策	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	JMA test grade 2	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとして、サロン、舞台、ショーなどでヘアメイクを手掛け、また、JMA認定講師として様々な専門学校で講義を行っている教員が、メイクの基礎技術の向上を目指し、JMA3級検定合格に必要なメイク知識、技術を習得する授業を行う。							
※実務経験 フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】							
JMA2級合格に必要なメイク知識、技術を習得できる。メイクの基礎技術を向上させ、ブライダルの現場で生かせるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	JMA2級について理解し、メイクを始める前の必要な知識を習得できるようになる。
第2回	スキンケア復習 手指消毒～乳液・美容液までのテクニックを実践できるようになる。
第3回	JMA 2 級ベースメイクの作り方を理解し、実践できるようになる。
第4回	スキンケア～2級ベースメイク復習 アイブロウの基本的な描き方を知り、実践できるようになる。
第5回	2級ベースメイク・アイブロウ復習 アイメイクの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
第6回	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 前回よりも美しくスムーズに仕上げることができるようになる。
第7回	スキンケア～2級ベースメイク・アイブロウ・アイメイク復習 リップの基本的な作り方を知り、実践できるようになる。
第8回	2級ベースメイク～ポイントメイク実技 ポイントメイクを美しく仕上げられるようになる。
第9回	JMA 2 級内容をスムーズに美しく仕上げるができるようになる。
第10回	ポイントメイク強化 ポイントメイクを美しく仕上げることができるようになる。
第11回	JMA2級内容を、決められた時間内でスムーズに美しく仕上げるができるようになる。(要モデル)
第12回	JMA2級内容を前回よりもスムーズに美しく仕上げるができるようになる。(要モデル)
第13回	JMA2級内容を50分以内で美しく仕上げるができるようになる。
第14回	JMA2級内容を50分以内で仕上げるができるようになる。
第15回	定期試験 (JMA 2 級検定兼ねる)
準備学習 時間外学習	3級内容の復習、時間外での練習も必要です。たくさん練習して、臨んでください。
評価方法	定期テスト(2級検定を兼ねる) 手順・手技が正しいか、仕上がりは美しいか、マナーはよいか、など総合的に評価します。検定試験は100点満点中80点以上合格です。
受講生への メッセージ	3級に続いている検定試験です。3級で習得したテクニックはもちろん、その上の知識・技術が必要になってきます。難しい課題ですが、練習すれば練習した分必ず上達します。自信を持って、取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
メイク道具一式、JMA2・3級テキスト・消耗品など	

科目名 (英)	ヨガ yoga	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】 ・ホットヨガスタジオLAVAにて1回30名の方へ向けたレッスンを1年間で約480本担当。 ・福岡スクールオブミュージック高等専修学校にて半期授業担当。 ・ASANAMANDALA YOGA TTC80Hを2回、シータヒーリング基礎&応用、筋膜リリースヨガ養成講座、チェアヨガ養成講座、アーユルヴェーダホリスティックアドバイザー ・じっくりと丁寧な誘導をおこない、自分の内側と向き合っていけるような授業に最善を尽くします。 ・ヨガのポーズにこだわることなく、無理なく、今を大切にしていけるような授業を実施いたします。 ・ヨガのポーズの実践を繰り返し、心と体の変化を探索する							
【到達目標】 ・自分自身を向き合う能力が高まり、人と比べることなく自己肯定感が増えている状態							

授業計画・内容		
1回目	【ヨガ体験】挨拶、ヨガ体験(先ずは楽しく体を動かして、一つのことに集中する時間をとる)	
2回目	【ヨガの歴史】ヨガのルーツを知る & ベーシックヨガ ができるようになる	
3回目	【呼吸法】ヨガ呼吸法の紹介 & スローヨガ ができるようになる	
4回目	【肩こり改善ヨガ】肩こりになる原因の紹介 & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
5回目	【骨盤調整ヨガ】腰痛になる原因の紹介 & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
6回目	【瞑想】瞑想とは & アドバンスヨガ ができるようになる	
7回目	【心のケア】苦悩になる考えと苦悩にならない考え & ベーシックヨガ ができるようになる	
8回目	【体のセルフケア】肩こり改善のためのセルフケア & 肩こり改善ヨガ ができるようになる	
9回目	【心のケア】言葉と思考の持つパワー & アドバンスヨガ ができるようになる	
10回目	【体のセルフケア】腰痛改善のためのセルフケア & 腰痛改善ヨガ ができるようになる	
11回目	【ヨガ哲学】八支則の紹介 & ベーシックヨガ ができるようになる	
12回目	【ヨガ哲学】継続は力なり & アドバンスヨガ ができるようになる	
13回目	【ヨガ哲学】アヒンサー(非暴力) & フローヨガ ができるようになる	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	ヨガ 総まとめ 試験予備
準備学習 時間外学習	特にありません。	
評価方法	筆記試験 100%	
受講生への メッセージ	みなさんこんにちは。ヨガのポーズをとって、呼吸をして、楽しい時間を過ごしませんか。ヨガを続けていくことで、心と体が安らぎ、人と比べることなく自分自身と向き合う時間が自信へとつながり、イキイキと輝く学生生活となりますように。と願っています。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント配布、プリント対応。		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間の小中学生への学習指導を続ける専任教員が、一般企業の70%以上で実施している『一般常識テスト』に合格するためのトレーニングを行う。「一般企業の70%が実施している」ということは、裏を返せば、30%の企業では、「知っていて当たり前。知らなくても入社後、新聞購読などで身に付け、問題意識を持ち続けるべき最低限の内容」ということで、このようなテストがない企業も多数あることを、まず理解し、「社会人になるための第一歩」として取り組むこと。とはいえ、内容は広範囲に渡り、本来、授業で身に付けるようなものではないことから、学校の図書室、職員室での新聞閲覧など、ネットニュース以外での情報収集に日ごろから努め、自分なりの意見と、そこから、自分自身の行動に、どうつなげるかを考え、高度な面接にも堪えられる思考力の育成にも資するものとする。							
【到達目標】							
SPI・一般常識・時事問題を学び知識の習得をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
2回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
3回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
4回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
5回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
6回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
7回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
8回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
9回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
10回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
11回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
12回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
13回目	①【時事】トピックス理解 ②【一般常識:学力】中高での英数国理社の復習 ③【一般常識:時事】政治・経済・国際の理解 ④【一般常識:雑学】文化・芸術・スポーツの確認 ⑤【一般常識:社会人教育】マナーの確認(別講座の可能性大) 以上、5項目を出題確率と受講生の理解状況を意識しながら満遍なく実施。
14回目	★評価週
15回目	まとめ 授業のふりかえり
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%(出席・態度不問)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
必要なものを、その都度、お渡しします。	

科目名 (英)	ビジネス英会話 Business English conversation	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	講義 演習	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で手助けができる。 You'll be able to offer help in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	街を歩き回り、道案内をすることができる。 You'll be able to get around town and give directions.
2回目	公共交通機関を使って道案内をすることができる。 You'll be able to give directions using public transportation.
3回目	計画や意図を説明できる。 You'll be able to describe plans and intentions.
4回目	行動の結果について話すことができる。 You'll be able to talk about consequences of actions.
5回目	現在と過去のことについて説明できる。(パート 1) You'll be able to describe ongoing past activities.(part 1)
6回目	現在と過去のことについて説明できる。(パート 2)。 You'll be able to describe ongoing past activities.(part 2).
7回目	過去と未来の能力を表現できる。 You'll be able to express past and future ability.
8回目	過去と未来の義務を表現できる。 You'll be able to express past and future obligation.
9回目	健康や診察について相談できる。 You'll be able to talk about health and medical examinations.
10回目	栄養や医療について相談できる。 You'll be able to talk about nutrition and medical advice.
11回目	今後の活動について説明できる。 You'll be able to describe future activities.
12回目	電話で計画を立て、サポートを提供できる。 You'll be able to make plans by telephone and offer help.
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	★まとめ・追試/再試 理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25% Final test 75% , Participation in class 25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	
SIDE by SIDE Book & Text 2	

科目名 (英)	韓国語 Korean I	必修 選択	必修選択	年次	2,3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げ、講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークに韓国語を学んで頂いております。							
【到達目標】							
挨拶、自己紹介、とプラスで何か言える所まで行けるように。就職試験のひとつの武器に韓国語がなっていけるようにを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	韓国語で自己紹介してみよう！名前、年、出身地、趣味、好きな食べ物を紹介できる
2回目	韓国語の仕組みと母音を学び理解できる①
3回目	子音を学び理解できる①
4回目	子音を学び理解できる②
5回目	母音を学び理解できる②
6回目	パッチム(〈子音+母音+子音〉などで構成される音節で最後の音をあらわす子音または子音字母。終声)について理解できる
7回目	ここまでのまとめ小テスト&ゲーム通して発音についての理解を深める
8回目	色々な単語の勉強と会話を通して理解を深めることができる
9回目	色々な数字の勉強を通して理解を深めることができる
10回目	簡単な疑問形、動詞、形容詞を会話で学び、理解を深めることができる
11回目	今までの総まとめのテストとk-popソングやゲームを通して造詣を深める
12回目	好きな文章を韓国語で作って発表することができる。1日目(時間があればk-popソングもう1曲使って造詣を深めることができる)
13回目	好きな文章を韓国語で作って発表することができる。2日目(時間があればk-popソングもう1曲使って造詣を深めることができる)
14回目	試験
15回目	まとめ 授業の振り返り
準備学習 時間外学習	復習
評価方法	テストと参加態度
受講生への メッセージ	韓国語は日本語と文法が同じで発音がほぼ同じものもあるくらいスツと入ってしやすい外国語です！！口をよく動かします。発音だけ最初慣れるまで練習が必要ですので口の体操よくしといってください！！授業が進むと複雑になって混乱するときはその都度細かいことでも必ず質問してもらって、クリアにしてから次のステップに行きましょう！！とにかく肩の力を抜いてリラックスして楽しく授業していきましょう！！！！

科目名 (英)	企業プロジェクト corporate collaboration project	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。 実施授業：ブライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。昨年度の同授業で先輩が企画したものをベースにさらに精度を高めた提案をすること。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・生徒他己紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有	
2回目	株式会社サウスポイント様よりIT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。	
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。	
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。	
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。	
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。	
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。	
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション	
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。	
14回目	★評価週	株式会社サウスポイント様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試	講評
準備学習 時間外学習		
評価方法	プレゼンテーション	
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚 campus marriage	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルシステムの授業で学んだ知識をもとに、アウトプットがメインの内容で進めてまいります。 接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を見つけるために、ロールプレイング(結婚式の打ち合わせの流れや)を行うことで、人前で話すことの恥ずかしさを払拭し、お客様の前で堂々とトークができるようになることを身につけていただきます。 また、時代に沿った接客スタイル(リモート接客)を実際に行うことで、難しさを体感した、プレゼン力も身につけることができる内容で進めてまいります。 ※実務経験 法人営業やホテル・ブライダル業界10年以上キャリア。現在はウェディングプランナー育成に携わっている。							
【到達目標】 恐怖感・不安感を持たず、人前で話すことができる 打ち合わせ時にお客様へのヒアリングとご提案ができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業内容の説明、自己紹介(自分自身を商品に例えプレゼンを行う)を行うことでプレゼン力を身につけることができる	
2回目	1年次で学んだ結婚式の打ち合わせの流れを提示、説明ができる	
3回目	ヒアリングのポイント・コミュニケーションのポイントを身につけることができる	
4回目	クロージングのポイント・課題分析のポイント・打ち合わせのスケジュールリング(タイムスケジュール作成)のポイントを身につけることができる	
5回目	求められる5つの基本能力(①プレゼンテーション能力②ヒアリング能力)のポイントを身につけることができる	
6回目	求められる5つの基本能力(③コーディネート力④営業力⑤問題解決能力)のポイントを身につけることができる	
7回目	中間テスト	
8回目	①リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
9回目	②リモート接客方法のポイントを身につけることができる(PCを使用する)	
10回目	①新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
11回目	②新規接客(ヒアリングの大切さ)を身につけることができる	
12回目	作成したコラージュをもとに提案力を身につけることができる	
13回目	不安や悩み対策としてのトーク力を鍛えることができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テストのフィードバック
準備学習 時間外学習		
評価方法	ロールプレイング方式90% 授業に対する意欲10%(発表回数など)	
受講生への メッセージ	接客業に最も必要とされる、コミュニケーション力、トーク力を身につけていきます。 お客様の前で話す事への不安な気持ちを払拭し、質の高い接客力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	campus marriage	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 昨今需要が増しているフォトウェディングについて、新しいフォトプランを考案し、スタジオネスト様に提案。 商品化を目指す。 あ・うん企画様のご協力のもと、新型コロナウイルスの影響で、婚礼を延期を余儀なくされている新郎新婦様に向けて、フォトウェディング(前撮り)を提案する。 学生とフォトウェディングをすることのメリットをお2人にプレゼンテーションし、自らの力でお客様との契約を目指す。							
【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたフォトプランを企画立案し、提案すること。 フォトウェディングのお客様の成約と当日まで企画・運営。							

授業計画・内容		
1回目	本プロジェクトの経緯と目的が理解できる / 対象お客様のご紹介	
2回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる① / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
3回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる② / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
4回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる③ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
5回目	対象お客様を想定して、プレゼンテーションの準備ができる④ / 目的に合わせたカウンセリングシートも作成することができる	
6回目	（予定）（6回目）1組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
7回目	（予定）（7回目）2組目お客様プレゼンテーション 反応が良ければ、カウンセリングシートも記入していただく	
8回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
9回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
10回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
11回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
12回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
13回目	プレゼンテーションの結果を踏まえて準備を始めることができる/お客様の要望に合わせたスケジューリングができる	
14回目	★評価週	※フォト撮影は9～10月頃でしょうか。
15回目	★まとめ・追試/再試	後期は経験を踏まえて、スタジオネスト様と商品化へ向けての企業プロジェクトとする
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート	
受講生への メッセージ	お客様のご都合に合わせて、打合せを組んでいきます。 お客様にもお仕事や普段の大切な生活があります。 打合せが土日に入る場合もありますので、クラスメイトと協力しながらお客様の記憶と記録に残る1日を作りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	進級制作 Presentation to mark the current year's study	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プライダル業界経験24年の専任講師が、キャリア教育で必要とされる、自己肯定感を高め、アクティブラーニングができ、1年間の集大成として、チームワーク力を活かし模擬披露宴を完成させることができる							
【到達目標】 協調性、チームワーク力を活かし、1年間の集大成としてチームでひとつの模擬披露宴を完成させる。							

授業計画・内容		
1回目	・授業内容把握、チームで何かを成し遂げるために必要なこと5カ条をグループワーク。	
2回目	チーム分け、新郎新婦の設定から、披露宴のテーマをチームで導き出すことができる。	
3回目	披露宴に必要な役割を考え、チーム内で役割分担をすることができる。	
4回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
5回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
6回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
7回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
8回目	各チーム、各役割に分かれて披露宴の準備ができる。	
9回目	中間発表	
10回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
11回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
12回目	中間発表での反省を踏まえ、チーム内で軌道修正をかけて準備をすすめることができる。	
13回目	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する	
14回目	★評価週	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
15回目	★まとめ・追試/再試	本番に向けて、シミュレーションを行い各自役割を理解する
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ペーパーアイテム Paper items	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース/ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション・アパレル業界で企画や製造等を担当し、服飾デザイン・製作に関する知識を有する教員が、ワイヤーアクセサリ製作/水引などブライダルに関連するアイテムの制作過程を教える。 ブライダル業界に必須であるペーパーアイテム(招待状、席次表)を実際に制作することで、1年次に習得した知識をアウトプットする。 ※実務経験__メーカーにて製品の企画、デザイン、製造に携わる							
【到達目標】 ブライダル業界のトレンドを学び、ブライダルに関わる多様なアイテム知識の向上を図る。 ペーパーアイテムやワイヤーアクセサリ(ヘッドアクセサリ)を作ることができるようになる。刺繍ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・授業の到達目標の確認(ワイヤーアクセサリー)・ワイヤーアクセサリー資材の配布と道具の確認	
2回目	ワイヤーアクセサリー製作(パールの基本パーツが作成できる)	
3回目	ワイヤーアクセサリー製作(ビーズの基本パーツが作成できる)	
4回目	ワイヤーアクセサリー製作(葉っぱの基本パーツが作成できる)	
5回目	ワイヤーアクセサリー製作(固定パーツの作成、パーツ組み合わせの全体像をバランスを見ながら決めることができる)	
6回目	ワイヤーアクセサリー製作(全体を組み合わせで完成させることができる)・提出	
7回目	授業の到達目標の確認(刺繍)・刺繍の資材の配布と道具の確認、基本のステッチ練習:ストレートステッチ、ランニングステッチ、バックステッチができる	
8回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:アウトラインステッチ、サテンスステッチ、レゼーデージーステッチができる)	
9回目	刺繍製作(基本のステッチ練習:チェーンステッチ、フレンチノットステッチ、フリーステッチができる)	
10回目	婚礼に必要なペーパーアイテムを理解する	
11回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ①	
12回目	招待状・席次表の校正データを作成することができる ②	
13回目	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる①	
14回目	★評価週	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる②
15回目	★まとめ・追試/再試	お客様の要望に合ったペーパーアイテムを提案、制作することができる③
準備学習・時間外学習		
評価方法	製作物の提出	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
製作の手順をまとめた資料を準備します。		

科目名 (英)	ブライダルコーディネート検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターの国家試験を合格するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 クに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立24年							
株式会社ラッ							
【到達目標】 2024年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる (2024年1月24日第4水曜日予定)							

授業計画・内容		
1回目	前年度の振り返りと小テスト(決意表明をし今後の取り組みに意識を持たせる)	
2回目	第3章 ブライダルセールスの特徴 第4章 ホスピタリティ営業 第5章 プランニング(P107～P112)	
3回目	第6章 プレゼンテーションの手法 第7章 新規アフターフォロー 第8章 成約業務(P113～P118)	
4回目	第9章 ペーパーワーク、打ち合わせ業務 1章、2章、3章、4章(P119～P128)	
5回目	コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第1章 コーディネート 第2章 衣装選定(P130～P138)	
6回目	3. 花婿の洋装と洋装小物 4. 和装の基本、中間テスト告知	
7回目	前週の衣装のまとめが理解できる	
8回目	中間テスト 解答と解説が理解できる	
9回目	第3章 ブーケ、フラワーアイテムの選定 3. フラワーアイテム 4. 会場装花 5. 両親への花束(P148～P153)	
10回目	前週のブーケのデザイン小テストで理解できるようになる	
11回目	第4章 ヘアメイク、ネイルアート 第5章 会場コーディネート 第6章 テーブルコーディネート(P154～P161)	
12回目	2. テーブルクロスとナプキン 3. 4. 5 第7章 ペーパーアイテム、ウェルカムアイテム(P161～P166)	
13回目	第8章 料理、飲物(1.フランス料理 2.日本料理 3.折衷料理 4.イタリア料理 5.中華料理) (P168～P173)	
14回目	★評価週	前期の振り返りと期末テスト告知の理解ができる
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト 解答と解説の理解ができる
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	中間テスト 50%	期末テスト 50%
受講生への メッセージ	2年目のコーディネート技能検定の授業です。ブライダルは必要な専門知識が不可欠です。前期で幅広くなりますががんばりましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal coordination examination level 3	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 2023年1月25日(水)の検定(国家資格)に合格する							

授業計画・内容		
1回目	Lesson7 手配業務 第1章:ペーパーアイテムの手配. 第2章:衣装・ヘアメイク・着付け(P188～P194)	
2回目	第3章:挙式と披露宴の演出手配. 第4章:引出物・引菓子の手配.第5章: (P195～P202)	
3回目	第6章:装花の手配 Lesson8 当日の業務 第1章～第2章～第3章(P203～P216)	
4回目	第4章:テーブルセッティング. 第5章:当日のサービス業務(P217～P228)	
5回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2015年度)	
6回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2016年度)	
7回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2017年度)	
8回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2019年度)	
9回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2018年度)	
10回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2019年度)	
11回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2020年度)	
12回目	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2020年度)	
13回目	過去実技問題によるテスト対策が理解できる(2021年度)	
14回目	★評価週	過去問題集によるテスト対策が理解できる(2021年度)
15回目		検定試験の解答と振り返り
準備学習 時間外学習	特にありませんが、10月24日が試験手続き日ですのでよろしくお願い致します	
評価方法	過去問題の平均点数を中間と期末の評価とする	
受講生への メッセージ	2年間の集大成の後期となりました。実技(50問)と筆記(15問)共に合格を目指してください	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
	Work Seminar	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【到達目標】							
10回のロールプレイで苦手意識を取り除くことが出来る。面接の限られて時間の中で自分のことを自分の言葉で活き活きと語れることが出来るようになる。							
授業計画・内容							
1回目	今後のスケジュールの把握。第一印象の大切さを学ぶことが出来る。(入室Aのロールプレイ)①						
2回目	中間テストの説明・履歴書作成のポイントと知ることが出来る。入室Bのロールプレイ②						
3回目	最新の就職試験状況とコンピテンシー面接について知ることが出来る。簡単な自己紹介のロールプレイ③						
4回目	ロールプレイ①～③の復習と面接に適した椅子の座り方について学ぶことが出来る。ロールプレイ④						
5回目	履歴書長所・短所面接時のアイコンタクトのポイントを知ることが出来る。長所と短所のロールプレイ⑤ 履歴書と30秒の自己PRを作成することが出来る。自己PR⑥						
6回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。						
7回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。(1週目)						
8回目	グループワークを通して志望動機のつくり方を知ることが出来る。(2週目)						
9回目	履歴書のおさらい・採用側からのチェックポイントと知ることが出来る。退出のロールプレイ⑦						
10回目	ロールプレイ①～⑦の復習を行い苦手な場面を知る。面接時の言葉遣いについて学ぶことが出来る。						
11回目	グループワーク・グループディスカッション・ディベートの説明とポイントを知ることが出来る。						
12回目	ロールプレイ⑧受付、待合室、会社説明会での注意事項を知ることが出来る。						
13回目	ロールプレイ⑨電話の受け方、かけ方、メールのしかた、礼状の書き方を学ぶことが出来る。						
14回目	ロールプレイ⑩入室から退出までと質疑応答1-2を通じて自身のレベルを把握することが出来る。						
15回目	まとめ						
準備学習 時間外学習							
評価方法	・履歴書の完成度(30点)・ロールプレイ評価(20点)・実技(50点)						
受講生へのメッセージ	就職試験は本来はコワイものではなくアラタな出会いでわくわくするのもです。長く働ける自分の肌に合った企業と一緒に探していきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
		授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実践的に、面接練習や就職活動のシミュレーションを行っていきます。また、授業中の会話は全て敬語というルールを設けることで、面接だけでなく、社会人としても恥ずかしくない言葉力を身につけます。 ※実務者経験: 自身の就職活動実績としては、大学3～4年時、全国のマスコミ、東京の一般企業の面接を多数経験。おもちゃメーカー＆商社内定(辞退)、NHK高知放送局キャスター、NIB長崎国際テレビアナウンサー、RKB毎日放送アナウンサー勤務。現在はフリーアナウンサーとして、専門学校、大学生、アナウンサー志望生への面接指導、西鉄株式会社などの新入社員研修、社会人の話し方講師も担当。また全日空ホテル、ホテル日航ハウステンボス、THE VILLAS福岡など、結婚式や式典司会などで、ブライダル業界での仕事経験もあり。							
【到達目標】 面接までのシミュレーションがスムーズに行えること。目が泳がない、ハキハキ答えらる、好印象を与えられる。就職活動を通して、面接だけでなく、社会人として恥ずかしくない敬語の使い方やマナーを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介・就職活動の流れ	
2回目	事前の企業への電話～面接当日までのシミュレーション	
3回目	第一印象と入退室、自己紹介、目線や声の大きさなどノンバーバルの大切さ	
4回目	自己分析の大切さとエントリーシートの書き方復習	
5回目	敬語とビジネスマナー	
6回目	面接練習～志望動機と自己PR・長所と短所	
7回目	中間評価(グループ面接)	
8回目	よくある質問、PREP法を用いた答え方をしてみよう	
9回目	グループディスカッション①	
10回目	グループディスカッション②	
11回目	圧迫面接	
12回目	雑談系面接	
13回目	前期の総復習(足りないところを補う)	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習・時間外学習	自己PR作成や履歴書など、授業内に終わらなかった生徒は宿題にする可能性もあります。夏期休暇中には、読書感想文の宿題を出します。(語彙力を増やすためと、最近読んだ本は？という質問にきちんと答えられるようにするため)	
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント配布。		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal Fair Planning	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルフェアの意図を知り、集客方法・企画の立案全てをトータル的に実施できるように導きたい							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルフェアの意味・意図を考え理解し説明できる	
2回目	ブライダルフェアのメリット・デメリットを理解し説明できる	
3回目	ブライダルフェアの集客方法を考え理解し説明ができる	
4回目	ブライダルフェアの当日までのスケジュールと役割を考え理解し説明ができる	
5回目	模擬ブライダルフェアのチームを、ABC3チームのグループで考え理解し説明ができる	
6回目	模擬ブライダルフェアのスケジュールの立案を理解し説明ができる	
7回目	模擬ブライダルフェアの企画を各チームにて考え理解し説明ができる	
8回目	模擬ブライダルフェアをコラージュ作成で見える化の実現を考え理解し説明ができる	
9回目	模擬ブライダルフェアの企画を各チームごとにプレゼンする(全員で評価)	
10回目	Ⅰ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる	
11回目	Ⅱ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成を仕上げ理解し説明できる	
12回目	Ⅲ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成し仕上げ理解し説明できる	
13回目	Ⅳ) 模擬ブライダルフェアのコラージュを作成し仕上げ理解し説明できる	
14回目	★評価週	模擬ブライダルフェアのコラージュ作成発表表を理解し説明できる
15回目		後期の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	各チームにての評価100%	
受講生への メッセージ	模擬ブライダルフェアを通して、プレゼン力・コミュニケーション力・知識力を高めましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
講師配布		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画	必修 選択		年次	2	担当教員	
	Bridal Fair Planning	授業 形態		総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ・ロールプレイングの必要性 ・プランナーとして第一印象から入る身だしなみ、言葉遣い、話し方 ・実際の新郎新婦に接し又関わり、スムーズな遂行が出来る体験を実施							
【到達目標】 ブライダルフェアの意図を知り、集客方法・企画の立案全てをトータルのに実施できるように導きたい							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 授業の進め方、評価方法の告知、ロープレ説明	
2回目	接客シミュレーションの必要性を個々で考える	
3回目	プランナーとしての自己紹介と名刺交換と接客用語 ABCテキスト(P28)	
4回目	自分の苦手ポイントの強化をし、ロープレで自信をつける	
5回目	チャペル案内の基礎ロープレ ①立ち位置、動線、時間	
6回目	チャペル案内の基礎ロープレ ②メリット、デメリット、他社の強み	
7回目	模擬テスト（チャペル案内の接客シミュレーション）	
8回目	新規接客への印象づくり ①言葉遣い、身だしなみ、立ち方、座り方	
9回目	新規接客への印象づくり ②自己のテンション向上、オウム返しで変わる事	
10回目	新規接客への印象づくり ③知識力の発揮、プレゼンテーション力	
11回目	新規ヒアリング対応 ①資料請求時 ②問合せ（メール、電話、エージェント）	
12回目	来館時ヒアリング ①予約客 ②直接来館 ③試食会（ABCテキストP40～41）	
13回目	アンケート記入依頼 ABCテキスト（P42～42）	
14回目	★評価週	来館アンケート記入の依頼と記入方法の促し方法
15回目	★まとめ・追試/再試	前期振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト（30％） ●実技または筆記（20％） ●定期テスト（50％） 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ	模擬ブライダルフェアやロールプレイングを通して、プレゼン力・コミュニケーション力・知識力を高めましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
ABC検定教本、参考資料は配布		

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese Tradition and Culture	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東 淳子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。							曜日・時限 木曜日4限目
【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。							

授業計画・内容		
1回目	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。	
2回目	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。	
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。	
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。①	
5回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置	
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①	
7回目	中間テスト	
8回目	盆中の道具の扱い方②	
9回目	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってお菓子の取り方を知ることが出来る。(干菓子)	
10回目	薄茶の立て方を知る(実際に自分で点ててみる①)	
11回目	薄茶の立て方の復習(実際に自分で点ててみる②)	
12回目	薄茶を点てる人(亭主)頂く人(お客)に分かれて体験することが出来る。	
13回目	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。(生菓子)	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50%)期末テスト(50%)	
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
特になし		

科目名 (英)	ブライダルシステム	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Bridal system	授業	講義	総時間	60	開講区分	
	学科・コース	ホスピタリティビジネス科	形態	(単位)	4	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】現役のブライダルプランナーが接客時に使用するシステムで、正式予約受付～当日施行までの打合せの流れを学ぶ 【実務経験】株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダルシステムを使用し、結婚式の正式予約受付～結婚式企画・ブライダルアイテム打合せ／発注業務～結婚式当日の施行詳細までの流れを学ぶ							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルシステムB版 初期設定～システム概要説明:打合せの全体の流れをシステムの詳細を通じて把握することができる
2回目	ブライダルシステムB版 規約説明:結婚式の正式予約時に必要な注意事項や手続きの流れを理解することができる
3回目	ブライダルシステムB版 WEDDINGスケジュール:正式予約～当日までのスケジュールを把握することができる
4回目	ブライダルシステムB版 招待客リスト作成:招待客人数・親族関係図・肩書きなどを理解し、リスト作成ができるようになる
5回目	ブライダルシステムB版 衣裳店・引出物・引菓子を紹介:ブライダル会場の取引先との関連性を理解することができる
6回目	ブライダルシステムB版 フェア案内:成約者のためのブライダルフェアの企画ができるようになる
7回目	ブライダルシステムB版 招待状の手配:招待状受注時・発送時の注意事項を把握することができる
8回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの提案:ブライダル装花・料理・ケーキ・写真の提案力を身に付けることができる
9回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの決定:料理・ケーキ・演出・写真の受発注業務の流れを身に付けることができる
10回目	ブライダルシステムB版 ブライダルアイテムの決定:装花・衣裳の受発注業務の流れを身に付けることができる
11回目	ブライダルシステムB版 挙式・披露宴進行パターン作成・スタイル別の挙式・披露宴の進行パターンを作成することができる
12回目	ギフトプランナー 席次表作成 :招待客リストのアップロード～ギフト選択～席次表作成① : システムを使用して席次表を作成することができる
13回目	ギフトプランナー 席次表作成 :招待客リストのアップロード～ギフト選択～席次表作成② : システムを使用して席次表を作成することができる
14回目	★評価週
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	PC／システムを使用して実施
受講生への メッセージ	この授業では、結婚式の正式申込の手続き～当日施行の詳細 までをシステムを通じて学んでいきます。実際のウェディングの現場で使用されているシステムです。結婚式の打合せの一連の流れを身に付けましょう
【使用教科書・教材・参考書】 PC使用・USB必須・ウェディングB版	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 hospitality exercise	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	中尾 茉奈
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
保育者養成校にて『子育て心理学』『発達心理学』『表現指導法』などの授業を担当。また、東京学芸大学の高尾隆准教授(現在は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)に師事、“Improvisation”の手法を学び、それを基にしたコミュニケーション技法に関するワークショップやセミナーを実施。							
【到達目標】 実践やワークを通して、接客業に必要なコミュニケーションスキルを身に着けることができる。 個人的な感情に左右されず、相手のことを考えた言動ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	導入や授業の内容説明を通して、授業の目的と到達目標について知ることができるようになる。
2回目	ブレインストーミングやKJ法について知り、実践することで考え方の多様性について知ることができる。
3回目	他己紹介:ホットシーティングの手法を活用して得た情報をもとに、他者を紹介できるようになる。
4回目	「聞き上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
5回目	インプロゲーム「Yes, and」「What is next?」を通して、コミュニケーションにおける「聞くこと」について考えることができる。
6回目	「話し上手」ゲーム インプロの考え方の一つであるステータスを考えた態度の取り方を知ることができるようになる。
7回目	インプロゲーム 「リア・ハンド・ホップラ」「ジブリッシュ」「私は木です」「さしすせそ禁止ゲーム」を通して、身体を使ったコミュニケーションについて知る
8回目	「読み上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
9回目	インプロゲーム「最初と最後」を通して、自ら考える力をつけることができるようになる。
10回目	「書き上手」について 実際に指定された文章を読み書きすることを通して知ることができる。
11回目	「ブラインドワーク」を行い、目で見たと以外を言葉に書き起こすことを通して印象に残る描写の方法を知ることができる。
12回目	自己理解を深める 自分史年表の作成
13回目	ペアトレーニング 互いを褒め合うことを通して、他者を知る手段を見つける
14回目	何年後かの「自分」へ
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルシステム	必修	選択必修	年次	2	担当教員	田中 香利
	Bridal system	授業		総時間	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	形態	講義	(単位)	2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 結婚式のプランナーが接客時に使用している【ブライダルシステム】を使用し、結婚式の【申し込み】～【当日】までの【打合せの順序】・【ブライダルアイテムの打合せ内容・発注業務】・【演出の企画や提案】・【見積書の提示】を学びます 【実務経験】 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダル業界における、見積書詳細・プランの成り立ち・接客における成約率や単価アップ率の算出方法、数字を根拠としたイベントの企画方法等、お金の流れを把握し利益につなげる考え方ができるようになる。							

授業計画・内容		
4月10日	自己紹介・授業内容説明 ブライダル業界におけるアイテム毎の単価設定表を作成し、その原価金額・利益金額の成り立ちを把握することができる	
4月17日	ブライダル業界におけるアイテム毎の単価設定とその原価金額・利益金額を把握し、一覧表を作成することができる	
4月24日	イベント毎の必要な費用、その算出方法を身に付けることができる	
5月8日	挙式のプランの成り立ち、原価率・販売価格を把握することだできる	
5月15日	挙式プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(神前挙式Ver)	
5月22日	挙式プランを作成することができる 原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(教会挙式Ver)	
5月29日	挙式プランを作成することができる 原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(人前挙式Ver)	
6月5日	挙式プラン詳細のPOPを作成、プレゼンテーション力を身に付けることができる (神前挙式・教会挙式Ver)	
6月12日	挙式プラン詳細のPOPを作成、プレゼンテーション力を身に付けることができる (人前挙式Ver)	
6月19日	披露宴のプランの成り立ち、原価率・販売価格を把握することができる	
6月26日	披露宴プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(ホテル・ゲストハウスVer)	
7月3日	披露宴プランを作成することができる、原価金額・利益金額を把握し販売価格を設定する力を身に付けることができる(フリースタイルVer)	
7月10日	披露宴プランのPOPを作成し、プレゼンテーション力を身に付けることができる	
8月21日	★評価週	期末テスト 筆記試験
8月28日	振り返り	
準備学習 時間外学習	パソコン・USB持参	
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	ブライダル業界の数字に関わる授業は、就職後、即戦力として直ぐに活用できる内容です。数字を把握しているか、していないかで入社1年目から大きな差がつきます。少し難しいかもしれませんが、理解できるまで時間をかけてすすめていきますので、宜しくお願いいたします。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ブライダルシステムB版・パソコン・USB		

科目名 (英)	ブライダルマーケティング	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	田中 香利
	Bridal Marketing	授業	講義	総時間	30	開講区分	後期
	学科・コース	ホスピタリティビジネス科		形態	(単位)	2	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】ブライダル業界の現場で実際に使用されている【打合せシステム】を使用し、実践型の学習をします。就職後の即戦力となるスキルを身につけることができます。							
【実務経験】株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】							
■ブライダルシステムを使用し、席次表を作成ができるようになる イダルアイテムの販売構成・原価・利益などの数字を分析する力を身につけることができる							
■ブラ							

授業計画・内容		
10月3日	ギフトプランナー 招待客リスト～引出物セレクト～席次表作成までの一連の流れをシステムを使用して理解・把握・作成することができる	
10月17日	ブライダルフェア企画・集客目標を設定し、ブライダルフェアのイベント企画・スケジューリング力を身につけることができる	
10月24日	ブライダルフェアPOP作成 集客用のPOPを作成する力を身につけることができる	
10月31日	ブライダル見積書作成① ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月7日	ブライダル見積書作成② ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月14日	ブライダル見積書作成③ ブライダルアイテムの金額設定・値引き設定 見積書の作成方法を身に付けることができる	
11月21日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成①少人数フォト婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
11月28日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成②大人数婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
12月5日	ブライダルプラン プラン内容構築・原価表作成③リゾート婚 ブライダルアイテムの原価・利益額を理解する力を身につけることができる	
12月12日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る①	
12月19日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
1月16日	ブライダルプランPOP作成 販売促進用のプランPOPを作成する力を身につける事が出来る②	
1月23日	テスト対策 まとめ	
1月30日	★評価週	PC/ システムを使用したテスト
2月6日	★まとめ 振り返り	期末テスト 振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	PC／システムを使用	
受講生への メッセージ	学生時代に学べることは貪欲に学び、就職後の即戦力となるような授業内容ですすすめていきます。業界必須のスキルを身につけていきましょう	
【使用教科書・教材・参考書】		
PC／ブライダルシステムBbann		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	面接対策Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。

【到達目標】

- (1)自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。
- (2)やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。
- (3)採用試験合格のための応募書類を作成することができる。
- (4)面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。
- (5)就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト 100%
受講生へのメッセージ	この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう! 笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	手話 I sign language I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 手話奉仕員養成講座講師として17年・手話通訳養成講座指導者として3年・外部手話講師として13年間行ってきた講師から、聴覚障害のある人への生活支援技術として、手話によるコミュニケーション技術を習得する方法を学ぶことが出来ます。簡単な手話表現を理解し、手話や表情によりお互いの想いを伝えあうこともできるようになります。手話による会話の楽しさや表現力を学習することが出来ます。							
【到達目標】 ろう者と日常的な会話ができる。							

授業計画・内容		
1回目	「伝えあってみましょう」手や体の動きや表情を使って伝え合うことができる。	
2回目	「名前を紹介しましょう」自分の名前を用いて色々な方法で表現し、あいさつができる。	
3回目	「家族を紹介しましょう」疑問詞「だれ」を使って会話ができる。	
4回目	「数を使って話しましょう」疑問詞「いつ」「いくつ」「いくら」を使って会話ができる。	
5回目	「趣味について話しましょう」身近な話題を会話ができる。身振り、表情を工夫する。	
6回目	「仕事について話しましょう」今までの学習を活かして自分を紹介ができる。	
7回目	「住所を紹介しましょう」目の前の空間の使い方を学ぶ。指さし、イメージを持って表現ができる。	
8回目	「一日のことを話しましょう」時の表し方ができる。動詞の手話を覚える。	
9回目	「一か月のことを話しましょう」過去、現在、未来の表し方ができる。	
10回目	「一年のことを話しましょう」季節、月、年の表し方ができる。。疑問詞「どちら」、「～したい」を使って会話ができる。	
11回目	「パーティのことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。	
12回目	「旅行のことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。	
13回目	「日常生活の色々な場面での会話を学ぶ。」病院のこの話ができる。	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト(30%) ●期末テスト(70%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッ セージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	プロショップ PRO SHOP	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、キャリア教育を通して社会人基礎力を身につけ、自己理解を深めていきます。

【到達目標】

- (1)接客のプロとしてマナーを身につけることができる。
- (2)自己分析を徹底的に行い、自分の強み・弱みをすることで自己肯定感を高めることができる。
- (3)航空業界、CA業務についての知識を習得することができる。
- (4)5年後のビジョンを具体的に考え行動することができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション／授業の目的について理解することができる／自己紹介を通し、傾聴の仕方、伝え方の重要性を理解することができる	
2回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ①第一印象／挨拶	
3回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ②表情／身だしなみ	
4回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ③立ち居振舞／美しい所作	
5回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ④言葉遣い／ANNIにて正しいイントネーションを習得する	
6回目	将来のビジョンに対する明確な目標設定を行うことができる	
7回目	コミュニケーション能力の3つのスキル（話す力・聴く力・交渉する力）を身につけることができる	
8回目	リフレーミングを活用した表現力のスキルを身につけることができる	
9回目	自己分析ができる ①マインドマップの作成／エニアグラム診断	
10回目	自己分析ができる ②自分史作成	
11回目	自己分析ができる ③経験の分析／長所の抽出	
12回目	企業研究を行い、空港業務に関わる企業を徹底的に知ることができる	
13回目	今まで学習したことを復習し発表することができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	定期テスト 100%	
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。自分の目標をしっかりと持ち、それに向かってやるべきことを「見える化」しましょう！ 学生生活を有意義な時間にするのはあなた次第です！ 積極的に行動に移しましょう。みなさんの成長を楽しみにしています。	

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	HRS practice	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 実技試験官の経験を有する教員が過去問題を通じて実社会で通用する知識・学び方を身につけていきます。							
【到達目標】 全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上 〈具体的な目標〉 目標①課題の抽出と克服 目標②類似問題の見極め方 目標③問題の解き方							

授業計画・内容	
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2022年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解する事ができる。							
【到達目標】 ①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解する事ができる
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる
6回目	各チームの企画概要制作①
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～
9回目	各チームの企画概要制作できる
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～
11回目	各チームの企画概要制作できる
12回目	各チームの企画概要制作できる
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値を一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思っています。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間をお伝えします。頑張ってください！
【使用教科書・教材・参考書】	
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノート1冊準備し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	ワイン学 I Studay of Wine I	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ワインに関する基礎知識、楽しみ方を学び、ワインに親しめるようにします。 【実務経験】 博多和田門にてソムリエとして6年半勤務後、ホテルでの仕事に興味を持ちソラリア西鉄ホテル福岡にて3年勤務。 現在は西鉄グランドホテルのソムリエとして勤務。							
【到達目標】 代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し、ワインの奥深さ(歴史や産地、ワイナリーの特徴)を体得し説明できるようになる。□							

授業計画・内容	
1回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて知る
2回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を知る
3回目	①フランスワインについて説明できる(ボルドー、ブルゴーニュの2大産地)
4回目	②フランスワインについて説明できる(他のフランスの主要産地)
5回目	①フランス以外の旧世界のワインについて説明できる(イタリア、ドイツ、スペイン)
6回目	①新世界のワインについて説明できる(アメリカ、チリ、日本)
7回目	②新世界のワインについて説明できる(オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ)
8回目	地球環境とワイン: サステイナブルな取り組みについて知り説明できる
9回目	ワインと料理のペアリング(ペアリングのポイント、料理に合うワインの提案が出来るようになる)
10回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる
11回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる
12回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる
13回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる
14回目	★評価週
15回目	試験 試験の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	ワインは知識があるともっとおいしくなります。難しく考えずに楽しく学んで頂き、ワインに親しんでください。
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理料飲接客サービス技法、J.S.Aワイン検定ブロンズクラステキスト、ワイン一年生	

科目名 (英)	レストランマネジメントⅠ	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant management	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】							
実際の経験と手法を基に基礎から体系的に学んでいきます。							
【実務経験】							
レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【目標到達】							
成果を上げる為の考え方の習得							
目標①レストランマネジメントの全体像の把握							
目標②同業他社と競合他社を把握しマネジメント能力を高めていく							
目標③市場の店舗から売上予測や販売戦略を考えていく力を学びます。							
授業計画・内容							
1回目	売上(収益・収入)からレストランマネジメントの全体像を学ぶ事が出来る。						
2回目	勘定科目の収入と費用の基礎を学ぶ事が出来る。						
3回目	税金とサービス料金から見るレストラン収入の考え方を学ぶ事が出来る。						
4回目	課題を抽出出来、克服方法を考える事が出来る。						
5回目	売上構成比と客席回転率の考え方を学ぶ事が出来る。						
6回目	中間試験						
7回目	5つの益を知り収益構造の基礎を学ぶ事出来る。						
8回目	原価コントロールを学び適正価格の設定を考える事が出来る。						
9回目	事業特性の強みと弱みを学ぶ事が出来る。						
10回目	事業特性の機会と脅威を学ぶ事が出来る。						
11回目	RFM分析を用い保有顧客・稼働顧客の考え方を学ぶ事が出来る。						
12回目	課題を抽出出来、克服方法を考える事が出来る。						
13回目	試験対策						
14回目	★評価週		期末テスト				
15回目			期末テスト振り返り				
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる						
評価方法	筆記試験						
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見						
【使用教科書・教材・参考書】							
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法							

科目名 (英)	海外観光地理Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	Overseas tourism geography Ⅱ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） トラベル業界で営業職として4年間の実績のある専任教員が、6か国の基本情報・料理・観光地をわかりやすく、かつ行きたくないような情報を教えていきます。具体的には、実際にお客様に渡す資料を使って、学生をお客様と捉えて授業を行います。私自身がお客様に案内するように、行きたくない・行って楽しんでほしいと感じてもらうための授業を行います。そして、受講した学生が興味を持ち、お客様にも案内したくなると思います。また、実践的な授業だけでなく、エーブルペーカーチャーターや海外旅行の必要な準備など、実用的な授業も行っています。							
【到達目標】 ・各国の基本情報を学び、各国の特徴・歴史などを理解することができる ・観光地(世界遺産)を理解し、お客様に情報を提供できるようになる							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・授業の説明・授業の目的を知り。本授業で何を学ぶべきか学生自身で理解する	
2回目	①韓国(基本情報、料理)を理解することができる	
3回目	②韓国(観光地)の知識を深めることができる	
4回目	①台湾(基本情報、料理)を理解することができる	
5回目	②台湾(観光地)の知識を深めることができる	
6回目	①香港(基本情報、料理)を理解することができる	
7回目	②香港(観光地)の知識を深めることができる	
8回目	①上海(基本情報、料理)を理解することができる	
9回目	②上海(観光地)の知識を深めることができる	
10回目	①ニュージーランド(基本情報、料理)を理解することができる	
11回目	②ニュージーランド(観光地)の知識を深めることができる	
12回目	①カナダ(基本情報、料理)を理解することができる	
13回目	②カナダ(観光地)の知識を深めることができる	
14回目	★評価週	6か国の基本情報・料理・観光地のテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	6か国の基本情報・料理・観光地のテストを総復習
準備学習 時間 外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	本講義は、海外6か国の基本情報、料理、観光地を教えていきます。また、実践でも活用できるエーブルペーカーチャーターや海外旅行の必要な準備なども教えていきます。本講義を通して、海外への興味・魅力を高めて、海外のことを好きになってもらえたらと思います。	
【使用教科書・教材・参考書】		
旅に出たくなる地図		

科目名 (英)	フロントシステム実習 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Front System practice	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） パソコン活用の実務経験約20年以上あり、フロント受付システム活用経験約10年ある講師が、専門知識のもと、ホテルフロントでの受付に必須なシステムの概要と操作と指導育成します							
【到達目標】 TAPシステムとは何かを知ることが出来る。TAP検定3級に向け基本的な知識を身に付け、操作することが出来るようになる。							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション、システムの基本概念を理解することが出来る						
2回目	宿泊予約作成の習得ができる						
3回目	稼働状況管理(宿泊予約作成)ができる						
4回目	宿泊料金(宿泊予約作成)の作成ができる						
5回目	予約経路(宿泊予約作成)作成ができる						
6回目	客室アサイン(宿泊予約作成)ができる						
7回目	ケーススタディ(宿泊予約作成)ができる						
8回目	チェックイン(レセプション)の方法を習得できる						
9回目	滞在管理(レセプション)を理解できる						
10回目	会計(キャッシャー)の知識・動作ができる						
11回目	会計(キャッシャー)チェックアウト(キャッシャー)の基礎が習得できる						
12回目	総合インフォメーションができる						
13回目	フロントシステム総復習						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習	テキスト章末に操作練習問題がある章は、確認テストとして実習テストになります						
評価方法	確認テスト(20)と中間テスト(30)・期末テスト(50)						
受講生へのメッ セージ	ホテル業務に欠かせないシステム実習です。検定が実施されるようになり、キャリアアップになる資格取得となれば幸いです						
【使用教科書・教材・参考書】							
フロントシステム(ホテルIT実務検定対策テキスト)							

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ホテルマネジメント検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル業務に必要とされる知識を得る為、「ホテルビジネス実務検定試験 (H検) マネジメントレベル」の取得を目指して学習します。 テキスト(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問を参考に、要点を絞り検定に向け学習します。							
【到達目標】 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベルに合格する事ができる。							

授業計画・内容		
1回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
2回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習復習をして理解できる	
3回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
4回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
5回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
6回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
7回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
8回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
9回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
10回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復をして理解できる	
11回目	過去問を解く	
12回目	過去問を解く	
13回目	過去問を解く	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	毎授業に「ホテルビジネス 基礎編」のテキストを持ってくる。 授業の前までに次回授業でするテキストの内容を読んで予習をし、分からない用語など調べておく。宿題が出た場合は、期日までに必ずしてきましょう。 宿題や小テストをまとめるファイルを準備しておいて下さい。	
評価方法	後期試験の点数	
受講生への メッセージ	テキストの用語など難しく感じると思います。 分からない事は気軽に聞いてください。 90分の座学ですので、睡眠を十分にとり、授業中寝ないように体調管理に気を付けて下さい。 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベル取得を目指して頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ホテルビジネス 基礎編。 過去問プリン		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅠ Hotel Management	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の全体像を理解する事ができる。							
【到達目標】 基礎的なホテルマネジメントの知識を身に付けながらも、現代の宿泊業界でキャリアを目指す人材に必要なコンテンツを学びながら、自身のスキルでホテルを動かす、変える、売上を上げる事のできるマネージャーへの基礎を習得する事ができる							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・学生自己紹介・宿泊業界への思いについてフリーディスカッションを行い共有できる。
2回目	ホテルと旅館の違いについて議論できる。
3回目	ホテル・旅館における構造及び宿泊客への提供物の違いを学び理解できる
4回目	ホテル・旅館における料飲部門の役割、お客様へ与える価値を学び理解できる
5回目	ホテル・旅館における収支構造の理解できる(売上構造)
6回目	ホテル・旅館における収支構造の理解ができる(経費構造)
7回目	ホテル・旅館における収支構造の理解ができる(利益構造)
8回目	ホテル旅館におけるサービスが価格に影響するロジックを知り理解できる
9回目	自身の考える理想のホテルを計画することが出来る
10回目	自身の考える理想のホテル計画において、宿泊部門のブラッシュアップを目指すことが出来る
11回目	自身の考える理想のホテル計画において、飲食部門のブラッシュアップを目指すことが出来る
12回目	自身の考える理想のホテル計画において、マネジメント部門のブラッシュアップを目指すことが出来る
13回目	自身の考える理想のホテル計画において、マーケティング部門のブラッシュアップを目指すことが出来る
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度・出席50%、テスト評価50%
受講生へのメッセージ	目まぐるしく進化する宿泊業界で稼ぐ力を付けた人材を目指して欲しいと思っています。サービスは人を幸せにする自身のツールでありビジネススキルであるという考えを持つ事で、必要なスキルや知識をしっかりを学び、宿泊業界のキャリアを目指して欲しいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】 英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容		
1回目	現在、過去、および未来の行動を説明できる。 You'll be able to describe present,past, and future actions.	
2回目	誕生日や贈り物について話すことができる。友情について話せる。 You'll be able to talk about birthdays and gifts; talk about friendships.	
3回目	食べ物と食べ物の購入について話すことができる。 You'll be able to talk about food and buying food.	
4回目	食事時にゲストについて話すことができる。食べ物の好みを説明できる。 You'll be able to talk about being a guest at mealtime; descibe food preferences.	
5回目	食べ物の購入について話すことができる。食べ物を説明できる。 You'll be able to talk about buying food; describing food.	
6回目	レストランで食事をするについて話すことができる。レシピ。 You'll be able to talk eating in a restaurant; recipes.	
7回目	未来について話すことができる。確率について。 You'll be able to talk about the future; talk about probability.	
8回目	可能性について話すことができる。警告。 You'll be able to talk about possibility; warnings.	
9回目	比較できる。 アドバイスする。 You'll be able to make comparisons; give advice.	
10回目	自分の意見を表すことができる。 賛成と反対。 You'll be able to express your opinion; agree and disagree.	
11回目	人、場所、物事を説明できるようになる。 You'll be able to describe people, places, and things.	
12回目	デパートで買い物ができるようになる。 You'll be able to shop in a department store.	
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.	
14回目	★評価週	理解度テスト comprehension test
15回目		理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test	
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% , Class attendance 15%, Class attitude 5%	
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.	
【使用教科書・教材・参考書】		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	英語(リーディング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
高校用教科書ガイドの執筆および非常勤講師として従事。 自身の問題作成等の経験から出題者の思考を授業にフィードバックする。今回の授業では「英検」に関する問題、選択肢の特徴から、英検に特化した学習方法を共有する。							
【到達目標】 ①英語検定1級・準1級に向けて、自身の弱点を明確化することができる。②英語検定、準1級・1級を取得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	英検準1級取得に向けての学習方法、求められる能力を説明することでマインドセットにつなげることができる。
2回目	文章の要となる動詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで語彙力の増強につなげることができる。
3回目	名詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。
4回目	形容詞、副詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。
5回目	熟語に関する語彙問題の演習、解説。「熟語はあくまで構成している単語の意味の集合」であることを伝えることにより効率よく語彙力の増強を図ることができる。
6回目	リーディング問題への対応方法及びリーディング問題(Part2)演習、解説。これにより、リーディング学習の方向性を獲得することができる。
7回目	リーディング問題(Part2)演習、解説をすることで英文読解のメソッド及び選択肢のパターンなどを学ぶことができる。
8回目	長文読解の中でも難易度が上昇するリーディング問題(Part3)のポイント説明。これとリーディング問題(Part3)演習解説をすることで学習の足場を築くことができる。
9回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。
10回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。
11回目	リーディング問題(Part3)演習解説。今回は難問を扱うことでさらに問題への対応力の構築の一助とする。
12回目	英検ミニテスト1(語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点などを把握することができる。
13回目	英検ミニテスト2(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点、現時点での実力などを把握することができる。
14回目	★評価週
15回目	英検ミニテスト3(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、授業での到達度を把握することができる。
準備学習 時間外学習	ミスをした問題の復習。具体的には単語を覚えること、いかにして問題文からその単語が答えをしてつながるのかを考察することを実施する。 長文読解に関しては何度も読むことでスピードアップを図り、同時に理解を深める。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	英検準1級は語彙レベルでは高校レベルを超えたものになります。問題として出題される単語は普段見かけないものも多くあります。そのため積極的に自分から単語の習得をすることが一番の近道になります。 学習ベースができればいずれ合格レベルになります。一緒に英語を楽しみながらレベルアップしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
・英検準1級をたった7日で総復習 ・英検準1級 単語、熟語問題	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	英会話(ライティング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験:海外生活の体験が皆無なところから英検1級・TOEIC970点を修得した教員自身の学習経験と豊富なノウハウをもとに、英検準2級以上の実力をつけるための文法力を身に付けてもらう。 このレベルはかなりの実力は持ちながらも、まだ理解が曖昧で怪しい箇所もたくさんある層です。したがって各自の理解度を個別に慎重に評価しながら、しゃべる、聴く、読む、書く の4技能もフルに使いつつ楽しい授業を目指します。							
【到達目標】							
①英検検定準2級・2級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気を高めこれからの目標を設定することができる。
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
6回目	不定詞・動名詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
14回目	★評価週
15回目	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのため単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりとしましょう。
評価方法	中間テスト4割 期末テスト6割
受講生へのメッセージ	英検準2級、2級を超えられたら、英語の理解度や運用力がぐんと上がって、現実実践に使える手ごたえが感じられます。そうなったら英語学習はますます楽しくなってきますので、ぜひその境界を一緒に超えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
『高校英文法をひとつひとつわかりやすく』(学研) 『トレーニングノート英文法α』(受験研究社) ほか、長文プリントなど	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 従業員採用・教育分野で25年培った、新人育成の知見と、7年間の小中学生への学習指導で得た知見のある専任教員が、航空業界入試一次試験に合格するために必要な、算数・国語読解力を指導します。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も行います。							
【到達目標】 ①どの問題も時間内に50%以上の正答ができる ②全員、志望企業の一次試験を早期に突破できる							

授業計画・内容	
1回目	四則逆算のルールを理解することができる
2回目	四則逆算の基本問題を解くことができる
3回目	四則逆算のルールを理解することができる
4回目	四則逆算の基本問題を解くことができる
5回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる
6回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる
7回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる
8回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる
9回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる
10回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる
11回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる
12回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる
13回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	日々自宅学習を行ってください
評価方法	期末テスト100%
受講生へのメッセージ	本講義は、一次試験に必要な計算スキルを身に着けます。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ビジネス日本語 Japanese language proficiency test	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 日本語能力試験N2レベルの練習問題を中心に使用し、言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解と科目ごとをバランス良く、かつ実践的な対策授業を行います。							
【実務経験】 日本語学校(FLA学院、えにし日本語学校、日本教育学院など)にて14年勤務。初級から上級までの授業やJLPTやEJUの試験対策授業を担当し、主任教員としても教務および学生指導など学校業務全般に携わる。							
【到達目標】 12月の日本語能力試験で、それぞれの受験レベルに合格できる。							

授業計画・内容	
1回目	授業の説明を聞き、JLPT合格に向けた授業内容や取り組みが理解できる
2回目	漢字1週目 語彙－派生語や複合語がわかる 聴解－問題形式を知り、質問が理解できるようになる
3回目	漢字2週目 語彙－文脈に合った語を選ぶことができる 聴解－会話文を聞いてポイントがつかめるようになる
4回目	漢字3週目 語彙－同じ意味の語に置き換えることができる 聴解－話や会話から全体としてのテーマを理解することができる
5回目	模擬試験フィードバックし、弱点が理解できる 聴解－質問やお願いなどに合った答え方がわかる
6回目	漢字4週目 語彙－意味を理解し、正しい使い方がわかる 聴解－話を聞きながらメモが取れるようになる
7回目	漢字5週目 文字・語彙－時間配分を意識して問題を解くことができる 聴解－長めの話から、複数の情報を整理して内容が聞ける
8回目	漢字6週目 言語知識問題を時間配分を意識して解くことができる
9回目	漢字7週目 JLPTのフィードバック
10回目	漢字8週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(敬語・謙譲語)
11回目	漢字9週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(オノマトペ)
12回目	漢字10週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(慣用句)
13回目	漢字総復習
14回目	N2レベルの総復習
15回目	JLPTのFB 自己採点
準備学習 時間外学習	1週間分の練習問題を渡します。繰り返し行うことで、漢字や語彙は一つでも多く覚えましょう。
評価方法	筆記試験…模擬試験・漢字テスト
受講生への メッセージ	N2レベルは日本で働くうえで、よく使う表現や文法がたくさん出てきます。日本語でのコミュニケーション力を身につけ、N2の合格を目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスター 漢字・語彙 ドリル&ドリル 聴解・読解 公式問題集	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容	
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②
10回目	自分キャリアプランを作成する①
11回目	自分キャリアプランを作成する②
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	レポート提出100%
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
	work seminar	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科			2	曜日・時限		
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
就職活動における心構え 面接のロールプレイング 社会人としてのマナーを心得、基礎を身につける ※実務者経験：							
【到達目標】							
1年次の就職活動準備を踏まえ、個々の就職活動を個々らしさも表現し、社会人としての成長の基礎と応用を身につける ・面接力の向上 ・社会人マナー 授業で習得したことは、日頃より活用できること							
授業計画・内容							
1回目	授業計画説明・制服および就職活動時および面接時の身だしなみ確認						
2回目	面接ロールプレイング：面接とは？ 演習を行い身に付けることができる						
3回目	面接ロールプレイング：面接態度 演習を行い身に付けることができる						
4回目	面接ロールプレイング：言葉遣いなど中心に行う 演習を行い身に付けることができる						
5回目	面接ロールプレイング：自己PR・志望動機 ① 演習を行い身に付けることができる						
6回目	面接ロールプレイング：自己PR・志望動機 ② 印象のよい伝え方など演習を行い身に付けることができる						
7回目	面接ロールプレイング：個別 様々な質問対応 演習を行い身に付けることができる						
8回目	面接ロールプレイング：グループ・集団面接 演習を行い身に付けることができる						
9回目	面接ロールプレイング：総復習 演習を行い身に付けることができる						
10回目	社会人マナー：5大ポイント 演習を行い身に付けることができる						
11回目	社会人マナー：好印象のために 演習を行い身に付けることができる						
12回目	社会人マナー：名刺交換など 演習を行い身に付けることができる						
13回目	評価項目等の復習・質疑応答 演習を行い身に付けることができる						
14回目	★評価週		テスト				
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間 外学習	制服および就職活動時および面接時の身だしなみ確認 面接ロールプレイング 社会人マナー						
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。						
受講生へのメッ セージ	就職することがゴールになりすぎないよう、今後の社会人として長きにわたり生きていくスタートとして学んでください 面接は作ったものは通用しません。就職先に担う人として採用後の伸び代・意識が問われます 自己表現とともに、期待を行動・評価につなげれる意欲を伝えられるかを考えて学んでほしいです						

科目名 (英)	宿泊業務実習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Practice of Front Desk Accommodation Business II	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）					
サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績ある専任講師が、サービス業のホテルフロントとしての基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃の意識と行動を身につけることができる							
【到達目標】							
・サービス業界のビジネスマナーを知り、回数を重ねることで意識と行動を身につけることができる ・ホテルマンとしての心得と防災対応の基礎知識を知ることができる							
授業計画・内容							
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的を知る						
2回目	ロールプレイング：ホテルマンとしてのビジネスマナー（挨拶・表情・態度・身だしなみ）の基礎を知ることが出来る。						
3回目	ロールプレイング：ホテルマンとしての言葉使いと基本的対話スキル（話す・聴く・質問の仕方）を身につけることが出来る。						
4回目	ロールプレイング：ホテルの業務種類（宿泊・飲料・宴会・営業・管理部門）のマナーを知ることが出来る。						
5回目	ロールプレイング：宿泊部門をより客室について知ることが出来る。						
6回目	ロールプレイング：宿泊部門をよりフロントオフィス業務について知る 部門をより客室について知ることが出来る。						
7回目	ディスカッション：ホテルマンとしてフロント対応の質を知ることが出来る。 中間テスト						
8回目	ロールプレイング：ホテル業界の防災・安全管理を知ることが出来る。						
9回目	ロールプレイング：ホテルスタッフの役割と仕事への考えを身につけることが出来る。						
10回目	ディスカッション：コンプレイン対応を考えることが出来る。						
11回目	ロールプレイング：フロント業務ホテルマネジメントの基礎を知ることが出来る。						
12回目	評価課題の説明、ロールプレイング復習						
13回目	評価課題の説明						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習	・前回授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく ・次回の内容を予習する						
評価方法	・筆記70%、実習試験30%（ロールプレイング） （ホテルマンとして学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言）						
受講生への メッセージ	前期に学ばれた科目や内容もホテル業界全般に必要になります。前期の内容を活かし、ホテル宿泊の良さを自身で学び、提供する意識をもち、活用していただければ幸いです						
【使用教科書・教材・参考書】							
ホテル業界著書、マナー接遇参考書							

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	面接対策	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。

【到達目標】

- (1)自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。
- (2)やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。
- (3)採用試験合格のための応募書類を作成することができる。
- (4)面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。
- (5)就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト 100%
受講生へのメッセージ	この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう! 笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	進級制作 Upgrade program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②
10回目	自分キャリアプランを作成する①
11回目	自分キャリアプランを作成する②
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる
14回目	★評価週 レポート提出&プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試 これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	レポート提出100%
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	ユニバーサルマナー Comprehensive Service	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・ユニバーサルサービスとは何か、基本的な考え方から、必要性についての理解。 ・多様なお客様の特徴と対応方法、実践的手法の基礎的理解。 ユニバーサルマナー協会よりユニバーサルサービスの講習指導者の実績を有する 【到達目標】 <具体的な目標> ・ユニバーサルサービスが求められる背景を理解し、多様なお客様の特徴と対応方法を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・自己紹介・ユニバーサルサービスとは何かを理解することができる。
2回目	・ユニバーサルサービスの基本的な考え方、求められる背景を理解することができる。
3回目	・高齢者に多い病気、認知症の理解、障害を理解することができる。
4回目	・バリアフリーの理解、様々な環境でのバリア、ユニバーサルデザインを理解することができる。
5回目	・高齢のお客様の理解と対応方法、車いす基本操作ができる。
6回目	・車いすを使用しているお客様の理解と対応方法(車いす基本操作実習)をおこなうことができる。
7回目	・配慮が必要なお客様の理解と対応方法(知的・精神・身体・内部障害、妊婦、子ども連れなど)を学び実践することができる。
8回目	・目の不自由なお客様の理解と対応方法(視覚障害体験と介助方法実習)を学び実践することができる。
9回目	を学び実践することができる。・目の不自由なお客様の理解と対応方法(視覚障害体験と介助方法実習)
10回目	・テーブルへのご案内(車いす・杖・視覚障害者)、立ち上がり方、座位姿勢を学び実践することができる。
11回目	・テーブルへのご案内(車いす・杖・視覚障害者)、立ち上がり方、座位姿勢の実践することができる。
12回目	・ホテル・航空・旅行におけるユニバーサルデザインを理解し、今後のユニバーサルデザインを考えることができる。
13回目	・ユニバーサルマナー検定2級講習
14回目	筆記試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	これから、高齢化社会に突き進むうえで、身体面でのサポートを必要とされる方が増えていく傾向となります。その上で、業界で活躍する上でもユニバーサルマナーを理解し、多様化するニーズに合わせて接客できる人材となれるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】 授業毎にプリントを配布	

科目名 (英)	マナープロトコール2級 Manner Protocol(2nd level)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 1年生で学習した内容を再度テキストと問題集で復習し、理解を深めます。更に繰り返し問題を解くことで2級の問題形式にも慣れ、自信を持って2級の検定試験に臨めるよう指導していきます。							
【実務経験】 NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。ニチイ学館委託講師21年、接遇マナー研修担当。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。							
【到達目標】 「マナー・プロトコール検定2級」の合格を目指すことが出来る。更に上の資格を目指すことで、マナーに対しての興味や意識を高く持つことが出来る。日常生活の中にも学んだマナーの知識を取り入れることで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。更に上の資格を取得することで、就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。							

授業計画・内容		
1回目	第1章マナーの歴史と意味、第2章国際人としてのプロトコールの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第1章、第2章まとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
2回目	第3章社会人に必要なマナーの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第3章まとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
3回目	第4章ビジネスシーンのマナーの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第4章まとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
4回目	第5章食事のマナーの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第5章のまとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
5回目	模擬テスト：模擬問題④を解き、第5章までの復習を行う。 ナー：お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことが出来る。問題集の該当問題を解き、理解を深める。第6章まとめテストを行う。	お酒のマ
6回目	中間テスト：第5章までの内容とお酒のマナー、解説、振り返り	
7回目	第7章「冠」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第7章のまとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
8回目	第8章「婚」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第8章のまとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
9回目	第9章「葬」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第9章のまとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
10回目	第10章「祭」のしきたりの復習：問題を解き、テキストで振り返ることで理解を深めることが出来る。第10章のまとめテストを行う。2級の問題を解くことで問題形式に慣れることが出来る。	
11回目	試験対策①：2級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。（3級希望者には3級の模擬問題）	
12回目	試験対策②：2級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。（3級希望者には3級の模擬問題）	
13回目	期末試験	
14回目	★評価週	期末試験振り返り
15回目		マナー・プロトコール2級検定試験 ※1年次3級不合格者は3級受験も可
準備学習 時間外学習	問題集を復習する。	
評価方法	期末試験	
受講生へのメッセージ	1年生の時に座学、DVD視聴、実践等を通して学んだマナー・プロトコールの知識を活かし、更に上の資格を目指します。「マナー・プロトコール検定試験2級」という資格を取得することで、目指すホテル業、観光業、サービス業界等、幅広くビジネスの第一線で自信を持って知識を活かすことが出来るでしょう。模擬問題を繰り返し解くことで検定試験に対応出来る力をつけていきます。「マナー・プロトコール検定試験2級」目を指して一緒に頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
「マナー＆プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	インバウンドⅡ Inbound	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国土交通省観光庁認定1級講師より、宿泊業や観光業にかかわるインバウンドの旅行の特徴、国籍による考え方の違いを学ぶ。実際のデータや実体験のストーリーをもとに、インバウンドのお客様に喜んでいただく日本での過ごし方を探っていく。また外国語が苦手でもツールを使ってコミュニケーションをとる方法を具体的に学ぶ。							
【到達目標】 異文化を理解することができる 外国のお客様に通じる接遇をの基本を理解できる 外国のお客様を迎える心構えとそのポイントをすることができる。 外国のお客様とデバイスやコミュニケーションシートを使って積極的にコミュニケーションをとることができる。 英語で簡単な挨拶ができる							

授業計画・内容		
4月14日	自己紹介、授業の進め方	
4月21日	数字で見る日本の観光実態（インバウンドの数字の移り変わり）	
4月28日	外国のお客様に伝わる接遇の基本を学ぶ	
5月12日	外国のお客様をお迎えするときのポイントを学ぶ	
5月19日	ホスピタリティについて学ぶ	
5月26日	コミュニケーションの方法について学ぶ	
6月2日	多言語コミュニケーションシートを使って実践をしてみる	
6月9日	多言語コミュニケーションシートを使って実践をしてみる	
6月16日	スマホやタブレットを使って実践をしてみる	
6月23日	スマホやタブレットを使って実践をしてみる	
6月30日	日本の常識は世界の常識ではないことを学ぶ	
7月7日	英語で簡単な挨拶と指示ができるようになる	
7月14日	英語で簡単な挨拶と指示ができるようになる。	
9月1日	★評価週	
9月8日	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	国交省観光庁が監修したコミュニケーションシートとVoice Traを導入して事前に自分でトライしてみる	
評価方法	期末テスト100%（実践も含む）	
受講生へのメッセージ	日本のインバウンド対応に関してはコロナを境にマスで処理する大型観光から、個人対応それもナイトタイムエンターテインメントを大事にするに変わりつつあります。IRを含めた総合的な対応を学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
多言語コミュニケーションシート、Voicetra		

科目名 (英)	日本語 Japanese Language	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	小金丸 泰子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前後期 水曜3.4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 問題演習形式を中心に、個々の到達目標に合わせて、文字・語彙・文法・読解・聴解をバランスよく、かつ実践的に対策授業を行います。							
【実務経験】 日本語学校等に15年勤務。初級から上級までの日本語の授業やJLPTやEJUの試験対策授業を担当し、主任教員としても教務および学生指導など学校業務全般に携わる。							
【到達目標】 JLPT N1,N2の取得に必要な言語知識(文字・語彙・文法)読解、聴解の能力が身につく、運用できる。 企業様が求めているN1を取得し、就職活動に備えることができる。							

授業計画・内容		
1 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる①	聴解－課題の解決に必要な情報を聞き取り適切な行動が選択できる① 読解－文章を読み、概要、筆者の考え、主張などを理解し、素早く正解にたどり
2 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる②	聴解－課題の解決に必要な情報を聞き取り適切な行動が選択できる② 読解－文章を読み、概要、筆者の考え、主張などを理解し、素早く正解にたどり
3 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる③	聴解－課題の解決に必要な情報を聞き取り適切な行動が選択できる③ 読解－文章を読み、概要、筆者の考え、主張などを理解し、素早く正解にたどり着
4 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる④	聴解－課題の解決に必要な情報を聞き取り適切な行動が選択できる④ 読解－文章を読み、概要、筆者の考え、主張などを理解し、素早く正解にたどり
5 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる⑤ 読解－文章を読み、概要、筆者の考え、主張などを理解し、素早く正解にたどり着くことができる⑤	聴解－課題の解決に必要な情報を聞き取り適切な行動が選択できる⑤
6 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる⑥	聴解－話全体から意図や主張などを理解して聞き取ることができる① 読解－複数の文章を読んで意見を比較、または統合したり、広告やお知らせ文
7 回目	模擬テスト① FB	聴解－話全体から意図や主張などを理解して聞き取ることができる②
8 回目	模擬テスト② FB	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる⑦ 読解－複数の文章を読んで意見を比較、または統合したり、広告やお知らせ文か
9 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる⑧	聴解－話全体から意図や主張などを理解して聞き取ることができる③ 読解－複数の文章を読んで意見を比較、または統合したり、広告やお知らせ文か
1 0 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる⑨	聴解－話全体から意図や主張などを理解して聞き取ることができる④ 読解－複数の文章を読んで意見を比較、または統合したり、広告やお知らせ文
1 1 回目	受験レベルの語彙や文法の意味・用法がわかり使うことができる⑩	聴解－話全体から意図や主張などを理解して聞き取ることができる⑤ 読解－複数の文章を読んで意見を比較、または統合したり、広告やお知らせ文
1 2 回目	JLPTのフィードバックと総復習	
1 3 回目	これからの自分にとって有意義な過ごし方を考えて、周りの人と生活の工夫や時間の使い方などの情報をやり取りすることができる	
1 4 回目	★評価週	期末テスト
1 5 回目	★まとめ・追試/再試	期末テストのフィードバック 後期へ向けての学習計画を考えることができる
準備学習 時間外学習	授業で行った問題で、わからなかった語彙や表現を調べてきてください。漢字の持つ意味や語彙を覚えることで、理解も早くなります。 毎回の授業で、受験レベルの語彙テストも行います。	
評価方法	筆記試験－期末テスト・語彙テスト	
受講生へのメッ セージ	JLPTの問題形式に沿った練習を行い、語彙や文型の正しい使い方を覚えていきます。 表現力、運用力を高めるためには、授業で行ったことの復習が大切です。 授業ではアウトプットすることを意識して、練習問題を繰り返し行うことで合格を目指しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
新完全マスター単語N2、N1、 できる日本語中級 日本語能力試験ベスト総合問題集、日本語能力試験公式問題集		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	実用英語検定対策	必修 選択	必須	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験: 英語講師歴20年以上。英語翻訳実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル) 受講終了などの経歴及び資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。							
【到達目標】							
英検2級に合格できる。英語を使ってビジネスができる。							

授業計画・内容	
1回目	英検合格に必要な英単語及び英熟語を学ぶ。英文法の総復習／英単語・英熟語／ライティング練習／リスニング練習(申し込み期間3月31日～5月2日)
2回目	英検合格に必要な英単語及び英熟語を学ぶ。英文法の総復習／英単語・英熟語／ライティング練習／リスニング練習
3回目	英検合格に必要な英単語及び英熟語を学ぶ。英文法の総復習／英単語・英熟語／ライティング練習／リスニング練習
4回目	英検の過去問を解き、受験本番にに備える。英語検定過去問題
5回目	英検の過去問を解き、受験本番にに備える。英語検定過去問題
6回目	英検の過去問を解き、受験本番にに備える。英語検定過去問題
7回目	英検の過去問を解き、受験本番にに備える。英語検定過去問題 (英語検定本会場受験日 6月4日)
8回目	英検面接試験の実戦練習を行い、面接試験本番に備える。英検面接練習・ビジネス英語スピーキング
9回目	英検面接試験の実戦練習を行い、面接試験本番に備える。英検面接練習・ビジネス英語スピーキング
10回目	英検面接試験の実戦練習を行い、面接試験本番に備える。英検面接練習・ビジネス英語スピーキング
11回目	英検面接試験の実戦練習を行い、面接試験本番に備える。英検面接練習・ビジネス英語スピーキング(英語検定本会場面接受験日 7月2日)
12回目	実際の接客業務で使用する英表現を学ぶ。自身の英文レジメを作成する。ビジネス英語スピーキング・英文レジメ・ビジネスレター
13回目	実際の接客業務で使用する英表現を学ぶ。自身の英文レジメを作成する。ビジネス英語スピーキング・英文レジメ・ビジネスレター
14回目	★評価週: ビジネス英語スピーキングテスト・英文レジメ・ビジネスレター提出
15回目	イベントクラス: 生徒and講師による企画クラス
準備学習 時間外学習	相当量の学習課題が出され、指定された期日までに提出された課題の採点点数+スピーキング実践の英検方式での採点点数の合計が総評価となる。したがって提出期日までに間に合わない場合は時間外学習も必要。
評価方法	指定された期日までに提出された課題を採点。スピーキング実践を英検方式で採点。合計の点数が評価となる。
受講生への メッセージ	今学期は、現在までの英語学習の総仕上げとなる。英文法の総復習及び英単語熟語の学びなおしから、実践的なビジネス英語学習まで行う。自身の頑張りは今後の社会生活で通用するものになるので、前向きに取り組むこと。
【使用教科書・教材・参考書】	
プリント、音声ファイル、過去問題集など	

科目名 (英)	セルフマネジメント Self Management	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	IR・ホテル&リゾート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 保育者養成校にて『子育て心理学』『発達心理学』『表現指導法』などの授業を担当。また、東京学芸大学の高尾隆准教授(現在は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)に師事、“Improvisation”の手法を学び、それを基にしたコミュニケーション技法に関するワークショップやセミナーを実施。 【授業内容】 半年後に就職を控えた学生たちが、それぞれのフィールドへ出て行く際にひとつの武器となるような対人コミュニケーションスキルを養う。 座学と実技を交えた授業を実施し、実践的な内容の授業を行います。							
【到達目標】 就職後に接客業に就く学生がコミュニケーション心理学について知り、自身の対人コミュニケーションスキルとして身につける。							

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・導入を行い、全15回の授業の目的と身につけたい姿を講師と共有することができる。	
2回目	良好なコミュニケーションを考え、言語・非言語コミュニケーションが与える印象についてロールプレイングを通して知ることができる。	
3回目	自身のエゴグラム分析の実施を通して、エゴグラムの内容を理解できるようにする。	
4回目	社会活動を行う中での人間関係の形成やその問題について考察し、各自の得手不得手について整理することができる。	
5回目	コミュニケーションスキル①13の手法を紹介・実践を通して基礎となるコミュニケーション技法を知ることができる。	
6回目	コミュニケーションスキル②バイステックの7原則 内容について知り、実生活にどのように活用できるかを考えられるようにすることができる。	
7回目	コミュニケーションスキル③インプロ 実際にインプロゲームを体験することでコミュニケーションスキルへの理解を深めることができる。	
8回目	人間関係の考察：友人関係の形成やその問題事象を考察したり、恋愛関係においての親密さや愛情が変動するメカニズムについて知ることができる。	
9回目	匿名性の強いソーシャルメディア上のコミュニケーションの特徴と問題について、事例を通して考察しその問題点を考えられるようにすることができる。	
10回目	匿名性の強いソーシャルメディア上のコミュニケーションの特徴と問題について、事例を通して考察しその問題点を考えられるようにすることができる。	
11回目	講義と実践を通してアンガーマネジメントについて知り、怒りのコントロール方法とその目的・効果について知ることができる。	
12回目	講義と実践を通してアンガーマネジメントについて知り、怒りのコントロール方法とその目的・効果について知ることができる。	
13回目	講義と実践を通してアンガーマネジメントについて知り、怒りのコントロール方法とその目的・効果について知ることができる。	
14回目	★評価週	
15回目	まとめ	授業を通して学んだことを行い理解を深めることができる。
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	授業中の発言や積極性(40%)・期末試験(60%)	
受講生へのメッセージ	この授業を通して、皆さんが心理学的な接客スキルを学ぶだけでなく前向きな気持ちで卒業できるようなご支援ができればと思っています。	
【使用教科書・教材・参考書】		
特になし		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	プロショップ PRO SHOP	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前後期
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、キャリア教育を通して社会人基礎力を身につけ、自己理解を深めていきます。							
【到達目標】 (1)接客のプロとしてマナーを身につけることができる。 (2)自己分析を徹底的に行い、自分の強み・弱みをすることで自己肯定感を高めることができる。 (3)航空業界、CA業務についての知識を習得することができる。 (4)5年後のビジョンを具体的に考え行動することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／授業の目的について理解することができる／自己紹介を通し、傾聴の仕方、伝え方の重要性を理解することができる
2回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ①第一印象／挨拶
3回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ②表情／身だしなみ
4回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ③立ち居振舞／美しい所作
5回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ④言葉遣い／ANNIにて正しいイントネーションを習得する
6回目	将来のビジョンに対する明確な目標設定を行うことができる
7回目	コミュニケーション能力の3つのスキル（話す力・聴く力・交渉する力）を身につけることができる
8回目	リフレーミングを活用した表現力のスキルを身につけることができる
9回目	自己分析ができる ①マインドマップの作成／エニアグラム診断
10回目	自己分析ができる ②自分史作成
11回目	自己分析ができる ③経験の分析／長所の抽出
12回目	企業研究を行い、空港業務に関わる企業を徹底的に知ることができる
13回目	今まで学習したことを復習し発表することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト 100%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。自分の目標をしっかりと持ち、それに向かってやるべきことを「見える化」しましょう！ 学生生活を有意義な時間にするのはあなた次第です！ 積極的に行動に移しましょう。みなさんの成長を楽しみにしています。

科目名 (英)	手話Ⅰ・Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	sign languageⅠ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 手話奉仕員養成講座講師として17年・手話通訳養成講座指導者として3年・外部手話講師として13年間行ってきた講師から、聴覚障害のある人への生活支援技術として、手話によるコミュニケーション技術を習得する方法を学ぶことが出来ます。簡単な手話表現を理解し、手話や表情によりお互いの想いを伝えあうこともできるようになります。手話による会話の楽しさや表現力を学習することが出来ます。							
【到達目標】 ろう者と日常的な会話ができる。							

授業計画・内容		
1回目	「伝えあってみましょう」手や体の動きや表情を使って伝え合うことができる。	
2回目	「名前を紹介しましょう」自分の名前を用いて色々な方法で表現し、あいさつができる。	
3回目	「家族を紹介しましょう」疑問詞「だれ」を使って会話ができる。	
4回目	「数を使って話しましょう」疑問詞「いつ」「いくつ」「いくら」を使って会話ができる。	
5回目	「趣味について話しましょう」身近な話題を会話ができる。身振り、表情を工夫する。	
6回目	「仕事について話しましょう」今までの学習を活かして自分を紹介ができる。	
7回目	「住所を紹介しましょう」目の前の空間の使い方を学ぶ。指さし、イメージを持って表現ができる。	
8回目	「一日のことを話しましょう」時の表し方ができる。動詞の手話を覚える。	
9回目	「一か月のことを話しましょう」過去、現在、未来の表し方ができる。	
10回目	「一年のことを話しましょう」季節、月、年の表し方ができる。。疑問詞「どちら」、「～したい」を使って会話ができる。	
11回目	「パーティのことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。	
12回目	「旅行のことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。	
13回目	「日常生活の色々な場面での会話を学ぶ。」病院のこの話ができる。	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト(30%) ●期末テスト(70%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッ セージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
航空業界入試一次試験に合格するために必要な、計算力・読解力を指導する。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いなどを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も図る。							
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間小中学生への学習指導を続ける							
【到達目標】							
SPIとは何かを知り、基本的な計算問題に取り組みSPIでの自身の弱点を見つけその弱点の克服に向けて何をすればよいのかを計画を立て、実行することができる。							

授業計画・内容	
1回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる
2回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる
3回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる
4回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる
5回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる
6回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる
7回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる
8回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる
9回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる
10回目	新たな予想問題①50問を時間内に半分以上、解くことができる
11回目	新たな予想問題②50問を時間内に半分以上、解くことができる
12回目	新たな予想問題③50問を時間内に半分以上、解くことができる
13回目	新たな予想問題④50問を時間内に半分以上、解くことができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
必要なものを、その都度、お渡しします。	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ビジネス日本語 Japanese language proficiency test	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 日本語能力試験N2レベルの練習問題を中心に使用し、言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解と科目ごとをバランス良く、かつ実践的な対策授業を行います。							
【実務経験】 日本語学校(FLA学院、えにし日本語学校、日本教育学院など)にて14年勤務。初級から上級までの授業やJLPTやEJUの試験対策授業を担当し、主任教員としても教務および学生指導など学校業務全般に携わる。							
【到達目標】 12月の日本語能力試験で、それぞれの受験レベルに合格できる。							

授業計画・内容	
1回目	授業の説明を聞き、JLPT合格に向けた授業内容や取り組みが理解できる
2回目	漢字1週目 語彙－派生語や複合語がわかる 聴解－問題形式を知り、質問が理解できるようになる
3回目	漢字2週目 語彙－文脈に合った語を選ぶことができる 聴解－会話文を聞いてポイントがつかめるようになる
4回目	漢字3週目 語彙－同じ意味の語に置き換えることができる 聴解－話や会話から全体としてのテーマを理解することができる
5回目	模擬試験フィードバックし、弱点が理解できる 聴解－質問やお願いなどに合った答え方がわかる
6回目	漢字4週目 語彙－意味を理解し、正しい使い方がわかる 聴解－話を聞きながらメモが取れるようになる
7回目	漢字5週目 文字・語彙－時間配分を意識して問題を解くことができる 聴解－長めの話から、複数の情報を整理して内容が聞ける
8回目	漢字6週目 言語知識問題を時間配分を意識して解くことができる
9回目	漢字7週目 JLPTのフィードバック
10回目	漢字8週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(敬語・謙譲語)
11回目	漢字9週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(オノマトペ)
12回目	漢字10週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(慣用句)
13回目	漢字総復習
14回目	N2レベルの総復習
15回目	JLPTのFB 自己採点
準備学習 時間外学習	1週間分の練習問題を渡します。繰り返し行うことで、漢字や語彙は一つでも多く覚えましょう。
評価方法	筆記試験…模擬試験・漢字テスト
受講生への メッセージ	N2レベルは日本で働くうえで、よく使う表現や文法がたくさん出てきます。日本語でのコミュニケーション力を身につけ、N2の合格を目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスター 漢字・語彙 ドリル&ドリル 聴解・読解 公式問題集	

福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	ディーリング & カジノマネジメント	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Dealing & Casino Management	授業 形態	講義・実習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
・海外事例にみるIR(統合型リゾート)の有効性・世界のカジノの歴史と文化・日本IRの有効性(法律・制度設計・開発計画)・カジノの本質とレスポンシブルゲーミング・カジノディーリング実技(基礎・ブラックジャック・バカラ・ルーレット・ポーカー)・カスタマーサービスについて学ぶ。 ・海外のIR施設(シンガポール等)でカジノリーディングの実務を行ってきた講師が本場のカジノマネジメントとディーリング技術の基礎を実習を通して教えていきます。							
【到達目標】							
世界で通用するカジノディーリング技術と知識の習得。日本のIRを正しく理解することで将来のIRビジネスへのビジョンを持つこと。							
授業計画・内容							
1回目	IR講義: オリエンテーション(20)、海外IRの成功事例と有効性、世界のカジノの歴史と文化、日本IRの法制化と開発計画 について理解できる						
2回目	カジノゲーム体験: ブラックジャック *テーブルマナーとゲームルールを学び実践できる						
3回目	カジノディーリング実技: 基礎(チップワーク、スタッキング、ドロップカット、サイジング、カットティング/トランザクション) が出来るようになる						
4回目	カジノディーリング実技: 基礎(チップワーク、スタッキング、ドロップカット、サイジング、カットティング/トランザクション) が出来るようになる						
5回目	カジノディーリング実技: 基礎(カードワーク、カードシャッフル、マルチデックシャッフル) が出来るようになる						
6回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック1(基礎) のディーリングが出来るようになる						
7回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック2(基礎) のディーリングが出来るようになる						
8回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック3(基礎) のディーリングが出来るようになる						
9回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック4(応用) のディーリングが出来るようになる						
10回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック5(応用) のディーリングが出来るようになる						
11回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック6(応用) のディーリングが出来るようになる						
12回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック7(総合) のディーリングが出来るようになる						
13回目	カジノディーリング実技: ブラックジャック8(総合) のディーリングが出来るようになる						
14回目	★評価週		★期末試験(筆記試験)				
15回目	★まとめ・追試/再試		★前期総評、映画鑑賞「バグジー」(1991年:150分)				
準備学習 時間外学習							
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10%+ 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。なお、本授業 における技術評価は以下の割合にておこなう。 前期試験:実技試験(30問)						
受講生へのメッ セージ	IR(統合型リゾート)は近い将来日本に誕生する新規産業であり、カジノディーラーは日本で初めて誕生する特殊技能職です。IRの有効性とカジノの本質 をしっかりと理解し、楽しくディーリングを学んでください。						
講師が用意するハンドアウト資料、プレイングカード(1人に1デッキ配付)							

科目名 (英)	卒業制作	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
	Graduation Production	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科					曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 【学習内容】 バー勤務経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を講義と演習を交え、卒業制作に向けて実践にて学ぶ事が出来る授業です。 【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務) 調理師免許保有 【到達目標】 個々の知見を深め技術の探求と達成感を目標設定とします 〈具体的な目標〉 目標①場面での課題に向き合い改善方法を見つけられる考え方を持ちます 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養います 目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化
--

授業計画・内容	
1回目	卒業制作の草案を練り、行動計画を考える事が出来る
2回目	作品①を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
3回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
4回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
5回目	作品②を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
6回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
7回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
8回目	中間試験（作品提案とデータ化）
9回目	作品③を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
10回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
11回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
12回目	制作発表の準備を行い改善点を抽出し克服出来る
13回目	作品提案とデータ化
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	卒業制作提出
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2022年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	90 6	開講区分 曜日・時限	前後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解する事ができる。							
【到達目標】 ①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解する事ができる
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる
6回目	各チームの企画概要制作①
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～
9回目	各チームの企画概要制作できる
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～
11回目	各チームの企画概要制作できる
12回目	各チームの企画概要制作できる
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思っています。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間をお伝えします。頑張ってください！
【使用教科書・教材・参考書】	
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノート1冊準備し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2022年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	ソムリエ実習 Practice of Sommelier	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 業界の現場に必要なワインサービスの基礎知識と基礎スキルを実技学習でフォローアップいたします ※実務経験 株式会社Plan.Do.See ホテル・レストラン店舗のソムリエとして福岡・東京・名古屋にて11年間勤務 その後独立ワインバー マルカッサン3Fを開業 現在に至る							
【到達目標】 ワイン検定 プロンズクラス受験に挑戦できるスキルを身につけることができる ワインサービスの基礎を理解し実践できる							

授業計画・内容	
1回目	ワインのサービス概要 ワインサービスの全体的な流れを理解する
2回目	①ワインサービス お客様のエスコートからワインオーダーテイク サービス備品セッティングをすることができる
3回目	②ワインサービス ワインの抜栓を実践し挑戦する
4回目	②ワインサービス ワインの抜栓を実践し挑戦する
5回目	①サービスシーン(デート・記念日)を理解しワインサービスができる
6回目	②サービスシーン(ビジネス・接待)を理解しワインサービスができる
7回目	①ワイン別シーン(白ワイン)を理解しワインサービスができる
8回目	②ワイン別シーン(赤ワイン)を理解しワインサービスができる
9回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる
10回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる
11回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる
12回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる
13回目	最終全体まとめ 全員がワインのパニエ抜栓のスキルを習得できている
14回目	* 試験
15回目	* 試験解答解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技試験
受講生へのメッセージ	本講義では実際の業界現場で活かせる実技体験を習得してもらえる講義内容です 積極的に挑戦し回数を重ねることでレベルアップにつながります
【使用教科書・教材・参考書】	
日本ソムリエ協会教本 西洋料理 料飲接客サービス技法教本	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2022年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	レベニューマネジメントⅠ revenue management Ⅰ	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
学 科・コ ー ス	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
ホテルパシフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に所属した。 2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として 株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からその重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導によって、数値分析問題などを中心に指導実施する。							
様々な種類やランクのホテル経営シュミレーションを自分で考え、「収益の高い宿泊料の決め方」や「リピーターに繋がる顧客満足の作り方」を発見していくことが出来るようになる。 レベニューマネジメントをマーケティング手法と捉え、レベニューマネジメントがどの様に実践されているかを検証することが出来る様になる。							

授業計画・内容		
1回目	レベニューマネジメントⅡ の授業進行説明 レベニュー基本用語を再確認し、教科進行を理解しやすくなる	
2回目	レベニューマネジメントの目的とは？ 何かを再認識して教科目的のポイントをつかむことが出来る	
3回目	戦略的価格設定 マーケティング分析4Pにおける価格の重要性を知り、日常的に見る商品価格の背景を考えることが出来る	
4回目	価格設定にあたり、価値の果たす役割を考える。品質と価格、サービスと価格の関係性を考えることが出来る	
5回目	レベニューマネジメントの10原則を知ることで、次週に続くレベニューマネージャーの役割を知ることが出来る	
6回目	レベニューマネージャーの役割 と レベニューマネジメントの工程を認識することが出来る	
7回目	需要予測の重要性 近未来を予測することが企業にとっていかに重要かを知ることが出来る	
8回目	在庫と価格管理 具体的なRMの実態はAIが処理するが、その仕組み概要を理解することが出来る	
9回目	流通経路管理 客室販売の流通経路別の管理と自社サイトの適切な管理法を理解するこが出来る	
10回目	宿泊産業のレベニューマネジメント実績評価 RevPARが上昇しても利益が減少した事例の訳を考える事でコストを理解することが出来る	
11回目	飲食業界のレベニューマネジメント 宿泊業と比較しながら、飲食業でのRMを知ることが出来る	
12回目	飲食業界のレベニューマネジメント実績評価	
13回目	レベニューマネジメントの応用事例 宿泊・飲食 以外での事例を探り、未来ビジネスの中でRMの生かされ方を考えることが出来る	
14回目	★評価週	レベニューマネジメントやマーケティングに関連した筆記試験 前期内の小テストから抜粋問題
15回目		追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	ダイナミックプライシングなどの価格設定が身近に触れるようになりました。共通するのは在庫が翌日以降に持ち越せない商品が主になりますが、それ以外にも応用される商品が増えています。価格設定のシステム作業はAIによって判断され、デジタル作業になっているが本教科ではレベニューマネジメントの仕組みを深掘りして授業を進める。	
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出	
受講生への メッセージ	難解じみた教科名ですが、学生の皆さんが普段触れている商品価格に関心を持って情報収集するだけで、学習効果は上がります。AMAZONは一日に商品価格を何十回も変更しているそうです。価格は需要と供給で変化するのは今回の原油価格高騰で理解できたと思います。 グループディスカッションなども交えて楽しい授業にしよう。 3年次は社会人への助走期間です。就活と合わせ前向きに行こう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。 また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ、自らが自調・(情報収集して調べ) 自考・(調べた結果を自分で考える) 事が出来る様な授業と致したい。		

科目名 (英)	レベニューマネジメントⅡ revenue management Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルパシフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に所属した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として 株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からその重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導によって、数値分析問題などを中心に指導実施する。							
レベニューマネジメントⅠで学んだことを生かし、様々な種類やランクのホテル経営シミュレーションを自分で考え、「収益の高い宿泊料の決め方」や「リピーターに繋がる顧客満足への作り方」を発見していくことが出来るようになる。 レベニューマネジメントをマーケティング手法と捉え、レベニューマネジメントがどの様に実践されているかを検証することが出来る様になる。							

授業計画・内容		
1回目	レベニューマネジメントⅡ の授業進行説明 レベニュー基本用語を再確認し、教科進行を理解しやすくなる	
2回目	レベニューマネジメントの目的とは？ 何かを再認識して教科目的のポイントをつかむことが出来る	
3回目	戦略的価格設定 マーケティング分析 4 Pにおける価格の重要性を知り、 日常的に見る商品価格の背景を考えることが出来る	
4回目	価格設定にあたり、価値の果たす役割を考える。品質と価格、サービスと価格の関係性を考えることが出来る	
5回目	レベニューマネジメントの10原則を知ることで、次週に続くレベニューマネージャーの役割を知ることが出来る	
6回目	レベニューマネージャーの役割 と レベニューマネジメントの工程を認識することが出来る	
7回目	需要予測の重要性 近未来を予測することが企業にとっていかに重要かを知ることが出来る	
8回目	在庫と価格管理 具体的なRMの実態はAIが処理するが、その仕組み概要を理解することが出来る	
9回目	流通経路管理 客室販売の流通経路別の管理と自社サイトの適切な管理法を理解する ことが出来る	
10回目	宿泊産業のレベニューマネジメント実績評価 RevPARが上昇しても利益が減少した事例の訳を考える事でコストを理解することが出来る	
11回目	飲食業界のレベニューマネジメント 宿泊業と比較しながら、飲食業でのRMを知ることが出来る	
12回目	飲食業界のレベニューマネジメント実績評価	
13回目	レベニューマネジメントの応用事例 宿泊・飲食 以外での事例を探り、未来ビジネスの中でRMの生かされ方を考えることが出来る	
14回目	★評価週	レベニューマネジメントやマーケティングに関連した筆記試験 前期内の小テストから抜粋問題
15回目		追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	ダイナミックプライシングなどの価格設定が身近に触れるようになりました。共通するのは在庫が翌日以降に持ち越せない商品が主になりますが、それ以外にも応用される商品が増えています。価格設定のシステム作業はAIによって判断され、デジタル作業になっているが本教科ではレベニューマネジメントの仕組みを2年次教科のレベニューマネジメント！を深掘りして授業を進める。	
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出	
受講生への メッセージ	難解じみた教科名ですが、学生の皆さんが普段触れている商品価格に関心を持って情報収集するだけで、学習効果は上がります。AMAZONは一日に商品価格を何十回も変更しているそうです。価格は需要と供給で変化するのは今回の原油価格高騰で理解できたと思います。 グループディスカッションなども交えて楽しい授業にしよう。 1限なので、遅刻しない様にしよう！！ 習慣が人生を変えます。3年次は社会人への助走期間です。就活と合わせ前向きに行こう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。 また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ」、自らが自調・(情報収集して調べ) 自考・(調べた結果を自分で考える) 事が出来る様な授業と致したい。		

科目名 (英)	ワイン学Ⅱ study of wineⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ドイツでドイツ語でワインの試験に合格した講師が2年間の滞在期間において培った経験を活かして 世界のワインを学び知識を深めていく授業です							
【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 ワインを通じて各国の歴史や文化の理解度を高めます。 <具体的な目標> 目標①地理的状況を把握する事で知識の深堀を図ります 目標②授業を通じ国際感覚を養います							

授業計画・内容	
1回目	フランス(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
2回目	ドイツ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
3回目	イタリア(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
4回目	スペイン・ポルトガル(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
5回目	オーストリア・スイス(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
6回目	アメリカ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
7回目	中間試験
8回目	オーストリア・ニュージーランド(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
9回目	チリ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
10回目	アルゼンチン(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
11回目	南アフリカ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストランマネジメントⅡ Restaurant ManagementⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 25年に及び現場で培ったノウハウを活かしながら実社会で通用する心構えと行動指針をレストランマネジメントと紐付けて学びます。							
【実務経験】 ウェスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 実社会で通用する知識の習得 〈具体的な目標〉 実例を基に現場をしり理解を深める事 授業通じ探求心の創造と具体化を考えられる様になる事							

授業計画・内容	
1回目	授業の具体的な方向性を知り理解を深める事が出来る。
2回目	会社・現場が教えてくれない事を知る事で社会人対応力を養う事が出来る
3回目	ジョブタイトル別の行動指針を理解する事が出来る
4回目	電話予約の受け方の注意点を学ぶ事が出来る。
5回目	来店予約の受け方と注意点を学ぶ事が出来る。
6回目	予約に基づきテーブルアサインの考え方を身につける事が出来る
7回目	中間筆記試験
8回目	予約に基づきテーブルアサインの考え方を身につける事が出来る
9回目	シフト作成について学ぶ事が出来る
10回目	シフトを作成にチャレンジするが出来る
11回目	実例を基に対応力を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ①)
12回目	実例を基に対応力を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ②)
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	空間コーディネート実習 Spatial coordination	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
10年以上数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえて、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ空間コーディネートのフラワートrend講義を行う。							
【到達目標】 ①目的やシチュエーションによって、空間コーディネートのどの様に人の心理に影響を与えるのかを知ることができる。②SNSやパンフレットを基に様々なホテルや飛行機内の空間コーディネートを比較して見ることができる。(校外実習も含む)③実際に自身で空間コーディネートをを行い、PPT作成をもってプレゼンすることができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介／授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することができる。	
3回目	VMDについて理解することができる。	
4回目	ディスプレイに用いる什器の効果的な組み合わせを理解し、実践に生かすことができるようになる。	
5回目	色彩がもたらす心理効果について学び身につけることが出来る	
6回目	グループワーク／空間に用いる色合わせでクライアントのニーズに応えるワークを行い理解できる	
7回目	前回のグループワークで提案した内容・意図を発表できる	
8回目	フィールドワーク準備／ホテルの空間コーディネートトレンドを意識した考察ポイントを整理し、次週に備える。	
9回目	校外実習(ホテル見学・日程調整中) 見学後考察をレポートにまとめることができる	
10回目	フィールドワークで考察した内容・感想をプレゼンテーション出来る	
11回目	ファッション視点からエアラインやホテルの制服に関して、最新のトレンドを知ることができる	
12回目	シーズナル装花／サマーアレンジメント制作ができるようになる。(￥2,000)	
13回目	期末試験	
14回目	★評価週	自身の考えた空間コーディネートの提案プレゼンテーション
15回目	復習	プレゼンテーションができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末70％／プレゼンテーション30％	
受講生へのメッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び理解を深めることで、実践に活かすことができる空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【学習内容】 一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。							
【実務経験】 講師紹介：PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。							
【到達目標】 JavaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハーローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ホテルマネジメント検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル業務に必要とされる知識を得る為、「ホテルビジネス実務検定試験 (H検) マネジメントレベル」の取得を目指して学習します。 テキスト(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問を参考に、要点を絞り検定に向け学習します。							
【到達目標】 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベルに合格する事ができる。							

授業計画・内容		
1回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
2回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習復習をして理解できる	
3回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
4回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
5回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
6回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
7回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
8回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
9回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復習をして理解できる	
10回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復をして理解できる	
11回目	過去問を解く	
12回目	過去問を解く	
13回目	過去問を解く	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	毎授業に「ホテルビジネス 基礎編」のテキストを持ってくる。 授業の前までに次回授業でするテキストの内容を読んで予習をし、分からない用語など調べておく。宿題が出た場合は、期日までに必ずしてきましょう。 宿題や小テストをまとめるファイルを準備しておいて下さい。	
評価方法	後期試験の点数	
受講生への メッセージ	テキストの用語など難しく感じると思います。 分からない事は気軽に聞いてください。 90分の座学ですので、睡眠を十分にとり、授業中寝ないように体調管理に気をつけて下さい。 ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベル取得を目指して頑張りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ホテルビジネス 基礎編。 過去問プリン		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	WEBマーケティング	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	WEBMarketing	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルでの広報経験を活かし、マーケティングとは何かを理解し、日々の生活の中でマーケティングを意識することが出来るようなヒントを与える							
【実務経験】							
【到達目標】							
「モノを売る」視点を身に付ける。特別なことではなく日頃からPRを意識した視点をもてるようになる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 自己紹介=自分を売る 効果的な自己紹介の仕方を学ぶ	
2回目	コミュニケーション PRする話し方のスキルを学ぶ	
3回目	マーケティングとは何かを学ぶ	
4回目	マーケティングリサーチ 情報収集	
5回目	発表①	
6回目	セグメンテーション戦略 顧客層絞り込みについて学ぶ	
7回目	ブランド戦略 ブランドの歴史とコンセプト	
8回目	PR戦略 広報活動の必要性和、手段、効果について学ぶ	
9回目	異業種マーケティング 広い視野で日頃からアンテナをはる	
10回目	飲食店マーケティング 身近な飲食店のマーケティングから学ぶ	
11回目	好きを売る 取材して発表	
12回目	発表②	
13回目	人を売る 人と人をつ結びつける	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	2回の発表や各課題が50点、テストが50点	
受講生への メッセージ	マーケティングは難しいというイメージをもっている方もご安心を。身近なマーケティングを学ぶことで、日々の視点が変わりビジネスへの考え方が変わります。楽しいをモットーに「へえ」と「なるほど」という気付きを大切にしていきます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント(オリジナル)		

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2020年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Hotel ManagmentⅡ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ホテル業界に在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。本校において、収益を上げる為のホテル開業工程や数値管理、業務分析等は練習問題などで習得する。特に収益構造の仕組みを認識する指導をする。又時代背景に応じた商品プランの立案からマーケティング戦略などを学び、プレゼン能力のある学生育成をする。							
【到達目標】 前期学んだことを活かし、企業プロジェクトに取り組むことが出来る。企業プロジェクトのテーマを基に自身の考えをマネジメント目線で考え、実現できる内容に磨いていくことが出来る							

授業計画・内容	
1回目	後期授業に概要説明 企業プロジェクトとは？ 全体図説明でこれから始まる産学連携PJの内容が理解できる。(PPTsample提示)
2回目	調査分析 1. 企業研究（連携企業を知る・規模・業種・関連事業等々）をフォーマットに纏める事で企業をしっかりと認識することが出来る
3回目	調査分析 2. 選択した宿泊施設エリアのマーケティング分析 交通・集客エリア・季節変動・競合施設・社会背景・等々 施設を含む衛リアの事が理解出来る
4回目	調査分析 3. 社会経済 今、コロナ禍で何が変化しているのか？ 企業や消費者意識がどの様に変化しているのか？を調べ理解を深める事が出来る
5回目	商品立案 1. プランの考え方・作り方 説明 (ターゲット・期間・料理・部屋・内容・価格・特典) フォーマットに沿って熟考期間 感じ・考える事が出来る
6回目	商品立案 2 収入目標値 費用概算 商品での損益収支 感じ、考えた事を具体的に数字や文書に落とし込む準備が出来る
7回目	商品立案 3. 商品のマーケティング計画 特に マーケティングの4P や AIDMAの法則に沿った計画立案が出来る
8回目	プレゼン 1. 商品企画内容の精査 スライド下書きに手書きでスライドのストーリー案を検討決定する事が出来る
9回目	プレゼン 2. スライドの作り方 感じ、考え、纏めた事をスライドに落とし込む事が出来る
10回目	プレゼン 3. プレゼンの話し方・態度 プレゼンの為の話し方や態度が身に付き、堂々と説明が出来る
11回目	実演練習 1 今まで、実施したことを他の学生や他の先生に評価して頂き、本番に備える
12回目	実演練習 2 今まで、実施したことを他の学生や他の先生に評価して頂き、本番に備える
13回目	後期授業総括 商品企画立案から、マーケティング戦略策定さらに収支目標の一連の学習をすることで ホテル業界のマネジメントの一端を認識できる
14回目	★評価週 グループディスカッション (テーマ) 未定
15回目	★まとめ・追試/再試 グループディスカッション (テーマ) 未定
準備学習 時間 外学習	基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケット等は常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し文書化能力、プレゼンでの表現力は日常に努力が必要です。 又、当然ながらPCスキルも問われるところです。
評価方法	プレゼン評価シート作成 調査分析 商品企画内容 プレゼンの評価 を もって 評価ランクをもって判定
受講生へのメッセージ	4K (感じ、考え、記録し、行動(プレゼン))の授業です。学内だけでなく、常に社会にアンテナを張っての学習です。 マネジメントやマーケティングは決して難解な事では無く、日常の中に多くのヒントがある事を感じて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 特に無 必要に応じ、資料やフォーマットプリント配布	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Chinese	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。							
【到達目標】 グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につかなかった部分を補うことができる。
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。
12回目	学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。
評価方法	●授業態度（30％） ●小テスト（20％） ●定期テスト（50％）
受講生へのメッセージ	自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。 中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。 授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	就職講座 Recruitment Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。							
【到達目標】							
(1)自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。							
(2)やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。							
(3)採用試験合格のための応募書類を作成することができる。							
(4)面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。							
(5)就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。							

授業計画・内容	
1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト 100%
受講生へのメッセージ	この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう！笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2020年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	コーチングスキル Coaching skills	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテル・飲食業界にて責任者として、教育を担当した実績のある専任教員が過去の事例と今後起きえる事例を基に問題解決の考え方・導き方・状況判断を養います。同じ目的に向かう中で、個人の和の心をチームに活かす事を学んでいきます。							
【到達目標】 ホスピタリティ業界で活躍するうえで、どの様に人をコントロールすることが出来るのかを学ぶ。様々な事例研究を通じて、自分なりの解決策を考えそれに対する評価を受ける事が出来る。教員実務経歴:都内外資系ホテルにてBAR勤務後、1996年ドイツへ渡りワインの栽培・収穫に携わりヨーロッパ各国を巡り知識・見分を深める。在独中は1998年世界最優秀ソムリエコンクールの優勝者「マルクス・デルモネゴ」に師事。帰国後、都内星付きレストラン・福岡市内ホテルにて従事の傍ら、10年以上業界の発展と若き人材育成へ尽力							

授業計画・内容	
1回目	思考の5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を学び意識の留意を学ぶ事が出来る。
2回目	勝者の理論と敗者の理論を学ぶ事が出来る。
3回目	チームワークと仲良し集団の違いを学び実勢出来るようになる。(自画像と他画像含む)
4回目	人前(聞く人・話す人)での姿勢・態度・言葉使いを学ぶ事が出来る。
5回目	自分の考えを纏めポジティブな表現に置き換えろ考え方を学ぶ事が出来る。
6回目	人の話を聞き、話す人の大切にしている事、重要ポイントを自分なりに考えられるようになる。
7回目	人の話を聞き、話す人が大切にしている事、重要ポイントを自分なりに考え、質問やきっかけを見出せるようになる。
8回目	人との意見が異なった時に目標・目的を聞き出し、方向性を模索する考え方を学ぶ事が出来る。
9回目	人との意見が異なった時に同じ方向性を示し同調を得る考え方を学ぶ事が出来る。
10回目	人との意見が異なった時に同じ方向性を示し相乗効果を得る考え方を学ぶ事が出来る。
11回目	課題を抽出し克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	期末試験対策を行い、半期の振り返りから見てくる自身の課題を見つけることが出来る。
13回目	期末試験対策を行い、自身の課題に対する解決策を知ることが出来る。
14回目	★評価週 筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	本講義は事例を基に社会で働くうえで必要な基礎スキルを身に付けていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	

福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容	
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②
10回目	自分キャリアプランを作成する①
11回目	自分キャリアプランを作成する②
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	レポート提出100%
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	